Panasonic®

取扱説明書
デジタルビデオカメラ

品番 NV-GS320

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」**(106 ~ 111 ページ)**を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日·販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

本機にはデジタルビデオ用ヘッドクリーナーが同こんされています。大切な撮影の前には、デジタルビデオ用ヘッドクリーナーを使っていただくことをおすすめします。(95ページ)
撮影にはパナソニック製ミニ DV カセットテープのご使用をおすすめします。

LEICA
DICOMAR

VQT1A35-1M

もくじ

使う前に

はじめに

準備する

撮影する

テープに撮影する

カードに記録する

いろいろな撮影機能

マニュアルで撮影する

「安全上のご注意」を必ずお読みください（106 ～ 111 ページ）

再生する

テープを再生する

カードを再生する

カードを整理する

編集する

テープを編集する

プリントする

パソコンで

その他

メニュー画面 / 表示画面

困ったときは

1. まずお読みください！

事前に必ずためし撮りをしてください

大切な撮影（結婚式など）の前や、長期間ご使用にならなかったときは、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。
特に「逆光補正」などの機能をご使用の際は、設定をご確認ください。

撮影内容の補償はできません

本機およびカセット（テープ）、カードの不具合で撮影（録画など）や録音されなかった場合の内容の補償につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

著作権にお気をつけください

あなたが撮影（録画など）や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権により保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

本書内の写真、イラストについて

本書内の写真は、説明のためスチル写真から合成しています。また、本書内の製品姿図・イラスト・メニュー画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。画面のイラストでは、表示される文字や記号を実物より大きくして説明しています。

参照ページについて

参照いただくページを (P00) で示しています。

本機で使用できるカセットは

Mini DV マークの付いたミニDVカセットテープです。

本機で使用できるカードは

SD メモリーカードおよび SDHC メモリーカードです。

- 本書では以下のカードのことを「カード」と記載しています。
  - SD メモリーカード
  - SDHC メモリーカード

最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/video

本書での記載について

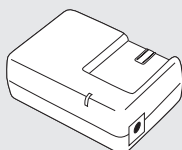
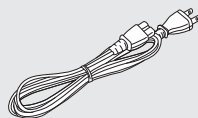
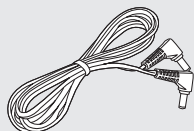
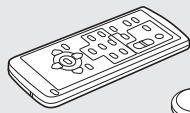
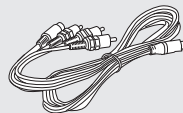
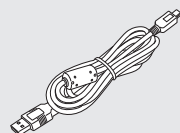
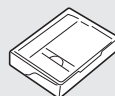
以下のように記載しています。
- バッテリーパック→「バッテリー」

- SDHC ロゴは商標です。
- miniSD ロゴは商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Media®、DirectX®、DirectDraw®、および DirectSound® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- LEICA/ ライカはライカマイクロシステム IRGmbH の登録商標です。
- DICOMAR/ ディコマーはライカカメラ AG の登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

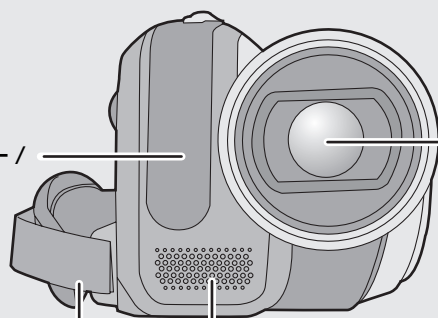
ホームページではビデオの撮りかたやコツ、新製品の情報などを紹介しています。参考にご覧ください。
http://panasonic.jp
また製品のサポート情報については
http://panasonic.jp/support
をご覧ください。

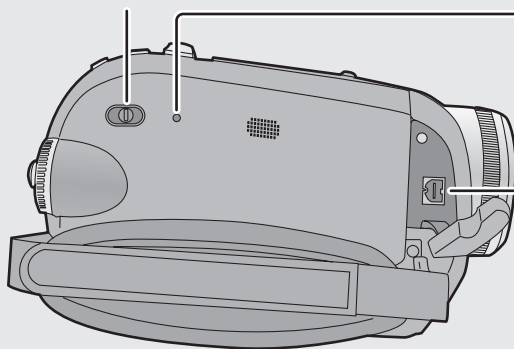
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

2. 付属品

以下の付属品がすべて入っているかお確かめください。
記載の品番は、2006 年 11 月現在のものです。

□ バッテリーパック	□ AC アダプター VSK0650A	□ 電源コード K2CA2DA00009
□ DC コード K2GJ2DC00011	□ ワイヤレスリモコン N2QAEC000020 コイン電池 CR2025	□ マルチケーブル K2KZ9CB00001
□ USB 接続ケーブル K1HA05CD0010	□ CD-ROM	□ デジタルビデオ用 ヘッドクリーナー 撮影にお出かけの際は お持ちください

● 市販のデジタルビデオ用ヘッドクリーナーの品番は AY-DVMCL です。

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックグループのショッピングサイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

Pana Sense　http://www.sense.panasonic.co.jp/

はじめに

3. 各部の名前（前面・側面）

■ A/V 端子について

● 付属のマルチケーブル以外は接続しないでください。

（背面・側面）

ファインダー
（P15、115）
USB 端子
（P57、68）
バッテリー
取付部（P11）
DC IN端子（P11）
DV 端子
（P53、55）
電源スイッチ（P13）
動作表示ランプ（P13）
メニューボタン［MENU］
（P23）
モードダイヤル（P19）
ジョイスティック（P20）
撮影開始/一時停止ボタン
（P30）
バッテリー
取外しレバー
[BATTERY]
（P11）
BATTERY
本体底面

液晶モニター
（P15、115）
液晶開く部
（P15）
ファインダー
引き出しノブ
（P15）
スピーカー
（P46）
カード動作中ランプ（P18）
カード挿入部
（P18）
カード扉（P18）

3. 各部の名前（つづき）（上面・その他）

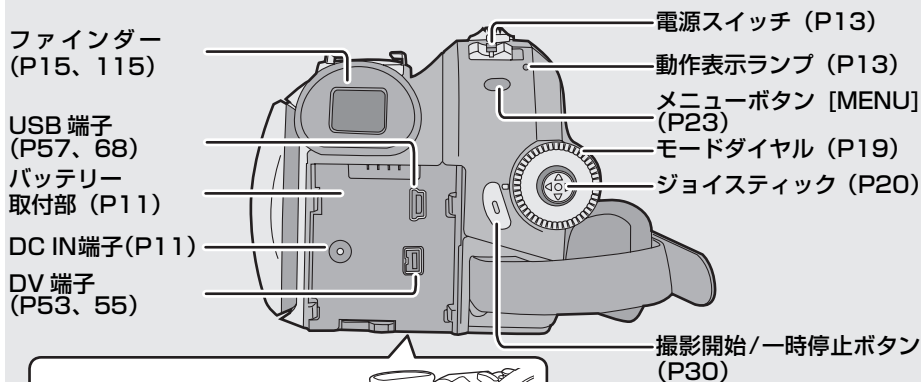
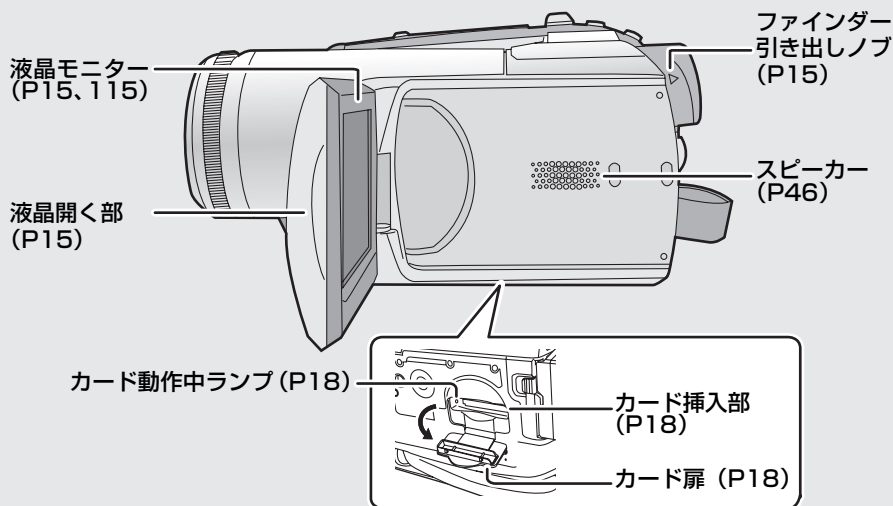
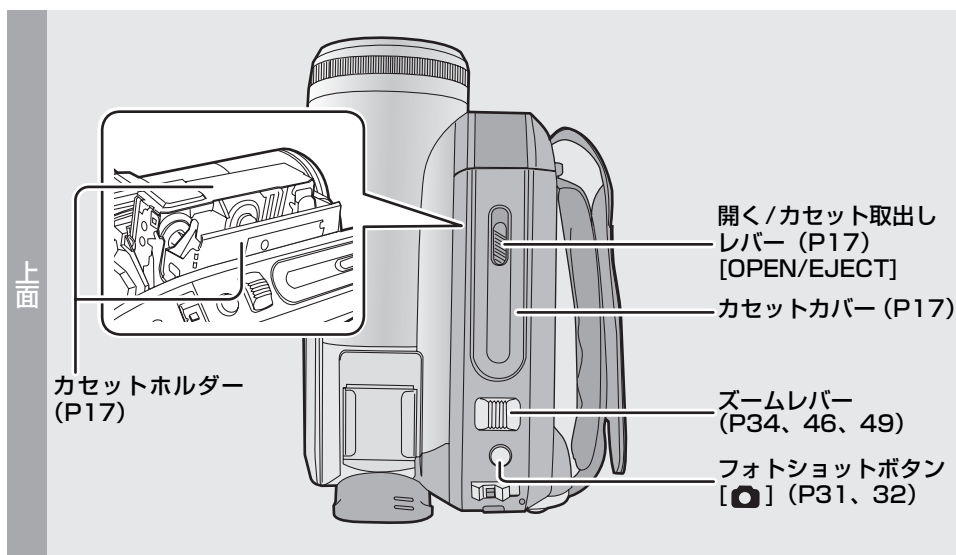
上面

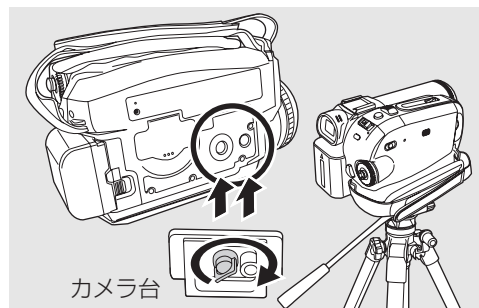
開く/カセット取出し
レバー（P17）
[OPEN/EJECT]

カセットカバー（P17）

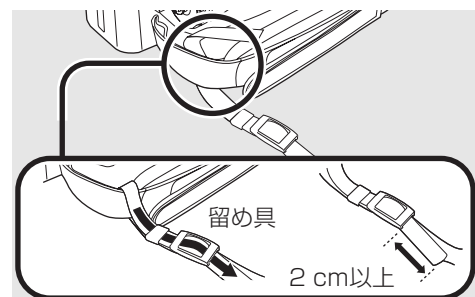
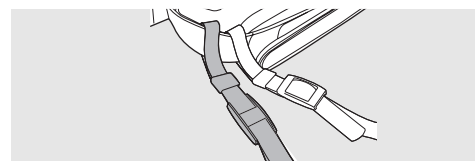
カセットホルダー
（P17）

ズームレバー
（P34、46、49）

フォトショットボタン
[📷]（P31、32）

三脚取付穴

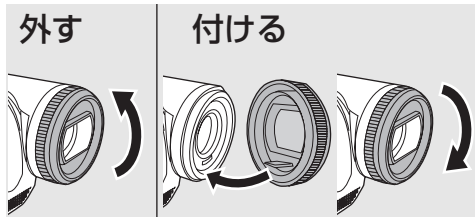
三脚 /VW-CT45（別売）を取り付けるための穴です。（取り付けかたは、三脚の説明書をお読みください）

- 三脚使用時は、カード扉を開くことができません。あらかじめカードを入れてから三脚を取り付けてください。（P18）

ショルダーベルト

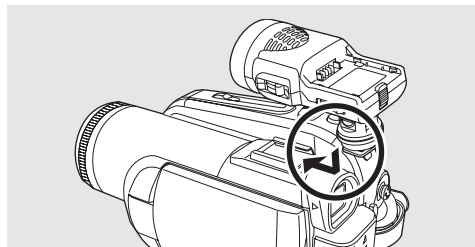
首や肩に掛けるための、ショルダーベルト /VW-CMD2（別売）を取り付けることができます。

- グリップベルトにショルダーベルトを通してから、外れないように留め具に通してください。留め具から 2 cm 以上出しておいてください。

- もう一方も同様に取り付けてください。

レンズフード

外すときは反時計方向に回し、付けるときはレンズフードの凸部をはめ込んでから、時計方向に回します。

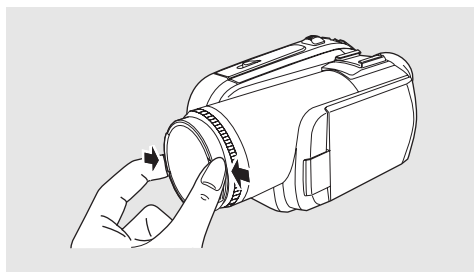
外す　付ける

- フィルターキット /VW-LF37W（別売）のND フィルターや MC プロテクターは、レンズフードの前部に取り付けてください。また、それ以外のものは取り付けないでください。(レンズキャップは除く)
（詳しくは、フィルターキットの取扱説明書をご覧ください）
- テレコンバージョンレンズ /VW-LT3714M2（別売）やワイドコンバージョンレンズ /VW-LW3707M3（別売）は、レンズフードを外してから取り付けてください。（レンズフードの前部に取り付けないでください）
（詳しくは、テレコンバージョンレンズ / ワイドコンバージョンレンズの取扱説明書をご覧ください）
- ND フィルターとテレコンバージョンレンズなどを 2 枚重ねて取り付けた場合、ズームを W 側にすると、四隅が暗くなる場合があります。（ケラレ）

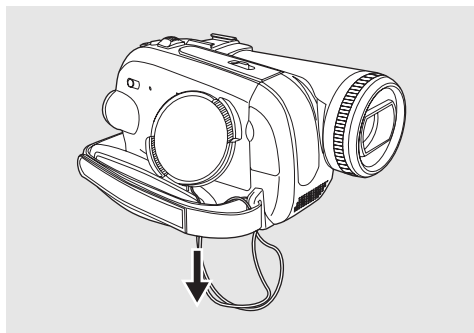
アクセサリーシュー

ビデオ DC ライト /VW-LDC10（別売）などを取り付けるところです。

4. レンズキャップの使いかた

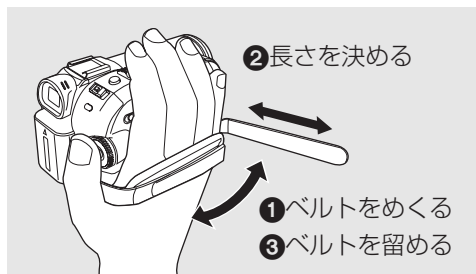
レンズ面の保護のため、使用しないときはレンズキャップを付けておいてください。

レンズキャップを付ける / 外す

つまんで付け外しする

レンズキャップを使わないときは

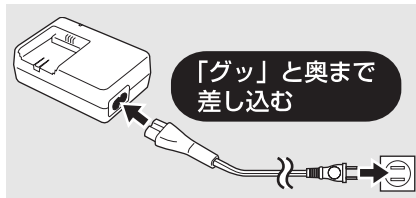
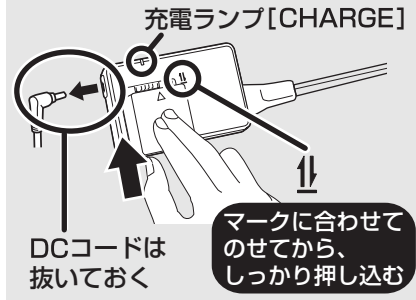
ひもを矢印の方向に引く

1. グリップベルトを使う

手の大きさに合わせて調整してください。

ベルトの長さ、パットの位置を調整する

2. バッテリーを充電する

お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。

- **DC コードは AC アダプターから抜いておいてください。DC コードがつながっていると、バッテリーの充電はできません。**

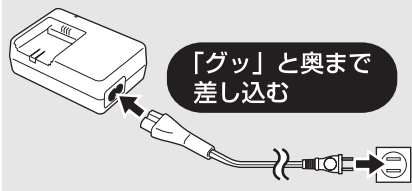
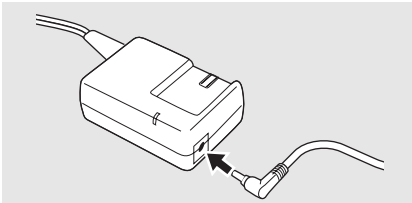
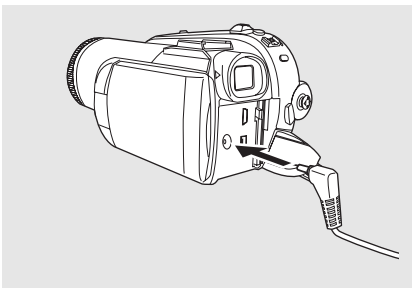
1 電源コードをつなぐ

2 バッテリーを付ける

■ 充電ランプ［CHARGE］

点灯　：充電中
消灯　：充電完了
点滅　：下記参照

■ 充電ランプが点滅したときは

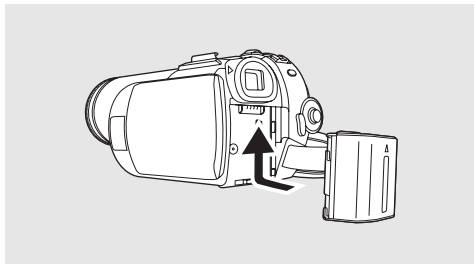
- バッテリーが過放電（極端に放電した状態）しています。しばらくすると点灯し、通常の充電になります。
- バッテリーの温度が高すぎる、あるいは低すぎます。充電時間が通常よりも長くなります。

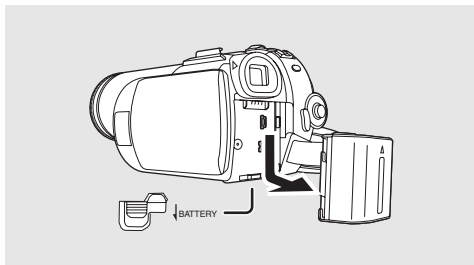
3. 電源コンセントにつないで使う

1 電源コードをつなぐ

2 DC コードを AC アダプターの DC 出力端子に差し込む

3 DC コードを DC IN 端子に差し込む

電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

4. バッテリーを付ける（外す）

バッテリーを付ける

バッテリー取付部に押しあて、「カチッ」と音がするまで上げる

バッテリーを外す

バッテリー取外しレバー [BATTERY] をスライドさせながら外す

- バッテリーを落下させないように手で支えてください。
- バッテリーを外すときは、必ず電源スイッチを [OFF] にしてから外してください。

5. 充電時間と撮影可能時間（2006 年 11 月現在）

下表は常温（温度 25 ℃ / 湿度 60%）での時間です。時間は目安にしてください。
[ファインダー使用時（カッコ内は液晶モニター使用時）]

- 実撮影可能時間とは、撮影/停止、電源の入/切やズーム操作などを繰り返したときにテープに撮影できる時間です。

バッテリー品番	充電時間	連続撮影可能時間	実撮影可能時間
付属バッテリー	約 1 時間 40 分	約 1 時間 15 分 （約 1 時間 10 分）	約 30 分 （約 30 分）
VW-VBD120（別売）	約 2 時間 25 分	約2時間 15 分 （約2時間 5 分）	約 1 時間 （約 55 分）
VW-VBD140（別売）	約 2 時間 45 分	約 2 時間 40 分 （約 2 時間 30 分）	約 1 時間 10 分 （約 1 時間）
VW-VBD210（別売）	約 3 時間 55 分	約 4 時間 （約 3 時間 45 分）	約 1 時間 45 分 （約 1 時間 30 分）
VW-VBD7（別売） （ウエストホルダータイプ）	約 11 時間 20 分	約 11 時間 （約 10 時間 5 分）	約 4 時間 55 分 （約 4 時間 30 分）
VW-VBD070（別売）	約 1 時間 30 分	約 1 時間 20 分 （約 1 時間 15 分）	約 35 分 （約 30 分）

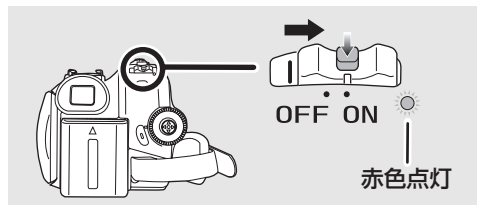
ヒント

- 使用状況によって撮影可能時間はかわりますので、目安にしてください。
  以下のような場合は、撮影可能時間が短くなります。
  - 対面撮影（P35）時など、ファインダーと液晶モニターを同時に使用しているとき
  - パワー LCD を設定（P25）して、液晶モニターの画面を明るくして使用しているとき
- 長時間（連続撮影：2 時間以上、実撮影：1 時間以上）撮影する場合は、VW-VBD120、VW-VBD140、VW-VBD210 または VW-VBD7 のご使用をおすすめします。
- 使用後や充電後はバッテリーが温かくなります。また使用中はビデオカメラ本体も温かくなりますが、異常ではありません。
- バッテリーの残量が少なくなるに従って、→→→→と表示が変わります。容量がなくなると、（）が点滅します。
- 安全にお使いいただくために、当社で品質管理されたパナソニック純正バッテリーのご使用をおすすめします。
- パナソニック純正以外のバッテリーが原因で発生した機器の故障や、事故につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 実際の品物を確認するのが難しい状態で購入したバッテリーや、異常に低い価格で販売されているバッテリーの中には、模造電池が多く確認されていますのでお気をつけください。

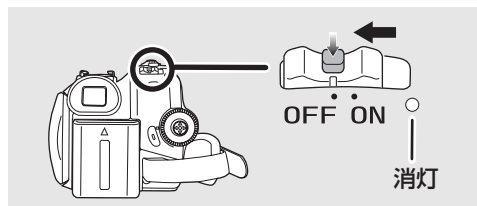
6. 電源を入れる（切る）

- **電源を入れる前にレンズキャップを外してください。**
  付けたまま電源を入れると、オートホワイトバランス（P105）が正しく合いません。

■ 電源を入れる

電源スイッチの青いボタンを押しながらスライドさせる

- 動作表示ランプが点灯し、電源が入ります。
- テープ撮影モードまたはカード記録モードの場合は、電源スイッチが [ON] でも液晶モニターとファインダーを閉じると電源が切れます。

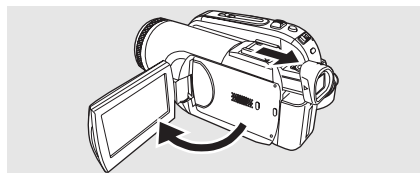
■ 電源を切る

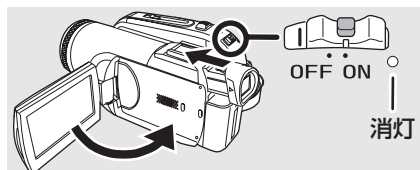
電源スイッチの青いボタンを押しながらスライドさせる

- 電源が切れると動作表示ランプが消灯します。

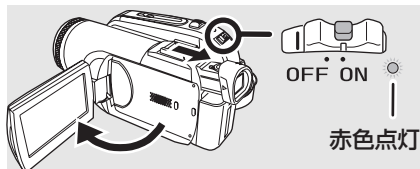
本機をご使用にならないときは、電源スイッチを [OFF] にしてください。

液晶モニター / ファインダーで電源を入れる（切る）

電源スイッチが [ON] の状態で、テープ撮影モードまたはカード記録モードのときは、液晶モニターとファインダーを使って電源の入 / 切ができます。

1 液晶モニターを開くまたはファインダーを引き出す（P15）

- **液晶モニターまたはファインダーが点灯します。**

2 液晶モニターを閉じてファインダーを収納する

- 液晶モニターとファインダーの両方を閉じないと電源は切れません。
- 動作表示ランプが消灯し、電源が切れます。（クイックスタート（P16）を [ON] にしているときは、クイックスタートの待機状態になり、動作表示ランプが緑色点灯します）
- **テープ撮影中は液晶モニターを閉じて、ファインダーを収納しても電源は切れません。**

3 再度使用するときは、液晶モニターを開くまたはファインダーを引き出す

- 動作表示ランプが点灯し、電源が入ります。

準備する

7. 時計設定

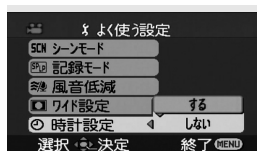
電源を入れたとき、下のような画面が表示される場合があります。

● ジョイスティックの中央を押して「設定する」を選び、下記手順2からのメニュー操作で時計設定をしてください。

時計設定を変更する場合

● テープ撮影モードまたは カード記録モードにしておく

1 メニュー操作する（P23）

「 よく使う設定」→「 時計設定」→「する」

2 合わせる項目(年/月/日/時/分)をジョイスティックの左右で選択し、上下で数字を合わせる

●「年」は2000 → 2001 → … →2089 → 2000 と変わります。
●「時間」は 24 時間表示です。

3 中央を押して決定する

● 秒は0から始まります。

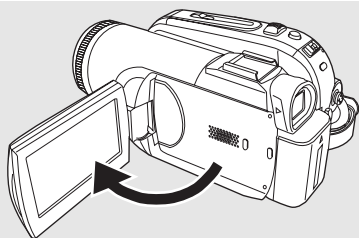
時計設定について

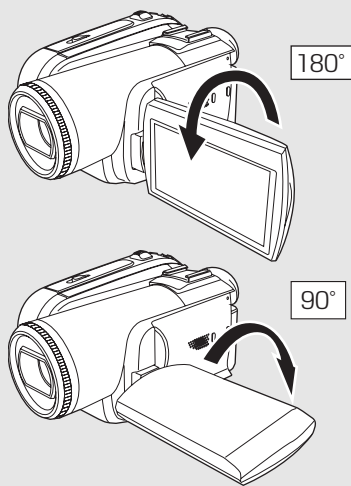
● 時計設定は、内蔵日付用電池を使って記憶させています。
● 内蔵時計は誤差が生じますので、撮影前に時間が合っているか確認してください。
● 電源を入れたときに、「 」あるいは「−−」表示が出るときは、内蔵日付用電池が消耗しています。下記の方法で充電したあと、時計設定をしてください。

内蔵日付用電池を充電する

● 本機に AC アダプターをつなぐかバッテリーを取り付けると、内蔵電池が充電されます。約 24 時間そのままにしておくと、約6ヵ月間記憶することができます。（電源スイッチが［OFF］になっていても充電はされています）

8. 液晶モニターを使う

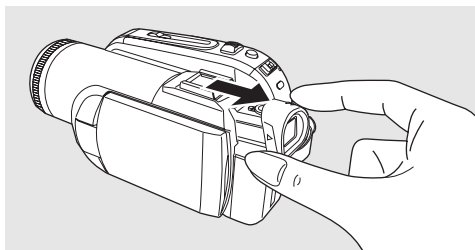
1 液晶モニターを開く

● 最大 90°まで開きます。

2 角度を調整する

● レンズ方向に180°、ファインダー方向に 90°回転します。

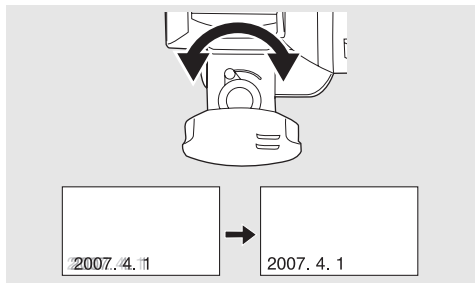
ヒント

● メニューで液晶モニターの明るさ、色の濃さを調整できます。(P25)
● 無理に開いたり回したりすると、本機に傷が付いたり故障する場合があります。
● 液晶モニターをレンズ方向へ 180°回転させたとき（対面撮影時）は、ファインダーを引き出すと、液晶モニターとファインダーが同時に点灯します。

9. ファインダーを使う

ファインダー引き出しノブをつまんで、引き出す

● ファインダーを引き出すと点灯します。（液晶モニターを開くと消灯します）

画像の見えかたを調整する

視度調整レバーを動かして調整する

ヒント

● メニューでファインダーの明るさを調整できます。(P25)

10. クイックスタート

素早く撮影を始める

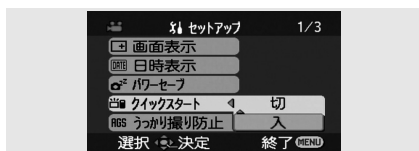
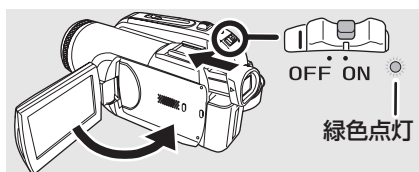
クイックスタートを設定すると、液晶モニターを開くかファインダーを引き出したとき、約 1.7 秒で撮影の一時停止状態になります。

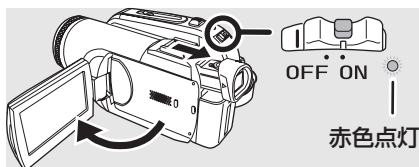
● **以下の場合に使用できます。**

[バッテリー使用時]
- テープ撮影モードで、カセットまたはカードが入っている
- カード記録モードで、カードが入っている

[AC アダプター使用時]
- テープ撮影モードまたはカード記録モード

1 メニュー操作する（P23）

「セットアップ」→
「クイックスタート」→「入」

2 電源スイッチを[ON]にしたまま液晶モニターを閉じて、ファインダーを収納する

● 動作表示ランプが緑色点灯し、クイックスタートの待機状態になります。
● 液晶モニターとファインダーの両方を閉じないと、クイックスタートの待機状態になりません。

3 液晶モニターを開くまたはファインダーを引き出す

● 動作表示ランプが赤色点灯し、約 1.7 秒で撮影の一時停止状態になります。

【解除するには】

「セットアップ」→
「クイックスタート」→「切」

● クイックスタートの待機状態から電源スイッチを [OFF] にすると、動作表示ランプが消灯し、電源が切れます。
● クイックスタートの待機状態が約 30 分以上続くと、動作表示ランプが消灯して電源が切れます。

ヒント

● **以下の場合には、クイックスタートの待機状態が解除され、動作表示ランプが消灯して電源が切れます。**
- モードダイヤルを切り換える
- バッテリーまたは AC アダプターを外す
- バッテリー使用時にテープ撮影モードで、カセットとカードの両方を取り出す
- バッテリー使用時にカード記録モードでカードを取り出す

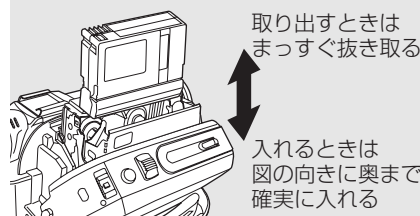
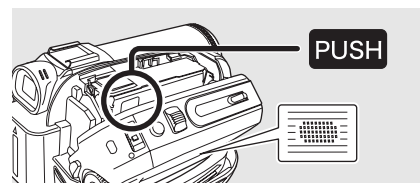
● 白バランスがオートモードの状態でクイックスタートすると、最後に撮影した場面と光源が違う場合、白バランスが自動で調整されるまでに時間がかかることがあります。（ただし、カラーナイトビュー使用時は、最後に撮影したときの白バランスが保持されます）
● 待機状態から電源を入れると、ズーム倍率は約 1 倍の位置になり、待機する前と比べて画像の大きさが変わることがあります。
● クイックスタートの待機状態では、撮影一時停止状態の約半分の電力を消費していますので、クイックスタートを使うと撮影できる時間が短くなります。
● パワーセーブ (P88) を 5 分に設定して自動的にクイックスタートの待機状態になった場合は、もう一度電源スイッチを入れ直すか、液晶モニターとファインダーの両方を閉じて、再度どちらかを開いてください。

11. カセットを入れる（出す）

1 AC アダプターまたはバッテリーを取り付けて、電源を入れる

2 [OPEN/EJECT] レバーをずらした状態で、カセットカバーを最後まで開く

● カセットホルダーが出てきます。

3 カセットホルダーが開いてから、カセットを入れる（出す）

4 [PUSH] 部分を「カチッ」と音がするまで押して、カセットホルダーを閉じる

● カセットホルダーが収納されます。

5 カセットホルダーが完全に収納されてから、▤を押してカセットカバーを最後まできちんと閉じる

ヒント

● 使用途中のカセットを入れたときは、ブランクサーチ機能（P31）を使って、続けて撮影する部分を探してください。特に、一度使用したカセットに重ね撮りする場合、必ず続けて撮影する部分を探してから撮影してください。
● カセットカバーを閉じるときは、コードなどを挟み込まないようにお気をつけください。
● 使用後は、必ず始端まで巻き戻してからカセットを取り出し、ケースに入れて立てて保管してください。（P114）
● つゆつき表示が出ていない状態でも、レンズやビデオカメラ本体につゆが付いているときは、ヘッドやテープにもつゆが付く可能性がありますので、カセットカバーを開けないでください。（P96）

カセットホルダーが出てこないときは

1）バッテリーが消耗していないか確認する
2）カセットカバーを一度完全に閉じてから、再度最後まで開く

カセットホルダーが収まらないときは

1）バッテリーが消耗していないか確認する
2）電源スイッチを入れ直す

■ 使用できる当社のミニ DV カセットテープについて（2006 年 11 月現在）

カセット品番	使用できる時間	
	SP	LP
AY-DVM30	30 分	45 分
AY-DVM60	60 分	90 分
AY-DVM80	80 分	120 分

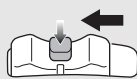
SP（標準）　：Standard（スタンダード） Play（プレイ） の意味です。
LP（長時間）：Long（ロング） Play（プレイ） の意味です。（P29）

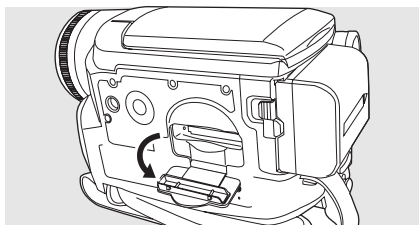
■ カセットの誤消去防止つまみについて

● 撮影後は、誤って撮影内容を消さないために、誤消去防止つまみを［SAVE］側（開く）にしておくと、撮影ができなくなります。［REC］側に戻すと、撮影が可能になります。

12.カードを入れる（出す）

● **カードの出し入れは、必ず電源スイッチを[OFF] にしてから行ってください。**

電源スイッチ [ON] の状態でカードを出し入れすると、本機の誤動作やカード内のデータの破壊につながる恐れがあります。

1 電源を切る

2 カード扉を開く

3 カード挿入部にカードを入れる（出す）

● 入れるときはラベル面を図の方向に向けて、「カチッ」と音がするまでまっすぐ押し込む。

● 出すときは、カードの中央部を押し込んで、まっすぐ引き抜く。

4 カード扉を閉じる

使用可能なカードについて

- SD メモリーカード
- SDHC メモリーカード

● **カードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。また、パソコンなどでフォーマットすると本機では使用できません。このようなときは本機でフォーマットを行ってください。（P51）**

● 本機は SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされた SD メモリーカード、および FAT32 形式でフォーマットされた SDHC メモリーカードに対応しています。

● 4 GB のメモリーカードは SDHC メモリーカードのみ使用できます。

● SDHC ロゴのない 4 GB（以上）のカードは SD 規格に準拠していません。

本機（SDHC 対応機器）は SD メモリーカード /SDHC メモリーカード両方に対応しています。SDHC メモリーカードは SDHC メモリーカード対応機器で使用できますが、SD メモリーカードのみに対応した機器では使用することができません。（SDHC メモリーカードを他機でお使いの場合は、必ずその機器の説明書をお読みください）

カード動作中ランプについて

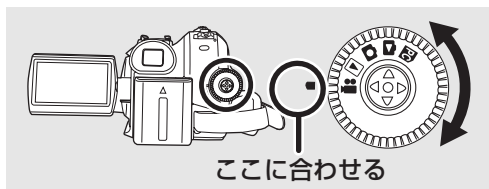
● カードアクセス（認識、記録、再生、削除など）中に点灯します。

● 点灯中に下記の動作を行わないでください。カードやカードの内容が破壊されたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。
- カードを抜き差しする
- 電源スイッチやモードダイヤルを操作する
- バッテリーや AC アダプターを外す

カードの書き込み禁止スイッチについて

● カード本体には書き込み禁止スイッチが付いています。スイッチを [LOCK] 側にしておくと、カードへの書き込みやデータの削除、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。

13.モードを選ぶ

モードダイヤルを回して、図の位置に希望のモードを合わせる

テープを使うとき

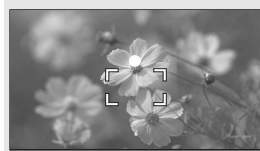
: テープ撮影モード（P30）

テープに動画を撮影します。
（撮影中に、カードに静止画を同時記録することもできます）（P31）

テープに撮影された動画を再生します。

カードを使うとき

: カード記録モード（P32）

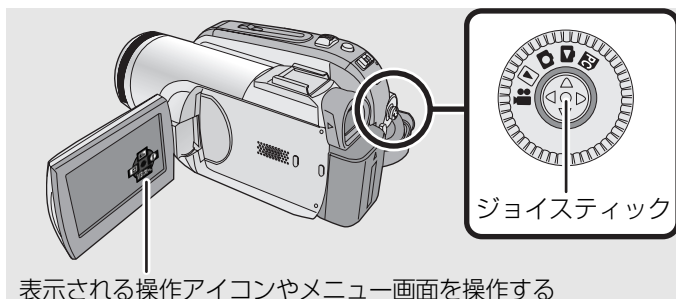
カードに静止画を記録します。

: カード再生モード（P49）

カードに記録された静止画を再生します。

パソコンにつないで使うとき

カードの静止画をパソコンで見たり、取り込んだりするときに使います。
パソコンとの接続については（P59）をご覧ください。

準備する

14.ジョイスティックの使いかた

本機は片手でも操作しやすいように、撮影機能の選択や再生操作などにジョイスティックを使います。
画面を見ながらお使いください。

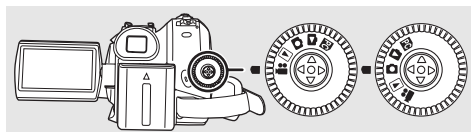
ジョイスティックの基本操作について

上下左右で選択

中央で決定

ジョイスティックを上下左右に動かして項目やファイルを選び、中央を押して決定します。
- メニュー画面の操作について（P23）
- 再生ファイルの選択について（P49）

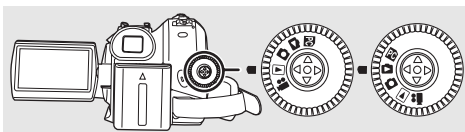
撮影機能を使う

1 テープ撮影モードまたはカード記録モードにする

2 ジョイスティックの中央を押すと、液晶モニターに操作アイコンが表示される

- もう一度、ジョイスティックの中央を押すと表示が消えます。
- ジョイスティックを下にたおすごとに表示が切り換わります。

3 ジョイスティックを上左右にたおして選ぶ

再生する

1 テープ再生モードまたはカード再生モードにする

2 液晶モニターに操作アイコンが表示されてから、ジョイスティックを上下左右にたおして操作する

自動的に表示されます

- ジョイスティックの中央を押すと表示が消えます。

モードごとの機能の選択について

ジョイスティックの中央を押すと、画面に操作アイコンが表示されます。
（テープ再生モードまたはカード再生モードでは、操作アイコンが自動的に表示されます）
（フルオート / マニュアルの切り換えについては、（P29）をご参照ください）

テープ撮影モード

アイコン		方向	機能	ページ
（1/3）		▲	逆光補正	35
		◀	フェード	38
		▶	ヘルプモード	23
（2/3）		▲	カラーナイトビュー	36
		◀	美肌モード	37
		▶	テレマクロ	37
（3/3）		◀	撮影チェック	30
		▶	ブランクサーチ	31
マニュアル時（4/4）	WB	▲	白バランス	43
	IRIS	◀	明るさ（絞り・ゲイン）	45
	SHTR	▶	シャッター速度	45
マニュアルフォーカス時（5/5）	MF− MF+	◀▶	ピントの調整	44

部分の機能は、撮影中は表示されません。

テープ再生モード

アイコン	方向	機能	ページ
▶/❚❚	▲	再生 / 一時停止	46
■	▼	停止	46
◀◀	◀	巻き戻し（再生）	46
▶▶	▶	早送り（再生）	46

14. ジョイスティックの使いかた（つづき）

カード記録モード

アイコン		方向	機能	ページ
（1/2）		▲	逆光補正	35
		◀	セルフタイマー	40
		▶	ヘルプモード	23
（2/2）		◀	美肌モード	37
		▶	テレマクロ	37
マニュアル時（3/3）	WB	▲	白バランス	43
	IRIS	◀	明るさ（絞り・ゲイン）	45
	SHTR	▶	シャッター速度	45
マニュアルフォーカス時（4/4）	MF− MF+	◀▶	ピントの調整	44

カード再生モード

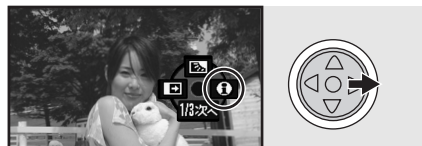
アイコン	方向	機能	ページ
	▲	スライドショーの開始 / 一時停止	49
	▼	ファイル削除	50
	◀	前の画像を表示	49
	▶	次の画像を表示	49

ヘルプモード

撮影機能の説明をヘルプ表示します。

● テープ撮影モードまたは カード記録モードにしておく

1 図の操作アイコンを表示させる(P20)

2 ジョイスティックを右にたおして、ヘルプモードアイコン「 」を選ぶ

● ヘルプモードはテープ撮影モード／カード記録モードの[AUTO]時に表示されるアイコンの説明をします。

3 ジョイスティックを上左右にたおして、知りたい機能のアイコンを選ぶ

● モニター画面に選んだアイコンの説明が表示されます。
● ジョイスティックを下にたおすと表示が切り換わります。

【ヘルプモードを終了するには】

[MENU] ボタンを押す、または「終了」アイコンを選ぶ

ヒント

● ヘルプモード中は撮影や機能設定することができません。

15. メニューを設定する

● 各メニューについては「メニュー一覧」をご覧ください。(P86 ～ 87)

1 [MENU] ボタンを押す

● メニュー設定画面が表示されます。（モードダイヤルの位置によって、表示されるメニューは変わります）
● メニュー表示中はモードダイヤルを切り換えないでください。

2 ジョイスティックの上下でトップメニューを選ぶ

トップメニュー

3 ジョイスティックを右にたおす、または中央を押す

4 ジョイスティックの上下でサブメニューを選ぶ

15. メニューを設定する（つづき）

5 ジョイスティックを右にたおす、または中央を押す

6 ジョイスティックの上下で項目を選ぶ

7 中央を押して決定する

【メニューの設定を終了するには】

[MENU] ボタンを押す

【前の画面に戻るには】

ジョイスティックを左にたおす

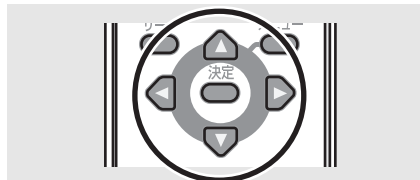
■ メニューの設定について

● テープ撮影中 / カード記録中にメニューは表示されません。また、メニュー表示中にテープ撮影 / カード記録はできません。

ワイヤレスリモコンで操作する

メニュー画面の変化は本体のボタンを使ったときと同じです。

1 メニューボタンを押す

2 メニュー項目を選ぶ

● 本体のジョイスティックのかわりに方向ボタン（▲ ▼ ◄ ►）、決定ボタンを使います。

3 メニューボタンを押して設定を終了する

16. 言語設定

画面に表示される言語を変更できます。

メニュー操作する（P23）

「LANGUAGE」→
「日本語」または「**English**」

17. 液晶モニター／ファインダーを調整する

液晶モニター／ファインダーの明るさや色の濃さを調整する

1 メニュー操作する（P23）

「セットアップ」→「液晶調整」または「EVF 明るさ」→「する」

2 調整する項目をジョイスティックの上下で選択し、左右で調整する

- バー表示が移動します。

「液晶調整」の項目

：液晶モニターの明るさ

：液晶モニターの色の濃さ

「EVF 明るさ」の項目

：ファインダーの明るさ

- LCD ＝液晶モニター（Liquid（リキッド） Crystal（クリスタル） Display（ディスプレイ））のことです。
- EVF ＝ファインダー（Electric（エレクトリック） View（ビュー） Finder（ファインダー））のことです。

ヒント

- 液晶モニターをレンズ方向へ 180° 回転させたときは、液晶調整できません。「液晶モニターを反転してください」と表示されます。
- ファインダーの明るさを調整するときは、液晶モニターを閉じてファインダーを引き出して点灯させてください。
- 調整内容は、実際に記録される映像には影響しません。

液晶モニター全体を明るくする

メニュー操作する（P23）

「セットアップ」→「パワー LCD」→「入」

- 「」が液晶モニターに表示されます。
- 液晶モニターが通常より約 2 倍明るくなり、見やすくなります。

【解除するには】

「セットアップ」→「パワー LCD」→「切」

ヒント

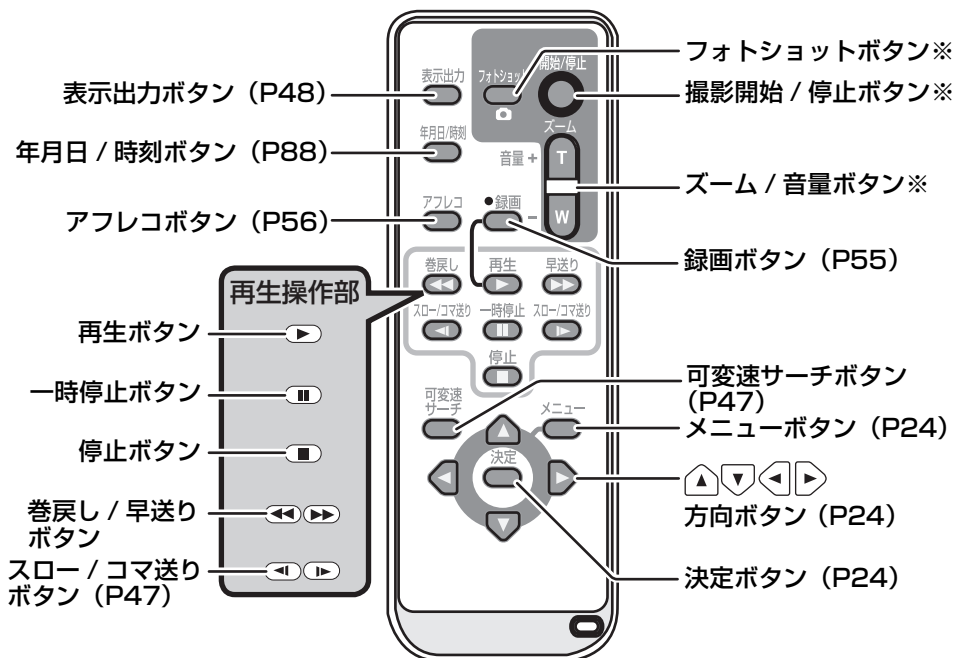
- 実際に記録される映像には影響しません。
- AC アダプター使用時は、電源を入れると自動的に画面が明るくなります。
- PC 接続モードでは操作できません。

18. リモコンを使う

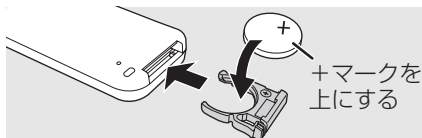
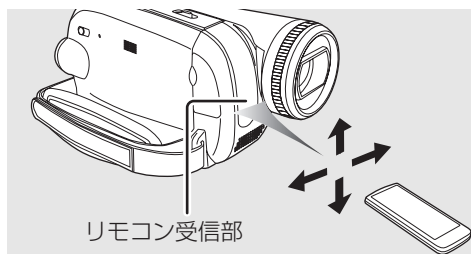
ワイヤレスリモコン

※撮影操作 / 音量調整部
本体のボタンと同じ働きをします。

表示出力ボタン（P48）
年月日 / 時刻ボタン（P88）
アフレコボタン（P56）
再生操作部
再生ボタン
一時停止ボタン
停止ボタン
巻戻し / 早送りボタン
スロー / コマ送りボタン（P47）
フォトショットボタン※
撮影開始 / 停止ボタン※
ズーム / 音量ボタン※
録画ボタン（P55）
可変速サーチボタン（P47）
メニューボタン（P24）
▲▼◀▶
方向ボタン（P24）
決定ボタン（P24）

表示出力
フォトショット
開始/停止
ズーム
年月日/時刻
音量＋
T
W
アフレコ
●録画
巻戻し
再生
早送り
スロー/コマ送り
一時停止
スロー/コマ送り
停止
可変速サーチ
メニュー
決定

■ コイン電池（付属）を入れる

1 ホルダーを引き抜く

2 電池を入れて、ホルダーを戻す

■ リモコンが使える範囲

リモコン受信部に対して、
距離　：約 5 m 以内
角度　：上に約 10°、下左右に約 15°

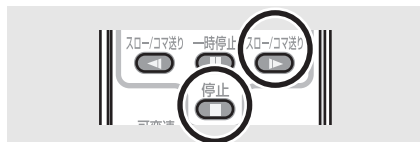
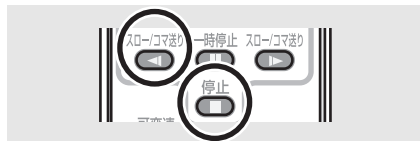
リモコンモードの設定

同時に2台のビデオカメラをお使いになる場合、1台のビデオカメラとワイヤレスリモコンの設定を「VTR1」に、もう1台のビデオカメラとワイヤレスリモコンを「VTR2」に設定すると、2台の間でのリモコン誤作動を防ぐことができます。(お買い上げ時の設定は「VTR1」です。またコイン電池を交換すると、設定は「VTR1」になります。)

1 **メニュー操作する(P23)**
(ビデオカメラの設定)

「セットアップ」→「リモコン設定」→「VTR1」または「VTR2」

2 **ワイヤレスリモコンを設定する**

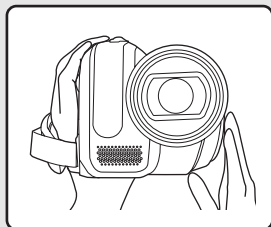
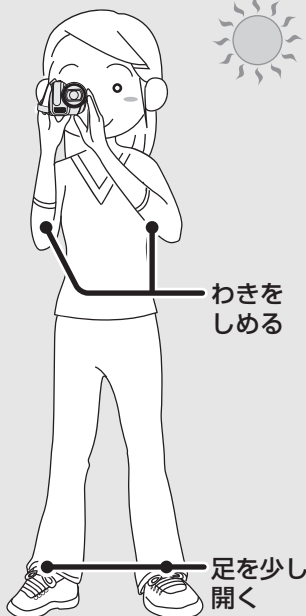
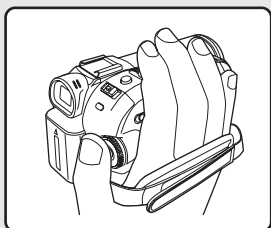
「VTR1」に設定する場合：
スロー／コマ送りボタン(右)と停止ボタンを同時に押す(VTR1)

「VTR2」に設定する場合：
スロー／コマ送りボタン(左)と停止ボタンを同時に押す(VTR2)

■ コイン電池について

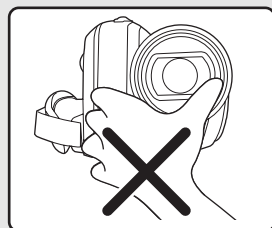
- ワイヤレスリモコンを本機のリモコン受信部の近くで操作しても動作しない場合は、コイン電池(CR2025)が消耗しています。新しい電池と交換してください。(電池の寿命は使用頻度にもよりますが、約1年です)
- コイン電池は、幼児の手の届かないところに置いてください。
- ビデオカメラとワイヤレスリモコンのリモコンモードが違うときは、画面に「リモコン」と表示が出て操作ができません。
(電源を入れたあとの最初の操作時のみ、「リモコンの設定を確認してください」(P92))
同じリモコンモードに設定してください。
- リモコンの操作範囲は室内での使用時の値です。屋外やリモコン受信部に強い光が当たっているときは、この範囲内であっても操作できない場合があります。

撮影前の確認

以下の項目を確認して、大切な撮影（結婚式など）や、長期間ご使用にならなかったときは、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影（録画など）や録音されていることを確かめてください。

基本的な構えかた

両手でしっかりと持つ

グリップベルトに手を通す

屋外では、なるべく太陽を背にして撮影してください。逆光では被写体が暗く撮影されます。

マイクやセンサー部を手などでふさがない

● 撮影時には、足場が安定していることを確認し、ボールや競技者などと衝突する恐れがある場所では周囲に十分お気をつけください。

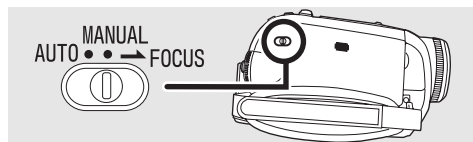
チェックポイント

- □ レンズキャップを外す（P9）
  （付けたまま電源を入れると、オートホワイトバランスが正しく合いません。必ず外してから電源を入れてください）
- □ グリップベルトの調整（P10）
- □ 液晶モニターを開くまたはファインダーを引き出す
  （液晶モニターとファインダーの両方を閉じた状態では撮影を開始できませんが、テープ撮影中に閉じても撮影を停止するまで電源は切れません）
- □ 液晶モニター / ファインダーの調整（P15、25）
- □ 電源の準備（P10 ～ 12）
- □ カセット / カードを入れる（P17 ～ 18）
- □ 年月日 / 時刻の設定（P14）
- □ リモコンを用意する（P26）
- □ SP/LP モードの設定（右ページ）
  （大切な撮影には SP モードをお使いいただくことをおすすめします）
- □ お出かけの際は、デジタルビデオ用ヘッドクリーナーをお持ちください。

フルオートモードについて

● フルオート / マニュアル切換えスイッチを [AUTO] にすると、自動で色合い（白バランス）やピント（フォーカス）が合います。
- オートホワイトバランス（P105）
- オートフォーカス（P105）

● 被写体の明るさなどにより、絞りおよびシャッター速度で最適な明るさが自動的に調整されます。(テープ撮影モード時：シャッター速度は最大 1/250 まで変化します)

● 光源や撮る場面によっては、色合いやピントが自動では合いません。この場合は、手動（マニュアル）で調整してください。

- シーンモード (P42)
- 白バランスの設定 (P43)
- シャッター速度の設定 (P45)
- 絞り・ゲイン値の設定 (P45)
- フォーカスの設定 (P44)

記録モードについて (SP/LP モード)

テープへの記録モードを切り換えられます。「LP」にすると、「SP」の 1.5 倍長くテープに記録できますが、制限される機能があります。

「よく使う設定」→「SP LP 記録モード」→「SP」または「LP」

ヒント

● 大切な撮影にはSPモードをお使いになることをおすすめします。

● LP モード記録で本機の性能を十分に生かすには、パッケージに「LP モード」表示のある当社製のミニDVカセットテープをおすすめします。

● LPモードで記録した映像にアフレコ(P56)はできません。(アフレコする場合はSPモードで記録してください)

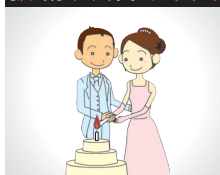
● LPモードで撮っても画質は劣化しませんが、以下の場合にモザイク状のノイズなどが出たり、機能が制限されることがあります。
- 他のデジタルビデオ機器、または LP モードがないデジタルビデオ機器で再生
- 他のデジタルビデオ機器で LP 録画したテープを本機で再生
- スロー / コマ送り再生時（P47）

撮影場面に合わせた設定例

以下の設定はあくまで目安です。光源や照明、天候、被写体の色や動きによってはうまく撮れないことがあります。
大切な撮影の前には、どの設定でどのように撮れるか、ためしておきましょう。(P43)

体育館

白バランス
→ (セットモード)

披露宴、舞台、発表会

白バランス
→場面ごとに設定
● スポットライトが当たっている場所では、シーンモードを「 (スポットライト)」にすることをおすすめします。

夜景、花火

白バランス
→ (屋外モード)
フォーカス
→マニュアル

運動会

白バランス→オート
フォーカス
→マニュアル
● 近距離でお子様の動きが速い場合は、オートフォーカスではピントが合わなくなる場合があります。

動きの速いシーン
(ゴルフのフォームなど)

シーンモード
→ (スポーツ)
白バランス
→オート
フォーカス
→マニュアル

1. テープ撮影

電源を入れる前にレンズキャップを外してください。(P9) 付けたまま電源を入れると、オートホワイトバランス（P105）が正しく合いません。

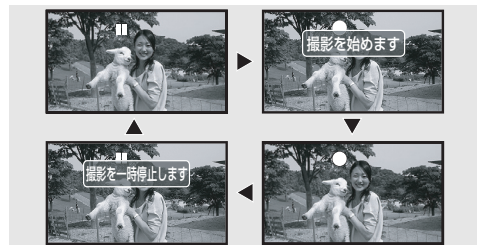
お買い上げ時、本機はワイドテレビの画面比率（16：9）に対応したワイドモードに設定されています。ノーマルテレビの画面比率（4：3）に対応させるには、撮影前に「ワイド設定」(P40) を変更するか、テレビにつないで見るときに「接続するテレビ」(P48) の設定を変更してください。

- **テープ撮影モードにしておく**

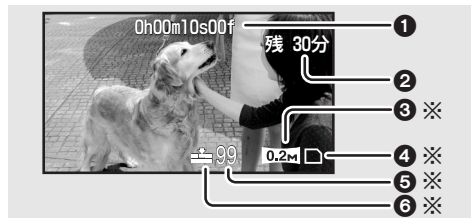
撮影開始 / 一時停止ボタンを押して撮影する

- テープ撮影中は液晶モニターを閉じて、ファインダーを収納しても撮影を続けます。

【撮影を終わるには】

撮影開始 / 一時停止ボタンをもう 1 度押す

ヒント

- バッテリーを使ってテープに撮影できる時間について（P12）
- テープの未記録部分を探すには、ブランクサーチをしてください。（右ページ）
- 撮影時のオリジナルの音声も残してアフレコ（P56）したい場合は、「お好み設定」メニューの「音声記録」を「12bit」にして撮影してください。

テープ撮影モード時の画面表示

※カードが入っている状態で、フォトショットボタンを半押ししたときのみ表示されます。（ワイヤレスリモコンをお使いの場合は表示されません）

❶ 撮影の経過時間
❷ テープ残量表示
❸ 静止画の記録画素数
❹ カード表示（P91）
❺ 静止画の記録可能枚数（残り0で赤色点滅となります）
❻ 静止画の画質

画面上のテープ残量表示について

- テープ残量を分単位で表示します。（残り 2 分で点滅表示）
- 15 秒以下の撮影では残量表示が出なかったり、正確に表示されないことがあります。
- 実際のテープ残量より2～3分少ない表示が出ることがあります。

撮影チェック（撮った内容を確認する）

最後に撮った部分を 2 ～ 3 秒間再生します。チェック終了後は、撮影の一時停止状態に戻ります。

- **テープ撮影モードにしておく**

1 図の操作アイコンを表示させる (P20)

2 ジョイスティックを左にたおして、撮影チェックアイコン「 」を選ぶ

- 「録画チェックを行います」が表示されます。

撮影チェック機能で正常に撮れているか確認してください！
ヘッド汚れの症状が出たときは、付属のデジタルビデオ用ヘッドクリーナーをお使いください。(P95)

2. ブランクサーチ

撮った最後の部分を探す

撮影した場面の最後の部分（テープの未使用部分）を探します。サーチ終了後はブランクサーチが解除され、撮影の一時停止状態になります。

● テープ撮影モードにしておく

1 図の操作アイコンを表示させる（P20）

2 ジョイスティックを右にたおして、ブランクサーチアイコン「 」を選ぶ

3 確認のメッセージが出たら、「はい」を選んでジョイスティックの中央を押す

【途中でやめるには】

ジョイスティックを下にたおして、停止アイコン「■」を選ぶ

ヒント

● テープに未記録部分がない場合は、テープ終端で止まります。

● 撮影した最後の場面の約1秒手前で止まります。そこから撮影を始めると、最後の部分からつなぎ撮りが始められます。

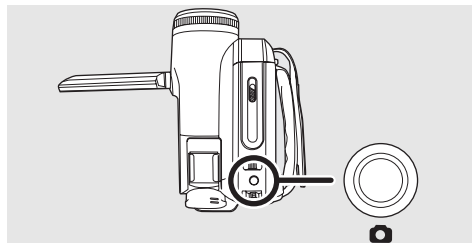
3. 同時記録

テープ撮影中に、カードに静止画を記録する

テープへの撮影中に、カードに静止画を記録できます。

● テープ撮影モードにしておく

テープ撮影中に、フォトショットボタンを全押し（下まで押す）して記録する

ヒント

● **カードへの記録枚数について（P84）**

● カードに静止画を記録中（ が赤く点灯中）は、撮影開始 / 一時停止ボタンが働きません。また、「SP/LP」、「タイムコード」、「 ! （P92）」、以外の画面表示が消えます。

● 記録する静止画の写真画質を選べます。（P33）

● より高画質な静止画を撮るには、カード記録モードにすることをおすすめします。

● 静止画を記録する際は、ぶれのないように両手でしっかり持ち、わきをしめて構えてください。

静止画の記録画素数

テープ撮影モード時でのカードに記録する静止画のサイズを切り換えます。

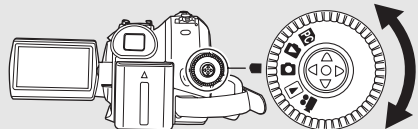
「 お好み設定」→「 記録画素数」→希望のサイズ

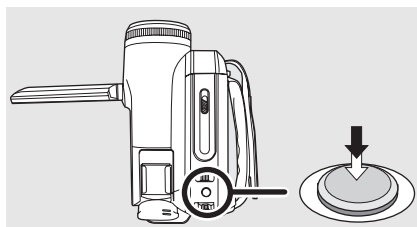
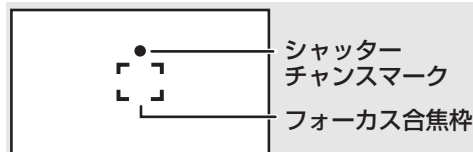
ワイド時	画素数
1M	1280 × 720 画素
0.2M	640 × 360 画素
4：3時	画素数
1M	1280 × 960 画素
0.3M	640 × 480 画素

テープに撮影する

1. カード記録

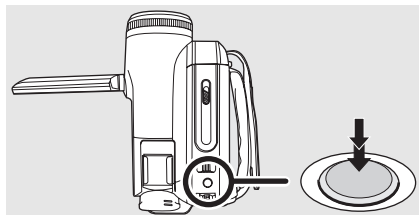
カードに静止画(JPEG)を記録する

● カード記録モードにしておく

1 フォトショットボタンを半押し(浅く押す)してピントを合わせる

(オートフォーカス時のみ)

- 手ぶれ補正(P41)を「入」に設定していると、手ぶれ補正の効果が高くなります。(MEGA (MEGA OIS)表示が出ます)
- 絞り・ゲイン値が固定され、自動でピントを合わせます。

○(白点滅): ピント合わせ中
●(緑点灯): ピントが合ったとき(ピピッ)
マークなし : ピントが合わなかったとき(ピッピッピッピッ)

フォトショットボタンを半押ししていないときのシャッターチャンスマークは、以下のように表示されます。撮影の目安にしてください。

●(緑点灯): ピントが合ったとき(フォーカスが安定して、よりきれいに撮れる状態)
○(白点灯): ほぼピントが合ったとき(通常の写真印刷(6つ切り)では問題ない状態)

2 フォトショットボタンを全押し(下まで押す)して記録する

【静止画をきれいに記録するには】

- 4倍以上の高倍率ズーム時は、手持ちによる撮影で微妙なぶれを抑えるのは難しくなりますので、ズーム倍率を低くして被写体に近づいて撮ることをおすすめします。
- 静止画を記録する際は、ぶれのないように両手でしっかり持ち、わきをしめて構えてください。
- 三脚・リモコンを使うと、手ぶれのない安定した静止画を記録することができます。

ヒント

- **カードへの記録枚数について(P84)**
- **カードに動画 / 音声は記録できません。**
- カードにデータを記録している間は、モードダイヤルを操作しないでください。
- カードに静止画を記録中(が赤く点灯中)は、「 ! (P92)」以外の画面表示が消えます。
- カード動作中ランプ点灯中は、カードを抜き差ししないでください。
- 本機で記録 / 作成したデータの他機での再生は、画像が悪くなったり、再生できない場合があります。
- 「写真画質」を「 」に設定して撮影すると、シーンによってはモザイク状になることがあります。
- 「記録画素数」を「0.2M」または「0.3M」以外に設定すると、メガピクセル記録になります。
- リモコンではフォトショットボタンの半押しはできません。

静止画の記録画素数・画質

記録画素数

カードに記録する静止画のサイズを切り換えます。

「 よく使う設定」→「 記録画素数」→希望のサイズ

ワイド時	画素数
2.4M	2048 × 1152 画素
0.2M	640 × 360 画素
４：３時	画素数
3.1M	2048 × 1512 画素
2M	1600 × 1200 画素
1M	1280 × 960 画素
0.3M	640 × 480 画素

- お使いのプリンターによっては、プリント時に端が切れる場合があります。(詳しくは、プリンターの説明書をお読みください)

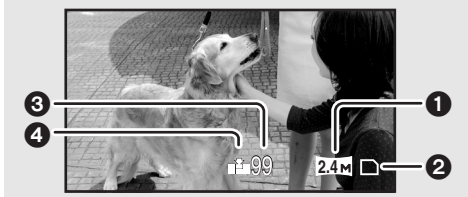
写真画質

カードに記録する静止画の画質を切り換えます。

「 よく使う設定」→「 写真画質」→希望の画質

(高画質)	高画質な静止画を記録
(標準)	標準画質で記録 （記録枚数を優先する）

- テープ撮影モードの「お好み設定」メニューの「写真画質」でも画質を変更できます。

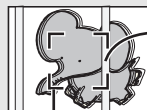
カード記録モード時の画面表示

❶ 静止画の記録画素数
❷ カード表示（P91）
❸ 静止画の記録可能枚数
（残り 0 で赤色点滅となります）
❹ 静止画の画質

シャッターチャンスマークについて

- マニュアルフォーカス時は、シャッターチャンスマークは出ません。
- フルオートでピントが合いにくいときは、マニュアルで合わせてください。
- シャッターチャンスマークが出なくてもカード記録は可能です。ただし、ピントが合わずに記録される場合があります。
- 以下のような場合は、シャッターチャンスマークが表示されない、または表示されにくくなります。
  - ズーム倍率が大きい
  - 手ぶれが大きい
  - 被写体が動いている
  - 逆光のとき
  - 遠近が共存している場面
  - 低照度で暗い場面
  - 明るい部分が入っている場面
  - 横線しかない場面
  - コントラストが少ない場面
  - テープ撮影中

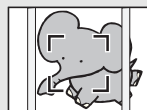
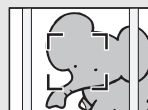
フォーカス合焦枠について

- フォーカス合焦枠内で被写体の前後にコントラストの高いものがあると、被写体にピントが合わない（合焦しない）場合があります。このときは、コントラストの高いものをフォーカス合焦枠から外してください。

コントラストの高いもの（柵など）にピントが合うので被写体がぼける。

フォーカス合焦枠

フォーカス合焦枠から外すとピントが合います。

少し画面をずらす。

または

少しズームインするまたは被写体に近づく。

- それでもピントが合いにくいときは、マニュアルフォーカスで調整してください。(P44)

シャッター効果を入れて撮る

フォトショット時にシャッター音が出ます。

「 お好み設定」→「 シャッター効果」→「入」

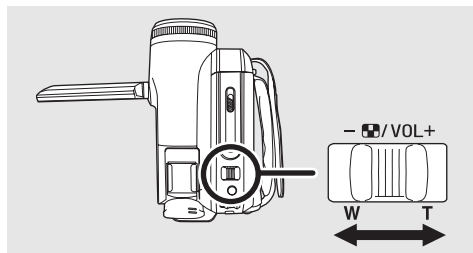
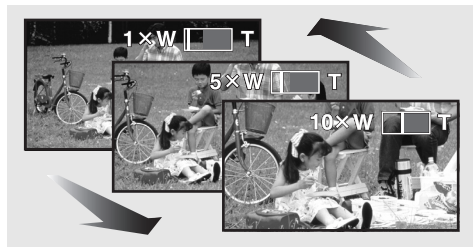
カードに記録する

1. ズーム

ズームレバーを動かして倍率を調整する

遠くの人や物を大きく撮ったり、景色などを広角に撮ることができます。光学で最大 10 倍まで拡大できます。

- テープ撮影モードまたは カード記録モードにしておく

ズームレバーを動かす

T 側　：大きく撮る（ズームイン：拡大）
W 側　：広く撮る（ズームアウト：広角）

ヒント

- 本機を手に持って拡大して撮影するときは、手ぶれ補正機能を使うことをおすすめします。（P41）
- 被写体を大きくしているときは、約 1.0 m 以上でピントが合います。
- ズーム速度が速いと、ピントが合わないことがあります。
- ズーム倍率 1 倍では、レンズから約 4 cm まで近づいて撮ることができます。（マクロ機能）
- ズーム操作中にズームレバーから指を離すと、操作音が記録されることがあります。レバーを元の位置に戻すときは、静かに戻してください。

さらに大きく撮る（デジタルズーム）

ズーム倍率が 10 倍より大きくなると、デジタルズームになります。デジタルズームの倍率の最大値を切り換えられます。

テープ撮影モードにする
「 お好み設定」→「 デジタルズーム」→希望の倍率

切　　：光学ズームのみ（最大 10 倍まで）
25×　：デジタルズーム（最大 25 倍まで）
100×：デジタルズーム（最大 100 倍まで）

- 拡大するほど画質は粗くなります。
- カード記録モードでは使えません。

可変速ズーム機能について

- ズームレバーを最後まで押し込むと、最速約 2.5 秒で 1 ～ 10 倍までズームできます。
- ズームレバーを動かす幅によって、ズーム速度が変わります。
- ワイヤレスリモコンでは、可変速ズームはできません。

ズームマイク機能について

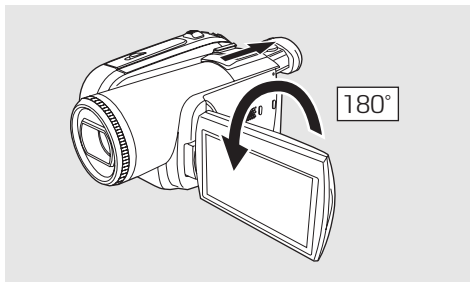
ズーム操作に連動して、望遠では遠くの音、広角では周りの音をよりクリアに収録します。

テープ撮影モードにする
「 お好み設定」→「 ズームマイク」→「入」

2. 対面撮影

撮影する相手に内容を見せながら撮影する

撮影する相手に内容を見せながら撮影したり、液晶モニターを見ながら自分自身を撮ることができます。液晶モニターに映る映像は、鏡を見ているような左右反転した映像になりますが、記録される内容は通常どおりです。

液晶モニターを手前（レンズ側）に回転させる

- 対面撮影時は、ファインダーを引き出して、映像を見ながら撮影してください。
- ワイドモード時は、ファインダーの画面が縦長になりますが、故障ではありません。
- 対面撮影時は、下記以外の画面表示が消え、ジョイスティックを押しても操作アイコンは表示されません。
  テープ撮影モード時：
  「▭」、「❚❚/ ●」、「□(P91)」、「! (P92)」
  カード記録モード時：
  「▭」、「□(P91)」、「シャッターチャンスマーク（P32）」、「フォーカス合焦枠(P32)」、「! (P92)」

3. 逆光補正

逆光で人物などが暗くなるのを防ぐ

被写体に後ろ側から光が当たり、暗く映るときにお使いください。

- **テープ撮影モードまたは カード記録モードにしておく**

1 図の操作アイコンを表示させる(P20)

2 ジョイスティックを上にたおして、逆光補正アイコン「」を選ぶ

- 「逆光補正を設定しました」が表示されます。
- 画面の映像が明るくなります。

【解除するには】

もう一度、逆光補正アイコンを選ぶ
（「逆光補正を解除しました」が表示されます）

ヒント

- 電源を切るまたはモードダイヤルを操作すると解除されます。
- カラーナイトビューを設定すると解除されます。

4. カラーナイトビュー

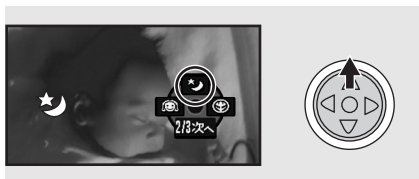
暗い場所で撮る

暗い場所でも、カラーで明るく浮かび上がらせて撮影できます。
三脚に取り付けて使うと、ぶれの少ない映像が撮れます。

● **撮影した映像はコマ落としのようになります。**

● テープ撮影モードにしておく

1 図の操作アイコンを表示させる(P20)

2 ジョイスティックを上にたおして、カラーナイトビューアイコン「」を選ぶ

●「カラーナイトビューを設定しました」が表示されます。

【解除するには】
もう一度、カラーナイトビューアイコンを選ぶ(「カラーナイトビューを解除しました」が表示されます)

ヒント

● 明るい場所で設定すると、しばらくの間画面が白くなることがあります。
● カラーナイトビューは、CCDの信号蓄積時間を最大で通常の約 30 倍にすることにより、暗い場面(最低約 1 lx)でもカラーで明るく映し出すことができる機能です。このため、通常では見えない微小な輝点が見えることがありますが、異常ではありません。
● 電源を切るまたはモードダイヤルを操作すると解除されます。

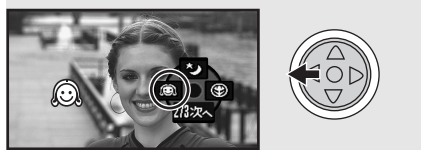
5. 美肌モード

肌の色をソフトに見せ、よりきれいに映す

人物の胸から上を大きく撮ると、より効果的です。

- テープ撮影モードまたは カード記録モードにしておく

1 図の操作アイコンを表示させる(P20)

2 ジョイスティックを左にたおして、美肌アイコン「」を選ぶ

- 「美肌モードを設定しました」が表示されます。

【解除するには】

もう一度、美肌アイコンを選ぶ
(「美肌モードを解除しました」が表示されます)

ヒント

- 背景などに肌色に近い色をした個所があると、その部分も同時になめらかになります。
- 明るさが不十分なときは、効果が分かりにくい場合があります。

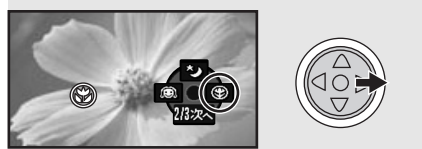
6. テレマクロ機能

背景をぼかして撮影する

被写体のみにピントを合わせ、背景をぼかすことで、より印象的な映像にします。
約 50 cm まで近づいて撮影できます。

- テープ撮影モードまたは カード記録モードにしておく

1 図の操作アイコンを表示させる(P20)

2 ジョイスティックを右にたおして、テレマクロアイコン「」を選ぶ

- 「テレマクロを設定しました」が表示されます。
- ズーム倍率が 10 倍以下のときは、自動的に 10 倍になります。

【解除するには】

もう一度、テレマクロアイコンを選ぶ
(「テレマクロを解除しました」が表示されます)

ヒント

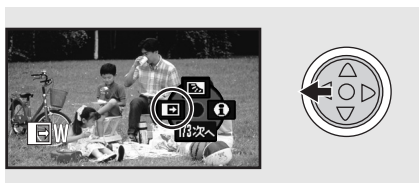
- ピントが合いにくいときは、マニュアルで調整してください。(P44)
- ズーム倍率を 10 倍未満にすると、自動的に解除されます。
- 電源を切るまたはモードダイヤルを操作すると解除されます。

7. フェード

映像と音声を徐々に現す / 消す

● テープ撮影モードにしておく

1 図の操作アイコンを表示させる（P20）

2 ジョイスティックを左にたおして、フェードアイコン「」を選ぶ

● 「フェードを設定しました」が表示されます。

3 撮影開始 / 一時停止ボタンを押して、撮影を開始する（フェードイン）

● 撮影開始時に「撮影を始めます（フェード動作中）」が表示されます。
● 記録を始めると、映像 / 音声が完全に消えたあと、映像 / 音声が少しずつ現れます。

4 撮影開始/一時停止ボタンを押して、撮影を一時停止する（フェードアウト）

● 撮影一時停止時に「撮影を一時停止します（フェード動作中）」が表示されます。
● 映像/音声が少しずつ消えていき、完全に映像 / 音声が消えたあと、記録が停止します。

【解除するには】
もう一度、フェードアイコンを選ぶ
（「フェードを解除しました」が表示されます）

■ フェードする画面の色を選ぶには

「 お好み設定」→「 フェード色」→「白」または「黒」

● 画面の表示が変わります。

白　　黒

ヒント
● フェードイン時は、撮影を開始すると映像が現れるまで数秒かかります。
● フェードアウト時は、撮影開始 / 一時停止ボタンを押してから撮影が終了するまで数秒かかります。（フェードアウト中は「▮▮」マークが赤く表示されます）

8. 風音低減

内蔵マイクに当たる風の音を低減する

● テープ撮影モードにしておく

メニュー操作する（P23）

「よく使う設定」→「風音低減」→「入」

【解除するには】

「風音低減」→「切」

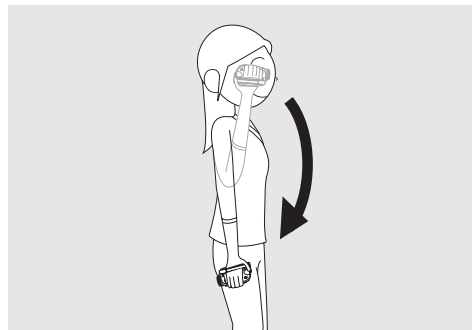
ヒント

● 初期設定は「入」です。
● 風の強さに応じて、マイクの風音ノイズを低減します。（強風下でご使用の場合は、ステレオ感がなくなることがありますが、風が弱くなると自動的に元のステレオ感のある音質に戻ります）

9. うっかり撮り防止

テープの無駄撮りを防止する

撮影を一時停止することを忘れて、撮影状態のまま本機を逆さまにしているときなどに無駄な撮影を防ぐことができます。

● テープ撮影中にビデオカメラが水平方向から逆さまになると、自動的に撮影を一時停止します。

AGS:Anti（アンチ） Ground（グラウンド） Shooting（シューティング）の意味です。

● テープ撮影モードにしておく

メニュー操作する（P23）

「セットアップ」→
「AGS うっかり撮り防止」→「入」

【解除するには】

「AGS うっかり撮り防止」→「切」

ヒント

● 真上や真下を撮影していると、うっかり撮り防止機能が働き、撮影が一時停止することがあります。このような場合は「うっかり撮り防止」を「切」にして撮影してください。
● うっかり撮り防止機能は、撮影を一時停止し忘れたときのための機能です。通常は撮影開始/一時停止ボタンを押して撮影を一時停止してください。
● ビデオカメラが逆さまになってから一時停止するまでの時間は、使用状況により異なります。

10.セルフタイマー

自分も入って撮る

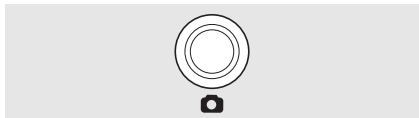
タイマーを使ってカードに静止画を記録できます。

● カード記録モードにしておく

1 図の操作アイコンを表示させる（P20）

2 ジョイスティックを左にたおして、セルフタイマーアイコン「」を選ぶ

- 「セルフタイマーを設定しました」が表示されます。

3 フォトショットボタンを押す

- 「」表示が10秒間点滅したあと記録されます。記録後、セルフタイマーは解除されます。
- フォトショットボタンを半押ししてから全押しすると半押ししたときにピントが合います。
- フォトショットボタンを一度に全押しすると、撮影直前にピントが合います。

【タイマーを途中で止めるには】

メニューボタンを押す

ヒント

- 電源を切るまたはモードダイヤルを操作すると、セルフタイマーは解除されます。

11. ワイドモード

ワイドテレビに対応した映像を撮る

S1（ワイド）、S2（シネマ）映像端子の付いたワイドテレビに対応した映像を撮ることができます。（接続するテレビによって、テープ/カードの再生映像は異なります）

● テープ撮影モードまたは カード記録モードにしておく

メニュー操作する（P23）

「よく使う設定」→「ワイド設定」→「ワイド」

【解除するには】

「ワイド設定」→「4：3」

接続するテレビと再生される映像について

- S映像プラグを使う場合、接続する端子の種類によって、再生映像が図のようになります。

- 本機で記録した比率のままテレビで再生するときは、テープ/カード再生モードの「セットアップ」→「接続するテレビ」で設定を変更してください。
- 接続するテレビの設定によって正しく表示されない場合がありますので、詳しくは、テレビの説明書をお読みください。

ヒント

- 初期設定は「ワイド」です。
- ワイドモード時は、メニュー画面や操作アイコンなどの画面表示が横長になります。
- テレビに映像を映すと、日付表示が欠けることがあります。
- テレビによっては、画質が悪くなる場合があります。
- 「接続するテレビ」の設定を「ワイド」にして、4：3モードで記録した静止画を再生したとき、操作アイコンなどの画面表示が左右の黒帯まではみ出して表示されます。

12. 手ぶれ補正

ぶれを少なくして撮る

撮影時に起こる手ぶれによる映像の揺れを軽減します。

- テープ撮影モードまたは カード記録モードにしておく

メニュー操作する（P23）

「 お好み設定」→「 手ぶれ補正」→「入」

【解除するには】

「 手ぶれ補正」→「切」

ヒント

- カード記録モード時に静止画を記録するときは、フォトショットボタンを半押しすると、手ぶれ補正の効果が高くなります。(MEGA OIS)
- ぶれが大きいときや、動きのある被写体を追いながら撮影した場合、補正できないことがあります。
- 以下の場合は、手ぶれ補正が効きにくくなることがあります。
  - デジタルズーム使用時
  - コンバージョンレンズ使用時

13. ガイドライン

傾きやバランスを見ながら撮影する

撮影時に、映像が水平になっているか確認することができます。構図のバランスを見る目安にもなります。

- テープ撮影モードまたは カード記録モードにしておく

メニュー操作する（P23）

「 お好み設定」→「 撮影ガイドライン」→「入」

【解除するには】

「 お好み設定」→「 撮影ガイドライン」→「切」

ヒント

- ガイドラインは実際に記録される映像には表示されません。

1. シーンモード

いろいろな場面で撮る

撮りたい場面に合わせて、自動でシャッター速度や絞りが調整されます。

● テープ撮影モードまたは カード記録モードにしておく

1 フルオート/マニュアル切換えスイッチを [MANUAL] にする

2 メニュー操作する（P23）

「 よく使う設定」→
「SCN シーンモード」→希望の設定

表示	モード	撮影条件
	スポーツ	スポーツシーンなど、動きの速い場面で
	ポートレート	背景をぼかして、手前の人物を引き立たせる
	ローライト	夕暮れなど、暗い場面で明るく
	スポットライト	スポットライトが当たる人物をきれいに
	サーフ & スノー	海辺やスキー場など、まぶしい場面で

【元に戻すには】

「SCN シーンモード」→「切」

（または切換えスイッチを [AUTO] にする）

：スポーツモード

● 撮ったものをスロー再生や静止画再生したときに、ぶれの少ない映像になります。
● 通常の再生では、画面の変わりかたがなめらかには見えません。
● 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明は避けてください。色合いや画面の明るさが変わることがあります。
● 明るく光っているものや反射の強いものは、縦方向に光の帯が出ることがあります。
● 明るさが足りない場合はスポーツモードが働きません。このときは、「 」が点滅します。
● 屋内で使うと画面がちらつくことがあります。

：ポートレートモード

● 屋内で使うと画面がちらつくことがあります。このときはシーンモードを「切」にしてお使いください。

：ローライトモード

● 極端に暗い場面ではきれいに撮れないことがあります。

：スポットライトモード

● 撮りたいものが極端に明るい場合、映像が白っぽくなることがあります。また、周囲が極端に暗くなることがあります。

：サーフ & スノーモード

● 撮りたいものが極端に明るい場合、映像が白っぽくなることがあります。

2. 白バランス設定（ホワイトバランス）

光源などによって、色合いが自然でないときに、手動で設定してください。

● テープ撮影モードまたは カード記録モードにしておく

1 フルオート/マニュアル切換えスイッチを [MANUAL] にする

● 図のアイコンが自動的に表示されます。

2 ジョイスティックを上にたおして、白バランスアイコン「WB」を選ぶ

3 ジョイスティックの左右で白バランスのモードを選ぶ

【元に戻すには】

白バランスのモードを「AWB」にする、または切換えスイッチを [AUTO] にする

表示	モード	撮影条件
AWB	オート	
	屋内（白熱電球）	白熱電球、ハロゲンランプ
	屋外	屋外の晴天下
	蛍光灯	蛍光灯（当社のパルック蛍光灯など）
	セット	- 水銀灯、ナトリウム灯、一部の蛍光灯 - ホテルの結婚式場のライトや劇場のスポットライト - 日没・日の出など

ヒント

● レンズキャップを付けたまま電源を入れると、オートホワイトバランスが正しく合いません。必ず外してから電源を入れてください。

● 白バランスと絞り・ゲインの両方を設定するときは、白バランスを設定したあとに、絞り・ゲインを設定してください。

● 撮影条件が変わった場合は、正確に合わせるために毎回設定し直してください。

手動で白バランスの設定をする場合

1）「」（セットモード）を選び、画面いっぱいに白い被写体を映す

2）ジョイスティックを上にたおして、図のアイコンの「」を選ぶ

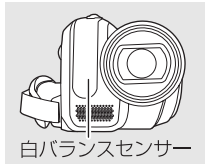
● 「」表示が点滅から点灯に変わると、設定完了です。

2. 白バランス設定（ホワイトバランス）

（つづき）

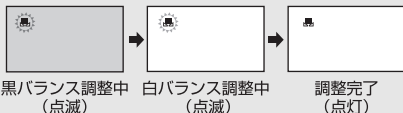
「」表示の点滅について

- セットモードを選んだとき
  - 以前にセットモードで設定した内容が保持されていることを示しています。（再度設定するまで、その内容を記憶しています）
- セットモードで設定できないとき
  - 暗いところなどでは、セットモードでの設定がうまくできないことがあります。このときは、オートモードで撮ってください。
- セットモードで設定中のとき
  - セットモードで設定中は、「」表示が点滅します。設定が完了したら、「」表示が点灯に変わります。

白バランスセンサーについて

白バランスセンサー

- 撮影時に白バランスセンサーの前を手などでふさがないでください。白バランスが正常に働きません。

黒バランスについて

- 3CCD システムの機能の 1 つで、白バランスをセットモードで設定したとき、自動的に黒の状態も合わせます。黒バランス調整時には、画面が一瞬黒くなります。（手動で黒バランスを調整することはできません）

黒バランス調整中（点滅）　白バランス調整中（点滅）　調整完了（点灯）

3. マニュアルフォーカス設定

手動でピントを合わせる

自動でピントが合いにくいときに調整してください。

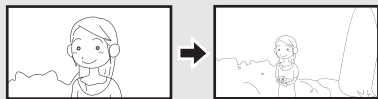
- テープ撮影モードまたは カード記録モードにしておく

1 フルオート/マニュアル切換えスイッチを [MANUAL] にする

2 右へ動かし、[FOCUS] にする

- 図のアイコンとマニュアルフォーカス「MF」が表示されます。

3 ジョイスティックの左右でピントを調整する

- 広角でピントを合わせると、拡大したときにピントが合っていないことがあります。拡大して合わせると、広角にしてもピントが合います。

【元に戻すには】

切換えスイッチをもう一度 [FOCUS] の位置まで右に動かす、または [AUTO] にする

- マニュアルフォーカス「MF」表示が消えます。

4. シャッター速度 / 明るさ（絞り・ゲイン）調整

＜シャッター速度＞
動きの速いものを撮るときなどに調整してください。

＜絞り・ゲイン＞
暗すぎる（明るすぎる）場面で撮るときなどに調整してください。

- 🎥 テープ撮影モードまたは 📷 カード記録モードにしておく

1 フルオート/マニュアル切換えスイッチを [MANUAL] にする

- 図のアイコンが自動的に表示されます。

2 ジョイスティックを左右にたおして、絞り・ゲインの表示「IRIS」、またはシャッター速度の表示「SHTR」を選ぶ

3 ジョイスティックの左右で調整する

シャッター速度
絞り値
ゲイン値

【元に戻すには】
切換えスイッチを [AUTO] にする

ヒント

＜シャッター速度＞

- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明は避けてください。色合いや画面の明るさが変わることがあります。
- マニュアルでシャッター速度を速くすると、感度が低くなることにより、自動でゲイン値が上がり、画面にノイズが増えることがあります。
- 明るく光っているものや反射の強いものは、縦方向に光の帯が出ているように撮れることがありますが、故障ではありません。
- 通常の再生では、画面の変わりかたがなめらかに見えないことがあります。
- 極端に明るい場所や被写体を撮影すると、画面の色が変わったり、ちらついたりすることがあります。この場合、マニュアルでシャッター速度を 1/60 または 1/100 に調整してください。

＜絞り・ゲイン＞

- 絞り・ゲインとシャッター速度の両方を設定するときは、シャッター速度を設定したあとに、絞り・ゲインを設定してください。
- 絞り値が「OPEN」にならないと、ゲイン値は調整できません。
- ゲイン値を上げると、画面にノイズが増えます。
- ズーム倍率によっては、表示されない絞り値（F 値）があります。

シャッター速度の調整範囲

モード	シャッター速度
🎥	1/60 ～ 1/8000
📷	1/30 ～ 1/2000

- 1/8000に近いほど、シャッター速度が速くなります。

絞り値・ゲイン値と明るさの関係

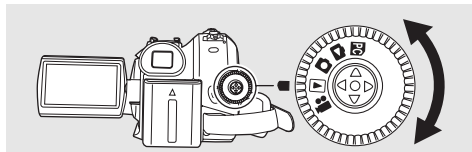
CLOSE F16～F2.0　　OPEN(開放)0dB～18dB
暗くする ⟷ 明るくする

動きの速いものを撮影し、あとで静止画再生して見る場合

- シャッター速度の目安

撮影対象	シャッター速度
ゴルフやテニスのスイング	1/500 ～ 1/2000
ジェットコースター	1/500 ～ 1/1000

1. テープ再生

● ▶ テープ再生モードにしておく
（液晶モニターに操作アイコンが自動的に表示されます）

ジョイスティックの上下左右で操作する

▶/II	再生 / 一時停止
◀◀	巻き戻し / 巻き戻し再生 （▶/II で通常再生に戻ります）
▶▶	早送り / 早送り再生 （▶/II で通常再生に戻ります）
■	停止

ヒント

● テープ再生モード / カード再生モードの場合は、液晶モニターとファインダーの両方を閉じても電源は切れません。

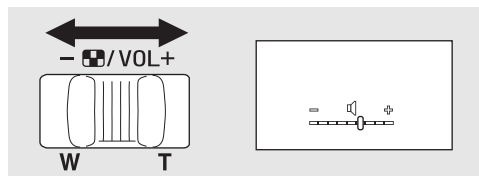
● 動きのある場面では、早送り / 巻き戻し再生中に画面がモザイク状になります。

● 早送り / 巻き戻し再生の前後に、画面が一瞬青くなったり、映像が乱れることがあります。

ヘッド汚れの症状が出たときは、付属のデジタルビデオ用ヘッドクリーナーをお使いください。（P95）

音量を調整する

再生時のスピーカー音量を調整します。

ズームレバーを動かして音量を変える

＋側　：音量を上げる
－側　：音量を下げる
（「 」表示が右に移動する（＋に近づく）ほど音量が大きくなります）

ヒント

● 調整が終わると、音量表示は消えます。

● テープ再生時に聞きたい音声が聞こえないときは、「12bit 音声」（P56）の設定を確認してください。

リピート再生について

テープの終端まで再生すると、自動的に始端まで巻き戻し、もう一度再生します。

「応用設定」→「リピート再生」→「入」

●「 ▶」表示が出ます。（解除するには、「リピート再生」を「切」にする、または電源を [OFF] にします）

●「USB 機能」を「WEB カメラ」にして USB 接続ケーブルをつなぐと、リピート再生が解除されます。

音声の設定について

● 聞きたい音声が出ないときは、「12bit 音声」（P56）の設定を確認してください。

●「12bit」で撮影、アフレコした場合、「12bit 音声」を「ミックス」にすると、「音声切換」の設定に関係なく、再生する音声はステレオになります。

2. スロー再生 / コマ送り再生

スローモーションで再生する
1 コマずつ再生する

- ▶ テープ再生モードにしておく
(スロー再生は、ワイヤレスリモコンでのみ操作できます)

<スロー再生>

SP モード記録時は約 1/5、LP モード記録時は約 1/3 の速度で再生します。

リモコンのスロー/ コマ送りボタンを押す

- 約 10 分以上スロー再生を続けると、テープが自動的に停止します。(10 分間でテープ上の再生時間は、SP モードで約 2 分、LP モードで約 3 分進みます)

<コマ送り再生>

再生を一時停止し、リモコンのスロー / コマ送りボタンを押す

- 再生の一時停止中に本体のズームレバーをT側(正方向)または W 側(逆方向)にポンと押しても、コマ送り再生できます。また、レバーを押し続けると連続コマ送り再生できます。

【通常の再生に戻すには】

ワイヤレスリモコンの再生ボタンを押す、またはジョイスティックを上にたおして再生する

ヒント

< スロー再生 >

- 逆スロー再生時にタイムコード表示が一定にならない場合があります。

< コマ送り再生 >

- 再生の一時停止中にスロー/ コマ送りボタンを押し続けると、連続コマ送り再生になります。

3. 可変速サーチ

再生の速度を変える

速度を変えて再生 / 逆再生します。
(ワイヤレスリモコンでのみ操作できます)

- ▶ テープ再生モードにして、テープを再生しておく

1 リモコンの可変速サーチボタンを押す

2 方向ボタンの上下を押して、再生の速度を調整する

- 速度は再生 / 逆再生ともに、1/5 (SP)、1/3 (LP)、2、5、10、20 倍速があります。

【通常の再生に戻すには】

ワイヤレスリモコンの可変速サーチボタン、または再生ボタンを押す

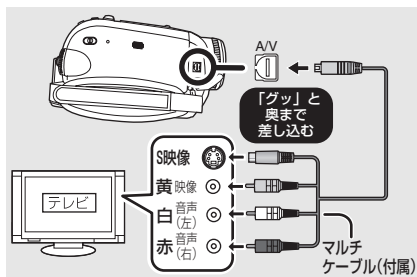
ヒント

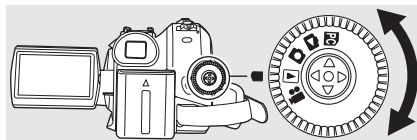
- 画面がモザイク状になる場合があります。
- 音声は出ません。
- 操作アイコンを表示すると解除されます。
- 20 倍速で早送り、または巻き戻ししている場合、テープの始め、または終わりに近づくと 10 倍速に切り換わります。(画面の表示が [10×] になり点滅します)

4. テレビで再生

本機で撮った映像をテレビ画面で再生できます。

- **本機に撮影済みのカセット/カードを入れておく**
- 本機を接続するときは、電源スイッチを[OFF]にして行ってください。

1 本機とテレビをつなぐ

- テレビにS映像入力端子があるときは、S映像プラグも同時に接続すると、よりきれいな映像を見ることができます。（必ず映像·音声プラグも一緒に接続してください）

2 本機の電源を入れ、テープ再生（カード再生）モードにする

3 テレビの入力チャンネルを選ぶ

- テレビに正しく表示されない場合（テレビ画面の再生映像が縦長になるなど）は、本機で設定を変えてください。（P40）

「セットアップ」→「接続するテレビ」→「4：3」または「ワイド」

4 本機の再生を始める

- テレビに映像や音声が出ます。

5 本機の再生を終わる

ヒント

- ACアダプターを使うと、バッテリーの消耗を気にせず使えます。

■ テレビに本機の映像や音声が出ないときは

- プラグがグッと奥まで差し込んであるか確認してください。
- 接続している端子を確認してください。
- 「12bit音声」（P56）の設定を確認してください。
- **テレビの入力設定（入力切換）を確認してください。**
  （詳しくは、テレビの説明書をお読みください）
  <テレビの設定>
  例：チャンネルを「ビデオ2」などにする
  （接続する端子によって変わります）

テレビ画面に機能表示などを表示する

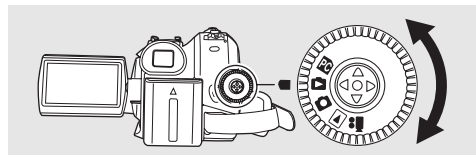
液晶モニターやファインダーに表示されている情報（操作アイコン、タイムコード、モード表示など）をテレビ画面に表示することができます。

リモコンの表示出力ボタンを押す

再度、表示出力ボタンを押すと、表示が消えます。

1. カード再生

カードの静止画（JPEG）を再生する

- ▶ カード再生モードにしておく
（液晶モニターに操作アイコンが自動的に表示されます）

ジョイスティックの上左右で操作する

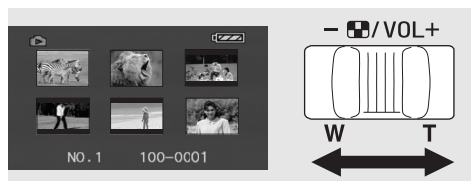
◀II	前の画像を表示
II▶	次の画像を表示
▶/■	スライドショー（カードの静止画を順番に再生）の開始 / 一時停止

ヒント

- テープ再生モード / カード再生モードの場合は、液晶モニターとファインダーの両方を閉じても電源は切れません。
- 操作アイコンが表示されていない状態でも前後の画像を表示させることができます。
- カードのデータを再生中は、モードダイヤルを操作しないでください。
- カード動作中ランプ点灯中は、カードを抜き差ししないでください。
- 記録画素数によっては、ファイルの表示に時間がかかる場合があります。
- 形式の異なるデータや壊れたデータを再生したときは、画面全体が青くなり、「再生できません」というメッセージが出ることがあります。
- 4：3モード（3.1M、2M、1M、0.3M）で記録した静止画をワイドテレビで再生したとき、画質が粗くなることがあります。
- 本機以外で記録したファイルを再生すると、日時表示が撮影日時と異なることがあります。

再生ファイルの選択について

カード再生モードでは、カード内のファイルをマルチ画面で表示できます。

ズームレバーを動かして画面を切り換える

T 側　：全画面表示（1 つの画像を表示）
W 側　：マルチ画面表示（1 画面に 6 ファイル）

- マルチ画面表示では、
  - ジョイスティックの上下左右でファイルを選び（オレンジ色の枠で囲まれます）、中央を押して決定してください。選んだファイルが全画面で表示されます。
  - 7 ファイル以上記録されている場合は、ジョイスティックを動かしていくと、次の（前の）マルチ画面が表示されます。

静止画の互換性について

- 本機は社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格 DCF（Design rule for Camera File system）に準拠しています。
- 本機で再生できるファイル形式は JPEG です。（JPEG 形式でも再生できないものもあります）
- 規格外のファイルを再生すると、フォルダ / ファイル名が表示されない場合があります。
- 他機で記録 / 作成したデータの本機での再生、本機で記録 / 作成したデータの他機での再生は、画像が悪くなったり、再生できない場合があります。

1. ファイル削除

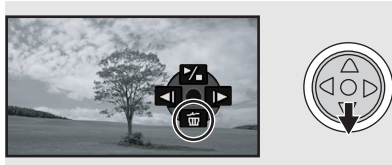
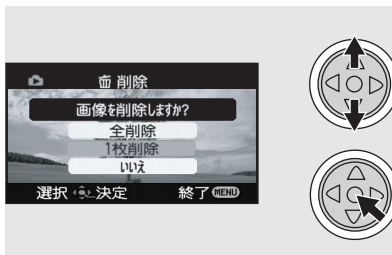
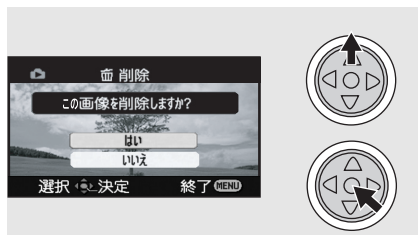
カードに記録した静止画を削除する

一度削除した静止画は元に戻りません。

● カード再生モードにしておく

1 ジョイスティックの左右で削除するファイルを選ぶ

● マルチ画面表示 (P49) でも選ぶことができます。ファイルを選択してから、ジョイスティックを押して操作アイコンを表示してください。

2 ジョイスティックの下で、「🗑」を選ぶ

3 ジョイスティックの上下で、「全削除」または「1 枚削除」を選び、中央を押す

4 確認のメッセージが出たら、「はい」を選んでジョイスティックの中央を押す

● 削除をやめるときは、「いいえ」を選びます。

ヒント

● 削除中は電源を切らないでください。

● 削除するときは、十分に充電されたバッテリー、または AC アダプターを使用してください。

●「全削除」の場合、カード内にファイルが多数あると、削除に時間がかかることがあります。

● 記録時に「カード残量がありません」と表示されたときは、容量がいっぱいですので、新しいカードを入れるか、カード再生モードにして、不要なファイルを削除してください。

● DCF 規格に準拠したファイルを削除すると、そのファイルに関連するデータはすべて削除されます。

■ 他の機器でカードに記録された静止画のファイルを削除する場合

● 本機で再生できない静止画のファイル (JPEG以外のファイル) でも削除される場合があります。

2. フォーマット

カードを初期化する

フォーマットすると、カードに記録されているすべてのデータは削除されますので、お気をつけください。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

● カード再生モードにしておく

1 メニュー操作する（P23）

「応用設定」→「フォーマット」→「する」

2 「全てのデータを削除します」が出たら、「はい」を選んでジョイスティックの中央を押す

ヒント

- 通常、フォーマットする必要はありません。何度カードを抜き差ししても、「ビデオカメラでフォーマットしてください」とメッセージが出る場合にフォーマットしてください。
- フォーマットは本機で行ってください。他機（パソコンなど）でフォーマットすると、記録に時間がかかったり、使用できなくなる場合があります。
- フォーマット中はカードを抜いたり、電源を切らないでください。

3. プロテクト設定

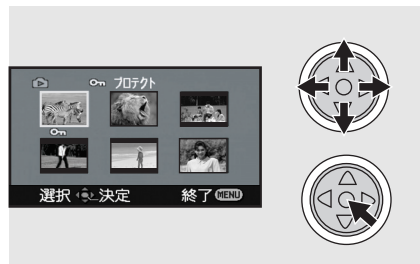
ファイルを誤消去防止する

カードに記録した静止画を誤って削除しないように、プロテクト設定できます。
（ファイルをプロテクトしていても、カードをフォーマットした場合は削除されます）

● カード再生モードにしておく

1 メニュー操作する（P23）

「基本設定」→「プロテクト」→「する」

2 ジョイスティックの上下左右で設定するファイルを選び、中央を押して設定する

- 「」表示が出てファイルがプロテクトされます。もう一度押すと、プロテクトは解除されます。
- 複数のファイルを続けて設定できます。

【設定を終了するには】

メニューボタンを押す

4. DPOF 設定

ディーポフ

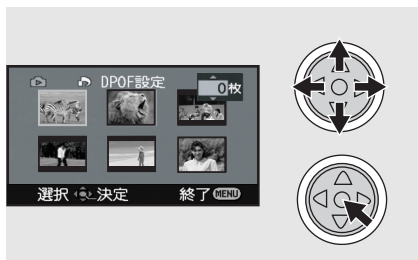
プリント情報をカードに書き込む

プリントしたい画像、プリント枚数などの情報（DPOF データ）をカードに書き込むことができます。

● カード再生モードにしておく

1 メニュー操作する（P23）

「応用設定」→「DPOF 設定」→「設定」

2 ジョイスティックの上下左右で設定するファイルを選び、中央を押す

● 枚数表示が出ます。

3 ジョイスティックの上下でプリントする枚数を選び、中央を押す

● 0 から 999 枚まで選べます。(DPOF に対応したプリンターで、設定した枚数をプリントできます)
● 複数のファイルを続けて設定できます。

【設定を終了するには】
メニューボタンを押す

ヒント

● 他機で DPOF 設定すると、本機では認識しないことがあります。DPOF 設定は本機で行ってください。

すべての画像をプリントしないように設定するには

「DPOF 設定」→「全て解除」

DPOF とは

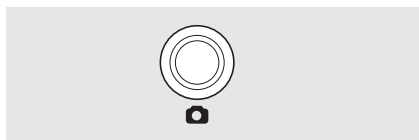
デジタル プリント オーダー フォーマット
Digital Print Order Format の略です。
DPOF 対応のシステムで活用できるように、カードのメモリー画像にプリント情報などを付加できるようにしたものです。

1. テープの映像をカードに記録

テープに撮影した映像の気に入ったシーンをカードに記録できます。

- ▶ テープ再生モードにしておく
- 本機に撮影済みのカセット、記録用のカードを入れておく

1 再生を始める

2 記録したいシーンで再生を一時停止し、フォトショットボタンを押す

- 音声は記録されません。

ヒント

- 静止画の記録画素数は（ワイド時）「0.2M」または（4：3時）「0.3M」になります。（メガピクセル静止画記録ではありません）
- 「接続するテレビ」設定が「4：3」のときにワイド映像をカードに記録すると、上下に黒帯の付いた画像になります。（P40）
- テープを一時停止しないでフォトショットすると、ぶれのある画像を記録することがあります。

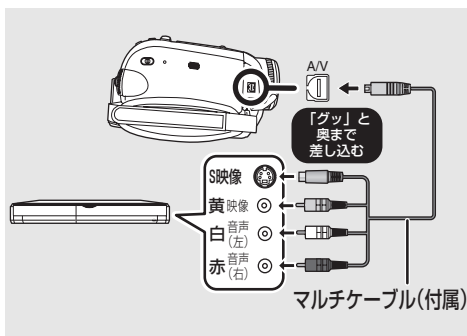
2. ダビング

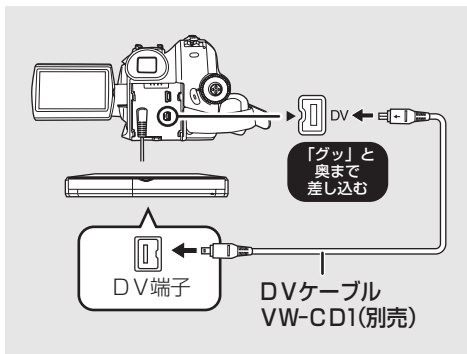
DVD レコーダーやビデオなどに
テープに撮った映像をコピーする

本機で撮った映像を DVD-RAM やカセットなどに保存できます。

- 本機に撮影済みのカセット、録画機に録画用の DVD-RAM やカセットなどを入れておく

1 本機と録画機をつなぐ

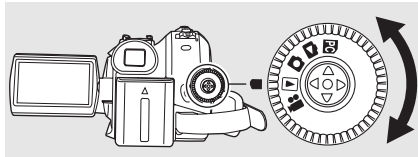
マルチケーブルで接続する場合

- 録画機に S 映像入力端子があるときは、S 映像プラグも同時に接続すると、よりきれいに映像をコピーすることができます。
（必ず映像･音声プラグも一緒に接続してください）

DV ケーブル（別売）で接続する場合（DV 端子が付いている機器のみ）

カードを整理する

テープを編集する

2. ダビング (つづき)

DVD レコーダーやビデオなどに
テープに撮った映像をコピーする

2 本機の電源を入れ、▶テープ再生モードにする

3 テレビ・録画機の入力チャンネルを選ぶ

(詳しくは、テレビ・録画機の説明書をお読みください)

例)

テレビ	チャンネルを「ビデオ 1」などにする(通常、DVD やビデオを見るチャンネル)
録画機	チャンネルを「L1」などにする(接続する端子によって変わります)

4 再生する(本機)

5 録画を始める(録画機)

6 録画を終わる(録画機)

7 再生を終わる(本機)

ヒント

- 本機から他機へダビングして、その映像をワイドテレビで再生すると、縦に引き伸ばされた映像になる場合があります。この場合は、ダビングされる機器の説明書をご確認いただくか、またはワイドテレビの説明書をお読みになり 16:9(フル)に設定してください。
- 録画機の説明書もよくお読みください。
- 機能表示や年月日 / 時刻表示 (P88) が不要な場合は、表示を消しておいてください。(DV ケーブルで接続する場合は、表示が出ないことがあります)

■ テレビに本機の映像や音声が出ないときは

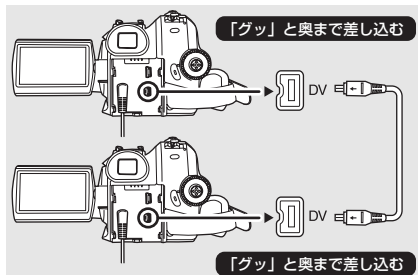
- プラグがグッと奥まで差し込んであるか確認してください。
- 接続している端子を確認してください。
- 「12bit 音声」(P56) の設定を確認してください。

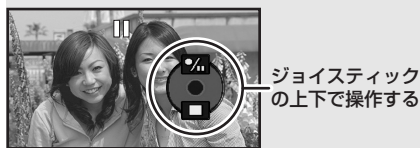
3.デジタルダビング

デジタルビデオ機器とつないで使う

DV 端子（IEEE1394 端子）を持ったデジタルビデオ機器と DV ケーブル /VW-CD1（別売）でつなぐと、デジタル信号による高画質なダビングができます。

● ▶ テープ再生モードにしておく
（再生機・録画機どちらも）

1 接続する

2 メニュー操作する（P23）
（録画機）

「応用設定」→「●II 録画待機」→「する」

3 再生する（再生機）

4 ジョイスティックを上にたおして、録画する（録画機）

● 手順 2 のメニュー操作をせずに、リモコンの録画ボタンを押しながら、再生ボタンを押して録画を始めることもできます。

5 ジョイスティックをもう一度上にたおして、録画を終わる（録画機）

6 再生を終わる（再生機）

【録画の待機状態を解除するには】

録画の待機中に、ジョイスティックの下で「■」を選ぶ、またはリモコンの停止ボタンを押す

ヒント

● ダビング中にDVケーブルを抜き差ししないでください。正常に動作しないことがあります。
● 主音声、副音声の入った映像（2 カ国語の映像など）をダビングしたときは、再生時に「セットアップ」メニューの「音声切換」で聞きたい音声を選んでください。（P89）
● DV 端子または IEEE1394 端子を持った機器でも、デジタルダビングできない場合があります。詳しくは、接続される機器の説明書をお読みください。
● 録画機側のメニューの設定に関係なく、再生テープの「音声記録」モードと同じモードでダビングされます。
● 録画機側のモニター映像（液晶モニターやファインダー、テレビに映した映像）の画面下部がゆがんだり、上下に揺れることがありますが、異常ではありません。実際に記録される映像には影響ありません。
● 著作権保護の信号（コピーガード）が入っている映像を本機で録画すると、再生時に映像がモザイクになります。
● DV 端子から映像を入力中は、操作アイコンがスライド動作せずに表示 / 非表示されます。
● DV 入力中は、「セットアップ」メニューの「接続するテレビ」を操作しても変わりません。

4. アフレコ

撮ったあとに別の音声を入れる

テープに撮った映像に、あとから BGM やナレーションを入れることができます。
(ワイヤレスリモコンでのみ操作できます)

- **[▶] テープ再生モードにしておく**

1 音声を入れる場面を探し、再生を一時停止する

2 アフレコの準備状態にする

3 録音を始める

- 内蔵マイクに向かって音声を入れます。

4 録音を終わる

ヒント

- アフレコ中に無記録部分があると、その部分を再生したときに、映像や音声が乱れます。

■ アフレコ録音する前に

- 撮影時のオリジナルの音声も残したい場合は、テープ撮影モードの「お好み設定」メニューの「音声記録」を「12bit」にして撮影してください。(「16bit」設定時は、アフレコ録音後、撮影時の音声は消えます)
- テープ撮影モードの「よく使う設定」メニューの「記録モード」を「SP」にして撮影してください。

■ アフレコした音声を聞くには

アフレコ音声と元の音声を切り換えることができます。

「セットアップ」→「[12bit] 12bit 音声」→希望の設定

ステレオ 1 ： 元の音声を再生します。
ステレオ 2 ： アフレコ音声を再生します。
ミックス ： 元の音声とアフレコした音声を同時に再生します。

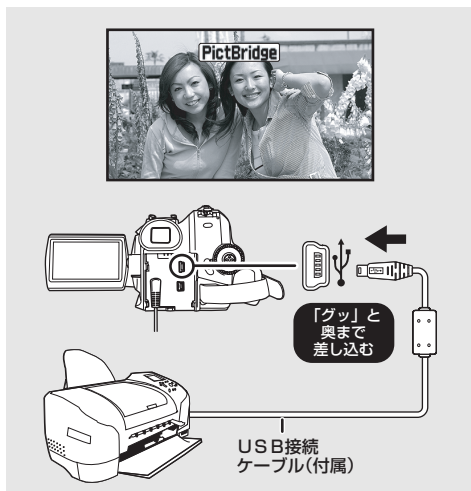
- アフレコ中は自動的に「ステレオ 2」に設定されます。

1. PictBridge（ピクトブリッジ）

プリンターに直接つないでプリントする

PictBridge に対応したプリンターが必要です。（プリンターの説明書もお読みください）

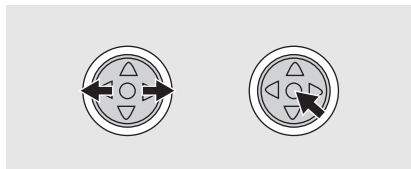
- **カードを入れて、カード再生モードにしておく**

1 USB 接続ケーブル（付属）を USB 端子へ「グッ」と奥まで差し込んで、プリンターと接続する

- 本機の画面に「PictBridge」が表示されます。（プリンターの認識中は点滅します）
- 本機にカードが入っていないときは、「PictBridge」は表示されません。（プリントできません）
- 「PictBridge」が点滅し続ける（約 1 分以上）場合は、本機とプリンターの接続が正しくありません。ケーブルを接続し直すか、プリンターを確認してください。
- 画像をマルチ画面で表示しているときはプリントできません。

2 「シングルプリント」または「DPOF プリント」を選ぶ

DPOF 設定されたファイルがない場合、この画面は表示されません。

- 「DPOF プリント」でプリントする場合は、DPOF 設定（P52）でプリント枚数を設定してください。
- 「DPOF プリント」の場合、用紙サイズを決定して(手順 6)、プリントできます。(「DPOF プリント」は日付プリントに対応していません)

3 プリントする画像を左右で選び、ジョイスティックの中央を押す

4 プリントする枚数を選ぶ

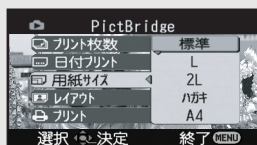
- 最大で 9 枚まで設定できます。

5 日付プリントの設定を選ぶ（プリンターが日付印刷に対応していないと、設定できません）

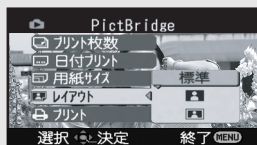
1. PictBridge(つづき)

ピクトブリッジ

プリンターに直接つないでプリントする

6 用紙のサイズを選ぶ

「標準」：プリンターに設定されているサイズ
「L」：L 判サイズ
「2L」：2L 判サイズ
「ハガキ」：はがきサイズ
「A4」：A4 サイズ

- プリンターが対応していないサイズには設定できません。

7 レイアウトを選ぶ

「標準」：プリンターに設定されているレイアウト
「[フチなしアイコン]」：フチなし
「[フチありアイコン]」：フチあり

- プリンターが対応していないレイアウトには設定できません。

8 「プリント」の「する」を選んで、プリントする

- プリント終了後、USB 接続ケーブル（付属）を抜くと PictBridge が終了します。

【プリントを途中でやめるには】

ジョイスティックを下にたおす

ヒント

- プリント中は以下の操作をしないでください。正しくプリントされません。
  - USB 接続ケーブルを抜く
  - カードを取り出す
  - モードダイヤルを回す
  - 電源を [OFF] にする
- 用紙サイズや印字品質など、プリンターの設定を確認してください。
- 他の機器で記録した静止画は、プリントできない場合があります。
- テープ撮影 / 再生モード時に本機とプリンターを接続すると、画面に［WEB］表示が出ることがありますが、画像のプリントはできません。
- お使いのプリンターによっては、プリント時に端が切れる場合があります。
  「トリミング」や「ふちなし」印刷機能のあるプリンターをお使いの場合は、「トリミング」または「ふちなし」の設定を解除してお試しください。
  （詳しくは、プリンターの説明書をお読みください）
- 本機とプリンターは直接つないでください。USB ハブは使わないでください。

1. パソコンで使う前に

- 本書では SweetMovieLife 1.1J を SweetMovieLife と記載しています。
- 本書では MotionDV STUDIO 6.0J LE for DV を MotionDV STUDIO と記載しています。
- Adobe®、Adobe ロゴおよび Acrobat® は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Intel®、Core™、および Pentium® は Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- iMovie、Mac ロゴは米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- PowerPC は 米国 International Business Machines Corporation の商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- ご使用のパソコンの使用環境などにより、本書の説明内容・画面と実際の内容・画面が一致しないことがあります。
- インストール中にファイル名などを指定する場合は、半角英数字で指定してください。（大文字・小文字のどちらでも指定できます）
- パソコンの基本的な操作や用語については説明しておりません。パソコン側の説明書などをお読みください。
- 本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
- 本書では、一部を除いて Windows XP の画面で説明しています。

お願い

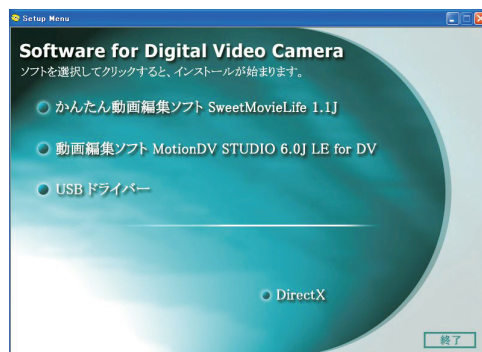
お使いのパソコンの OS により、ソフトウェアのインストール手順が異なります。
必ず本書をよくお読みのうえ、インストールしてください。

また、次の点に気をつけてインストールを行ってください。
（正常にインストールされないと、本機が正常に動作しません）

- USB 接続ケーブルは、USB ドライバーをインストールするまでは接続しないでください。（正常にインストールできない場合があります）
- インストールしても正常に動作しないときは、本書に記載の方法でドライバーを削除し、再度認識作業を行ってください。
- 必ず本書の手順に従ってインストールしてください。

USB 接続ケーブルで本機とパソコンを接続して SweetMovieLife/MotionDV STUDIO を使用するには、お使いのパソコンが USB 端子（ハイスピード USB（USB2.0））に対応している必要があります。
※必ず付属の USB 接続ケーブルをご使用ください。

インストール画面について（Setup Menu）

セットアップ　メニュー
Setup Menu

かんたん動画編集ソフト （スウィート ムービー ライフ） **SweetMovieLife1.1J**	テープの映像を簡単にパソコンに取り込めます。取り込んだ映像は自動編集が行えます。 より高度な取り込み・編集は MotionDV STUDIO をお使いください。
動画編集ソフト （モーション スタジオ） **MotionDV STUDIO 6.0J LE for DV**	テープの映像から、お好みの場面をパソコンに取り込めます。また、本機をテープ撮影モードにすると、レンズに映った人や景色をパソコンに取り込めます。 取り込んだ映像は編集、加工が行えます。
USB ドライバー	本機をパソコンとつないで、WEB（ウェブ）カメラとして使えます。 Windows 2000 をお使いの場合、SweetMovieLife/MotionDV STUDIO を USB 接続ケーブルで接続して使う時に、インストールする必要があります。
（ダイレクト） **DirectX**	SweetMovieLife/MotionDV STUDIO/WEB カメラを動作させるためには、Microsoft DirectX 9.0b または 9.0c がインストールされている必要があります。

使用前の確認

パソコンの OS によって、使用できるソフトウェアや必要なドライバーが異なります。
下表で確認してから、必要なものを CD-ROM からインストールしてください。

●「お使いのパソコンの OS を確認するには」（P83）

使用する目的	使用するソフトウェア	インストールが必要なドライバー		
		Windows Vista	Windows XP	Windows 2000
カードの静止画をパソコンにコピーする - PC 接続モード -	なし （リムーバブルディスクとして使用） USB 接続ケーブル（付属）で接続	不要	不要	不要
テープの映像をパソコンに取り込む - テープ撮影モード - - テープ再生モード -	SweetMovieLife/MotionDV STUDIO DV ケーブル（別売）で接続	不要 ※ 3	不要 ※ 1、4	不要 ※ 1、6
	SweetMovieLife/MotionDV STUDIO USB 接続ケーブル（付属）で接続	不要 ※2、3	不要 ※ 1、2、4	USB ドライバー ※ 1、2、6
パソコンの映像をテープに記録する - テープ再生モード -	SweetMovieLife/MotionDV STUDIO DV ケーブル（別売）で接続	不要 ※ 3	不要 ※ 1、4	不要 ※ 1、6
	SweetMovieLife/MotionDV STUDIO USB 接続ケーブル（付属）で接続	× 使用できません	× 使用できません	× 使用できません
WEB カメラとして使う - テープ撮影モード - - テープ再生モード -	MSN Messenger/Windows Live Messenger USB 接続ケーブル（付属）で接続	不要	USB ドライバー ※ 1、5、7	USB ドライバー ※ 6、8

※ 1 お使いのパソコンに DirectX 9.0b/9.0c がインストールされていない場合は、
［DirectX］のインストールが必要です。
※ 2 お使いのパソコンが USB 端子（ハイスピード USB（USB2.0））に対応している必要があります。
※ 3 Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business および SP1 でのみ使用可能
※ 4 Windows XP SP2/SP3 でのみ使用可能
※ 5 Windows XP SP1/SP2/SP3 でのみ使用可能
※ 6 Windows 2000 SP4 でのみ使用可能
※ 7 Windows XP SP2/SP3 では不要
※ 8 MSN Messenger でのみ使用可能

Macintosh をお使いの場合は（P80）をご覧ください。

2. ソフトウェア動作環境

各ソフトウェアは以下の動作環境で使用できます。

- 推奨環境を満たすすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- インストールには CD-ROM ドライブが必要です。
- NEC PC-98 シリーズとその互換機では動作保証いたしません。
- Windows 3.1、Windows 95、Windows 98、Windows 98 SE、Windows Me および Windows NT には対応していません。
- アップグレードされた OS での動作は保証いたしません。
  (Windows Me から Windows XP にアップグレードした場合など)
- 1台のパソコンに2台以上のUSB機器を接続している場合や、USBハブやUSB延長ケーブルを使用して接続している場合は、動作を保証いたしません。
- キーボードやディスプレイの USB 端子に接続しての動作は保証いたしません。
- マルチブート環境には対応していません。
- マルチ CPU 環境には対応していません。
- Windows XP Media Center Edition、Tablet PC Edition および 64 bit のオペレーティングシステムでの動作は保証いたしません。

USB ドライバー

本機をパソコンとつないで、インターネットテレビ電話（WEB カメラ）のように使えます。(P78) また、SweetMovieLife/MotionDV STUDIO を USB 接続ケーブルで接続して使う場合にも、インストールする必要があります。

■ WEB カメラとして使う場合の動作環境

対象パソコン	IBM PC/AT互換機（Windows Vista：1 GHz以上 32 bit(x86)のプロセッサ、Windows XP/2000：Intel® Pentium® Ⅲ 450 MHz 以上の CPU）
対象 OS	Microsoft Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise および SP1 Microsoft Windows XP Home Edition/Professional SP1/SP2/SP3 Microsoft Windows 2000 Professional SP4
グラフィック表示	High Color（16 bit）以上 デスクトップ領域 800 × 600 以上
搭載メモリ	Windows Vista Home Basic：512 MB 以上 Windows Vista Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise：1 GB 以上 Windows XP/2000：128 MB 以上（256 MB 以上を推奨）
ハードディスク	250 MB 以上の空き容量
インターフェース	USB 端子
通信速度	56 kbps 以上を推奨
ソフトウェア	MSN Messenger 7.0（Windows 2000 のみ） Windows Live Messenger 8.1（Windows Vista/XP のみ） DirectX 9.0b/9.0c
その他（音声を送受信する場合）	サウンドカード、 スピーカーまたはヘッドホン

重要　本機を WEB カメラとして使うときは、以下の点にお気をつけください

- パソコンのセキュリティーの設定によっては、正常に通信できない場合があります。
- MSN Messenger/Windows Live Messenger の使いかたについては、各ソフトウェアのヘルプファイルをお読みください。
- 異なる Messenger ソフトとの組み合わせではご使用になれない場合がありますので、お気をつけください。

パソコンで

SweetMovieLife/MotionDV STUDIO

対象パソコン	Intel® Pentium® Ⅲ 800 MHz以上(Intel® Pentium® 4 1.6 GHz以上を推奨)のCPU(互換CPUを含む)を搭載したIBM PC/AT互換機
対象OS	プリインストールされた各日本語版 Microsoft Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business およびSP1 Microsoft Windows XP Home Edition/Professional SP2/SP3 Microsoft Windows 2000 Professional SP4
グラフィック表示	High Color(16 bit)以上(32 bitを推奨) デスクトップ領域 1024 × 768 以上(1280 × 1024 以上を推奨) DirectX 9.0b/9.0cに対応したビデオカード (DirectDrawのオーバーレイに対応)
サウンド	Windows互換サウンドデバイス(DirectSound対応)
搭載メモリ	Windows Vista: 512 MB以上(1 GB以上を推奨) Windows XP/2000: 256 MB以上(512 MB以上を推奨)
ハードディスク	Ultra DMA - 33以上(Ultra DMA - 100以上を推奨) 640 MB以上の空き容量 (映像の取り込みまたは編集をする場合、約4分のデータに1 GB必要)
インターフェース	DV(IEEE1394)端子(IEEE1394.a) USB端子(ハイスピードUSB(USB2.0))(Aタイプ)
ソフトウェア	Windows Vista: DirectX 10(Windows Vistaではインストール済み)またはDirectX 10.1(Windows Vista SP1ではインストール済み) Windows XP/2000: DirectX 9.0bまたは9.0c(Windows XP SP2/SP3ではDirectX 9.0cがインストール済み) ● 上記DirectXに対応していないパソコンにインストールすると、パソコンが正常に動作しなくなる可能性があります。対応状況がわからない場合は、ご使用のパソコンメーカーへお問い合わせください。 Windows Media Player 6.4 ～ 11
その他	マウスまたはマウスと同等のポインティングデバイス

● Windows 2000をお使いの場合、USB接続ケーブルで接続して使うには、USBドライバーをインストールする必要があります。(右ページ)

カードリーダー機能(マスストレージ)の動作環境

対象パソコン	IBM PC/AT互換機(Windows Vista: 1 GHz以上 32 bit(x86)のプロセッサ、Windows XP/2000: Intel® Pentium® Ⅲ 450 MHz以上のCPU)
対象OS	Microsoft Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise およびSP1 Microsoft Windows XP Home Edition/Professional SP1/SP2/SP3 Microsoft Windows 2000 Professional SP4
搭載メモリ	Windows Vista Home Basic: 512 MB以上 Windows Vista Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise: 1 GB以上 Windows XP/2000: 128 MB以上(256 MB以上を推奨)
インターフェース	USB端子

3. ソフトウェアのインストール

USB ドライバーのインストール

- インストールする前に、他の起動中のソフトウェアをすべて終了し、インストール中に他の作業をしないでください。
- インストールする前に USB 接続ケーブルを接続しないでください。
- 必ず付属の CD-ROM からソフトウェアをインストールしてください。

1 CD-ROM をパソコンに入れる

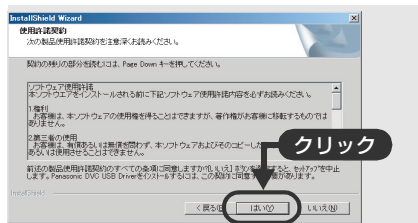
- Windows Vista の場合、自動再生の画面が表示されたときは、[autorun.exe の実行] をクリックしてください。
- [Setup Menu] の画面が表示されます。(CD-ROM をパソコンに入れても [Setup Menu] の画面が表示されない場合は、(P83) をご覧ください)

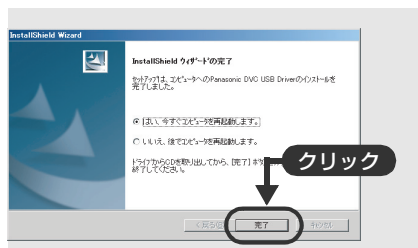
2 [USBドライバー]をクリックする

- インストール途中に［キャンセル］などでインストールを中止すると、ソフトウェアが正常に動作しないことがあります。

3 ［次へ］をクリックする

- お使いのパソコンが USB 端子（ハイスピード USB（USB2.0））に対応していない場合、警告画面が表示されます。詳しくは、(P83) をご覧ください。

4 ［使用許諾契約］画面をよく読んで、［はい］をクリックする

- ［いいえ］をクリックすると、インストールできません。
- お使いの環境によっては DirectX 9.0b のインストールを要求されますので、［はい］をクリックしてインストールしてください。インストール後、自動的にパソコンが再起動されますが、CD-ROM は取り出さないでください。
（再起動後、手順 3 から USB ドライバーのインストールが始まります）

5 ［完了］をクリックする

ドライバーを有効にするには、再起動が必要です。

ヒント

- Windows XP SP1、Windows 2000 SP4 をお使いの場合にインストールしてください。
（Windows Vista または Windows XP SP2/SP3 の場合は、OS 標準ドライバーで動作するため、インストールの必要はありません）
- Windows XPをお使いの場合、環境によってはインストールに時間がかかることがあります。
- お使いの環境によってはDirectX 9.0bのインストールをしますので、旧バージョンのDirectXに対応したソフトウェアが正常に動作しなくなる場合があります。この場合、動作しなくなったソフトウェアの製造元にお問い合わせください。

パソコンで

3. ソフトウェアのインストール(つづき)

SweetMovieLife/MotionDV STUDIO のインストール

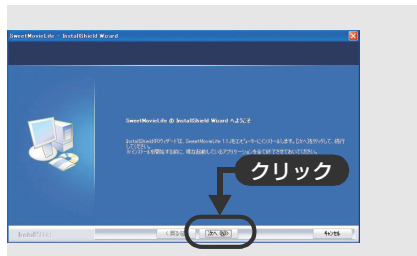
- インストールする前に、他の起動中のソフトウェアをすべて終了し、インストール中に他の作業をしないでください。
- インストールする前に本機とパソコンを接続しないでください。
- 必ず付属の CD-ROM からソフトウェアをインストールしてください。

1 CD-ROM をパソコンに入れる

- Windows Vista の場合、自動再生の画面が表示されたときは、[autorun.exe の実行] をクリックしてください。
- [Setup Menu] の画面が表示されます。(CD-ROM をパソコンに入れても [Setup Menu] 画面が表示されない場合は、(P83)をご覧ください)

2 [かんたん動画編集ソフト SweetMovieLife 1.1J] または [動画編集ソフト MotionDV STUDIO 6.0J LE for DV] をクリックする

- Windows Vista の場合、ユーザーアカウント制御の画面が表示されたときは、[続行] をクリックしてください。
- インストール途中に [キャンセル] などでインストールを中止すると、ソフトウェアが正常に動作しないことがあります。

3 [次へ] をクリックする

4 画面のメッセージに従ってインストールを続ける

5 [完了] をクリックする

- お使いの環境によっては DirectX 9.0b のインストールを要求されますので、[はい] をクリックしてインストールしてください。
- インストール後、再起動が必要な場合は [はい] をクリックして再起動してください。

ヒント

- お使いの環境によってはDirectX 9.0bのインストールをしますので、旧バージョンのDirectXに対応したソフトウェアが正常に動作しなくなる場合があります。この場合、動作しなくなったソフトウェアの製造元にお問い合わせください。
- Windows 2000 をお使いの場合、USB 接続ケーブルでパソコンと接続して SweetMovieLife/MotionDV STUDIO を使うには、USB ドライバーをインストールする必要があります。(P65)

4. 接続と認識作業

ドライバーとソフトウェアのインストール後、パソコンと本機を接続し、本機をパソコンに正しく認識させる必要があります。

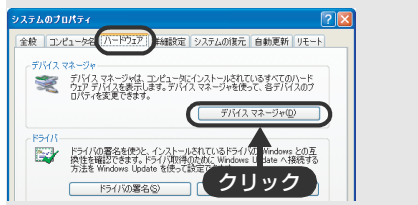
接続する前の確認作業

USB 接続ケーブルで接続して SweetMovieLife/MotionDV STUDIO を使用する場合は、USB ホストコントローラのドライバーを確認してください。

- **[プロバイダ] に [Microsoft] と表示されているドライバーを使用する必要があります。**

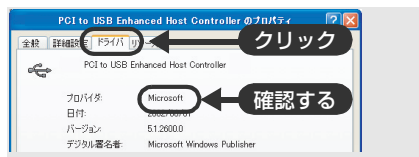
1 **[スタート] →（[設定] →）[コントロールパネル] から、（[パフォーマンスとメンテナンス] →）[システム]（[システムとメンテナンス]）を起動する**

- [システムのプロパティ] が表示されます。（Windows XP/2000 のみ）

2 **（[ハードウェア] タブをクリックし、）[デバイスマネージャ] をクリックする**

- Windows Vista の場合、ユーザーアカウント制御の画面が表示されたときは、[続行] をクリックしてください。
- [デバイスマネージャ] が表示されます。

3 **[デバイスマネージャ] の [USB（Universal Serial Bus）コントローラ]（[ユニバーサル シリアル バス コントローラ]）にある [Enhanced Host Controller]（[標準エンハンス PCI to USB ホストコントローラ]）を右クリックし、[プロパティ] を選ぶ**

- [Enhanced Host Controller] は、[EHCI] など、お使いのホストコントローラによって変わります。

4 **[ドライバ] タブをクリックし、[プロバイダ] の内容を確認する**

■ [プロバイダ] に [Microsoft] と表示されている場合

- 確認は終了です。
- [OK] をクリックして画面を閉じてください。

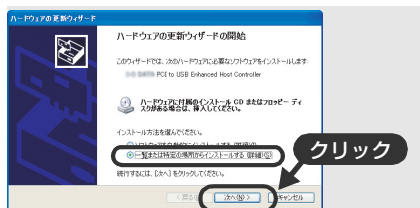
■ [プロバイダ] に [Microsoft] 以外が表示されている場合

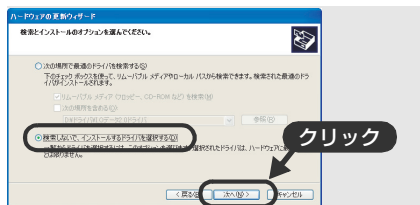
- 引き続き下記の手順でドライバーを更新する必要があります。

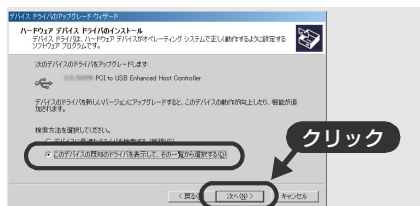
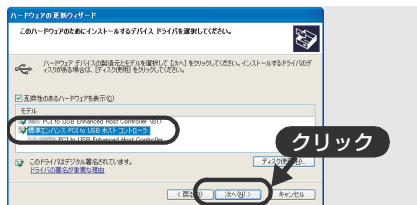
5 **[ドライバの更新] をクリックする**

- [ハードウェアの更新ウィザード] が表示されます。
- Windows XP の場合は、Windows Update への接続を選んでから手順 6 へ進んでください。

4. 接続と認識作業
（つづき）

6 [一覧または特定の場所からインストールする]にチェックを付けて、[次へ] をクリックする

● Windows Vistaの場合は、[コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します] をクリックしてください。Windows 2000 の場合は、[デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始] が表示されたら、[次へ] をクリックしてください。

7 （Windows XP の場合）[検索しないで、インストールするドライバを選択する] にチェックを付けて、[次へ] をクリックする

（Windows Vista の場合）
[コンピュータ上のデバイスドライバの一覧から選択します] をクリックしてください。

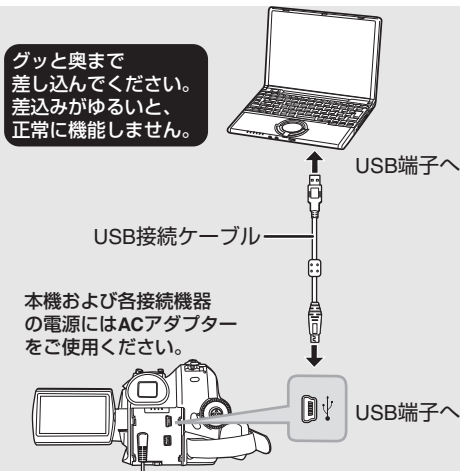
（Windows 2000 の場合）
[このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する] にチェックを付けて、[次へ] をクリックする

8 [標準エンハンス PCI to USB ホストコントローラ] を選び、[次へ] をクリックする

9 [次へ] をクリックする

10 [完了]（[閉じる]）をクリックする

ドライバーの更新は完了です。本機を接続してください。

本機とパソコンの接続

接続

● ドライバーとソフトウェアのインストール後に接続を行ってください。インストール前に接続を行うと、本機が正しく認識されない場合があります。
● CD-ROMがパソコンに入っている場合は、取り出してください。（CD ランチャーが起動している場合は、終了してから取り出してください）
● 認識作業が正しく行われないと、本機をパソコンと接続して使用することができません。
● 本機が正常に動作しないときは、インストールや認識作業が正常に行われていない可能性があります。

USB 接続ケーブルで他の機器と接続するときの本機のモードについて

本機のモード	パソコン	プリンター（PictBridge 対応）
テープ撮影	○	×
テープ再生	○	×
カード記録	×	×
カード再生	×	○
PC PC 接続	○	×

- 対応しているパソコンのOSやソフトウェアについては、（P62）をご覧ください。
- **本機をPC接続モードにしてパソコンと接続しているときは、本機の操作モードの変更や電源スイッチを［OFF］にして電源を切ることはできません。**この場合、一度USB接続ケーブルを外してから、本機の操作モードを変更したり、電源を切ったりしてください。
- プリンターとの接続については、（P57）をお読みください。

接続後の認識作業（Windows Vista/XP）

Windows Vista/XP をお使いの場合、本機とパソコンを接続すると、自動的に認識作業が終了します。

- PC接続モードの場合は、[マイコンピュータ]（[コンピュータ]）に［リムーバブルディスク］が表示されます。

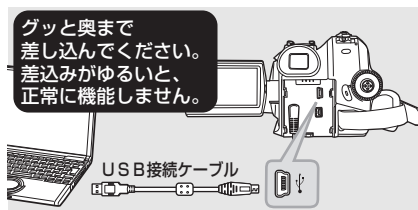
接続後の認識作業（Windows 2000）

Windows 2000 をお使いの場合、自動的に認識作業が終了し、以下の操作が必要ないことがあります。（そのままお使いください）
最初の接続時（最初のテープ撮影 / テープ再生モード時）に、次の手順に従って認識作業を完了させてください。

CD-ROM がパソコンに入っている場合は、取り出してください。
（CD ランチャーが起動している場合は、終了してから取り出してください）

- テープ撮影モードまたはテープ再生モードにしておく

1 本機のメニューで、[基本設定]（テープ再生モード）または［お好み設定］（テープ撮影モード）→［USB 機能］→［DV データ］または [WEB カメラ] を選ぶ

2 本機とパソコンを接続する（左ページ）

3 下図のようなメッセージが表示されますが、動作には問題ありませんので、[はい] をクリックする

- [DV データ] モードの場合は、[Panasonic DVC DV Stream Device］と表示されます。
- [WEB カメラ] モードの場合は、[Panasonic DVC Web Camera Device］と表示されます。

パソコンで

5. 正常に認識しないときは

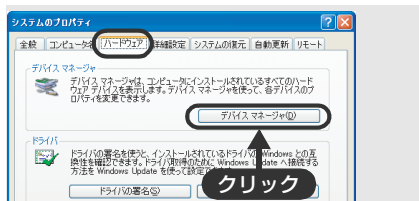
ドライバーの確認

ドライバーが正しくインストールされているか確認することができます。
本機のモード設定を行い、USB 接続ケーブルでパソコンと接続してから確認してください。

● NEC 製など一部のパソコンでは、機能制限のあるモードに設定されていると、デバイスマネージャなどが表示されない場合があります。メーカーにお問い合わせいただくか、お使いのパソコンの説明書に従って、すべての機能が使えるモードにしてから操作してください。

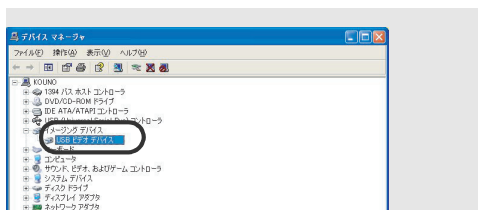
1 [スタート] →([設定] →) [コントロールパネル] から、([パフォーマンスとメンテナンス] →) [システム]([システムとメンテナンス])を起動する

● [システムのプロパティ] が表示されます。(Windows XP/2000 のみ)

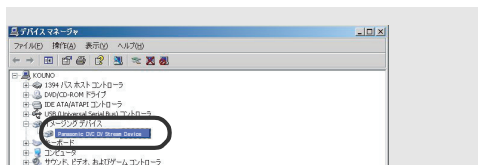
2 [デバイスマネージャ] を表示させて、ドライバーが正しくインストールされているか確認する

● ([ハードウェア] タブをクリックし、) [デバイスマネージャ] をクリックします。

本機がテープ撮影 / テープ再生モードのとき

Windows Vista/XP で正しく認識されている場合

[USB(Universal Serial Bus) コントローラ] ([ユニバーサル シリアル バス コントローラ]) に [USB 複合デバイス]、[イメージングデバイス] に [USB ビデオデバイス] ([Video Edit] または [Web-Camera]) と表示されます。

● 2 台目、3 台目などのビデオカメラを接続すると、[USB ビデオデバイス #X (数字)] と表示されることもあります。

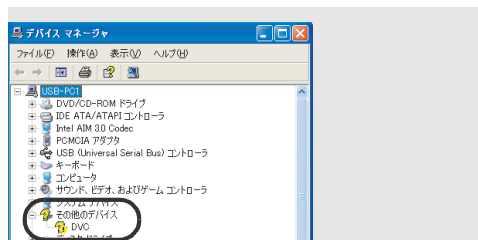
Windows 2000 で正しく認識されている場合

[DV データ] モードの場合は、[イメージングデバイス] に [Panasonic DVC DV Stream Device] と表示されます。
[WEB カメラ] モードの場合は、[イメージングデバイス] に [Panasonic DVC Web Camera Device] と表示されます。

DV ケーブルで接続している場合

[イメージングデバイス] に以下のように表示されます。

Windows Vista/XP :
[Panasonic DV カムコーダ]
● 2 台目、3 台目などの本機を接続すると、[Panasonic DV カムコーダ #X(数字)] と表示されることもあります。
Windows 2000 :
[Microsoft DV Camera and VCR]

正しく認識されていない場合

[USB(Universal Serial Bus)コントローラ]([ユニバーサル シリアル バス コントローラ])や[その他のデバイス]などに[DVC]と表示されます。
(お使いのパソコンによって、表示される場所が変わります)

● 「ドライバーの削除」(P72)をご覧ください。

Windows XP/2000 の場合

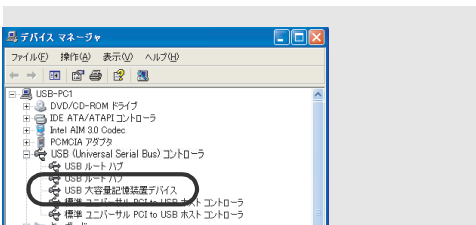
以下の場合は USB ドライバーが正しくインストールされていません。
インストールし直してください。

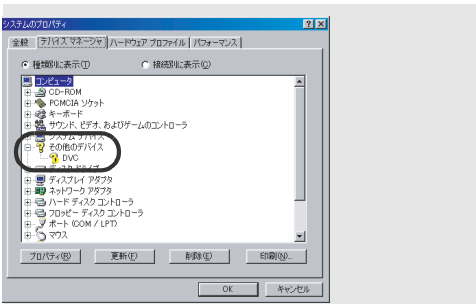
● [USB (Universal Serial Bus) コントローラ] の [USB 複合デバイス]、[イメージングデバイス] の [USB ビデオデバイス] または [DVC] に、「!」マークが付いている
● [その他のデバイス] に [Web-Camera] が表示されている

● 本書に記載されている接続手順を必ずお守りください。

本機が PC 接続モードのとき

Windows Vista/XP/2000 で正しく認識されている場合

[USB(Universal Serial Bus)コントローラ]([ユニバーサル シリアル バス コントローラ])に [USB 大容量記憶装置デバイス] が表示されます。

正しく認識されていない場合

[USB(Universal Serial Bus)コントローラ]([ユニバーサル シリアル バス コントローラ])または[その他のデバイス]に[DVC]と表示されます。
(お使いのパソコンによって、表示される場所が変わります)

● 本書に記載されている接続手順を必ずお守りください。

5. 正常に認識しないときは(つづき)

ドライバーの削除

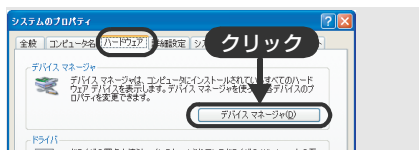
USB ドライバーをインストール後に本機を接続しても正常に認識されない場合、ドライバーの削除を以下の手順で行い、再度認識作業を行ってください。

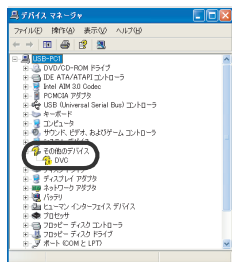
- NEC製など一部のパソコンでは、機能制限のあるモードに設定されていると、デバイスマネージャなどが表示されない場合があります。メーカーにお問い合わせいただくか、お使いのパソコンの説明書に従って、すべての機能が使えるモードにしてから操作してください。

1 本機を テープ撮影モードまたは テープ再生モードにし、USB 接続ケーブルで接続する

2 [スタート] →([設定] →)[コントロールパネル] から、([パフォーマンスとメンテナンス] →)[システム]([システムとメンテナンス])を起動する

- [システムのプロパティ] が表示されます。(Windows XP/2000 のみ)

3 [デバイスマネージャ] を表示させて、ドライバーが正しくインストールされているか確認する

- ([ハードウェア] タブをクリックし、)[デバイスマネージャ] をクリックします。

4 [その他のデバイス] などに表示されている [DVC] を右クリックし、[削除] を選ぶ

- WEB カメラのときは、[Web-Camera] を削除してください。

5 本機をPC接続モードにし、USB 接続ケーブルで接続する

6 [USB (Universal Serial Bus) コントローラ]([ユニバーサル シリアル バス コントローラ])や [その他のデバイス] の [DVC] を右クリックし、[削除] を選ぶ

- お使いのパソコンによって、表示される場所が変わります。
- 削除後にデバイスマネージャを閉じます。

7 パソコンからUSB接続ケーブルを抜く

これでドライバーの削除作業は完了です。

削除完了後

パソコンを再起動したあと、再度ドライバーの認識作業を行ってください。

- 「接続と認識作業」(P67)

それでも正常に認識しないときは、ドライバーをデバイスマネージャから削除したあとアンインストール(P81)し、[USB ドライバー] をインストールし直してから、再度接続と認識作業を行ってください。

6. SweetMovieLife/MotionDV STUDIOを使う

SweetMovieLife/MotionDV STUDIOを起動する前に

● 他のアプリケーションソフトや常駐プログラムを停止してください。
● スクリーンセーバーや省電力設定プログラムを解除してください。
● ソフトウェア使用中（データの転送中など）に接続ケーブルを抜かないでください。
ソフトウェアが正常に動かなくなったり、転送中のデータが破損する恐れがあります。
● SweetMovieLifeをお使いの場合は、テープ撮影モードではご使用いただけません。
● ［スタート］→［すべてのプログラム（プログラム）］→［Panasonic］→［SweetMovieLife 1.1J］または［MotionDV STUDIO 6.0J LE for DV］→［はじめにお読みください］を選び、補足説明や最新情報をお読みください。

SweetMovieLife/MotionDV STUDIOの取扱説明書（PDF説明書）について

[スタート] → [すべてのプログラム（プログラム）] → [Panasonic] → [SweetMovieLife 1.1J] または [MotionDV STUDIO 6.0J LE for DV] → [基本操作説明書] または [取扱説明書] を選ぶ

● ソフトウェアの起動後は、メニューから「ヘルプ」または[?] → [ヘルプ]を選んでPDF説明書を表示できます。

● PDF説明書を読むためには、Adobe Acrobat Reader 5.0以降またはAdobe Reader 7.0以降が必要です。

■ USB接続ケーブルで本機とパソコンを接続する場合

お使いのパソコンが USB 端子（ハイスピード USB（USB2.0））に対応している必要があります。

本機からパソコンへ

● テープの映像から、お好みの場面をパソコンに取り込めます。（テープ再生モード）
● レンズに映った人や景色をパソコンに取り込めます。（テープ撮影モード）

パソコンから本機へ

● パソコンで編集した映像を本機のテープに記録することはできません。

■ DVケーブルで本機とパソコンを接続する場合

DVケーブルは本体に付属していません。

本機からパソコンへ

● テープの映像から、お好みの場面をパソコンに取り込めます。（テープ再生モード）
● レンズに映った人や景色をパソコンに取り込めます。（テープ撮影モード）

パソコンから本機へ

● パソコンで編集した映像を本機のテープに記録できます。（テープ再生モード）

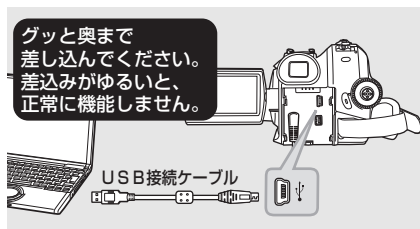
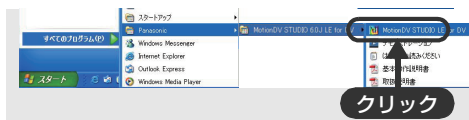
6. SweetMovieLife/MotionDV STUDIO を使う (つづき)

SweetMovieLife/MotionDV STUDIO の起動(USB 接続の場合)

USB ドライバーと SweetMovieLife/MotionDV STUDIO のインストール後、本機をパソコンに認識させてから、以下の手順で起動してください。

- **テープ撮影モードまたは ▶ テープ再生モードにしておく**
  - テープに記録した映像を取り込むときは、カセットを入れてテープ再生モードにします。
  - レンズに映った映像を取り込むときは、カセットを抜いてテープ撮影モードにします。
  - SweetMovieLife をお使いの場合は、テープ撮影モードではご使用いただけません。

1 本機のメニューで、[基本設定](テープ再生モード)または [お好み設定](テープ撮影モード)→ [USB 機能] → [DV データ] を選ぶ

2 USB 接続ケーブルで接続する (P68)

3 [スタート] → [すべてのプログラム(プログラム)] → [Panasonic] → [SweetMovieLife 1.1J] → [SweetMovieLife] または [MotionDV STUDIO 6.0J LE for DV] → [MotionDV STUDIO LE for DV] を選ぶ

- はじめて起動したときは使用許諾書が表示されますので、よくお読みのうえ、[同意します] をクリックしてください。(使用許諾書に同意いただけない場合は、本ソフトをご使用いただけません)

【SweetMovieLife を終了するには】

[終了] ボタンをクリックする

【MotionDV STUDIOを終了するには】

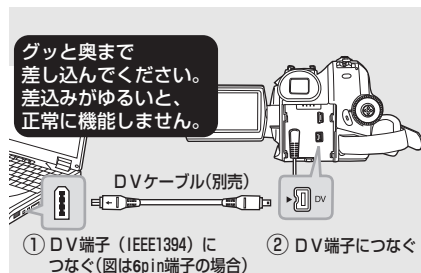
MotionDV STUDIO のメニューから、[ファイル] → [アプリケーションの終了] を選ぶ

- [TOOL BOX] の一番下にある をクリックしても終了できます。

SweetMovieLife/MotionDV STUDIOの起動（DV 接続の場合）

SweetMovieLife/MotionDV STUDIOのインストール後、本機をパソコンに認識させてから、以下の手順で起動してください。（USB 接続ケーブルと同時に接続する必要はありません）

1 本機および接続するパソコンの電源を切っておく

2 DVケーブルをパソコンにつないでから、本機と接続する

● パソコンとDVケーブルの端子の形状を確認してください。プラグを逆に差し込むと、本機の故障につながります。

3 パソコンの電源を入れる

4 テープ再生モードまたは テープ撮影モードにして、本機の電源を入れる

● テープに記録した映像を取り込むときは、カセットを入れてテープ再生モードにします。
● レンズに映った映像を取り込むときは、カセットを抜いてテープ撮影モードにします。
● SweetMovieLife をお使いの場合は、テープ撮影モードではご使用いただけません。

5 [スタート] → [すべてのプログラム（プログラム)] → [Panasonic] → [SweetMovieLife 1.1J] → [SweetMovieLife] または [MotionDV STUDIO 6.0J LE for DV] → [MotionDV STUDIO LE for DV] を選ぶ

● はじめて起動したときは使用許諾書が表示されますので、よくお読みのうえ、[同意します] をクリックしてください。（使用許諾書に同意いただけない場合は、本ソフトをご使用いただけません）

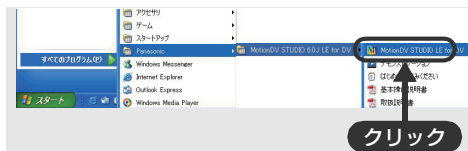
【SweetMovieLife を終了するには】

[終了] ボタンをクリックする

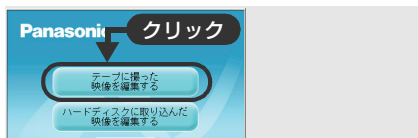
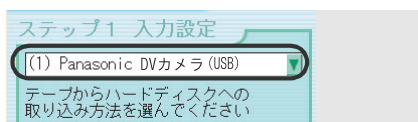
【MotionDV STUDIOを終了するには】

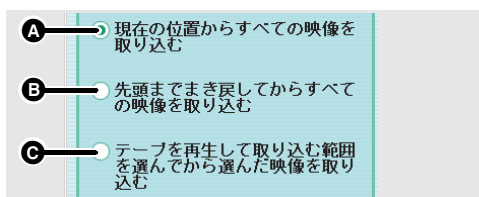
MotionDV STUDIO のメニューから、[ファイル] → [アプリケーションの終了] を選ぶ

● [TOOL BOX] の一番下にある をクリックしても終了できます。

パソコンで

6. SweetMovieLife/MotionDV STUDIOを使う（つづき）

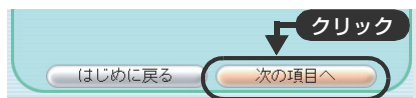
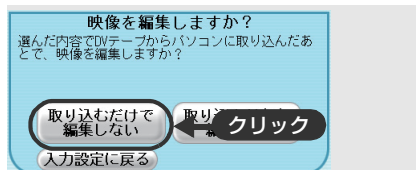
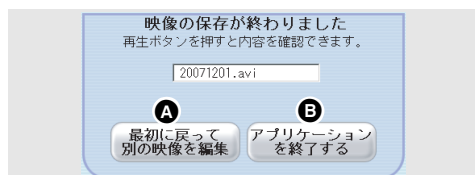
SweetMovieLifeでテープの映像を保存する場合

1 起動時に[テープに撮った映像を編集する]を選ぶ

2 ▼ボタンをクリックして取り込みを行うビデオカメラを選ぶ

※デジカムが 2 台以上接続されている場合のみ

3 映像の範囲を決める

Ⓐ 現在のテープ位置から最後までの映像
- テープ位置を変更することもできます。

Ⓑ テープの始めから最後までの映像

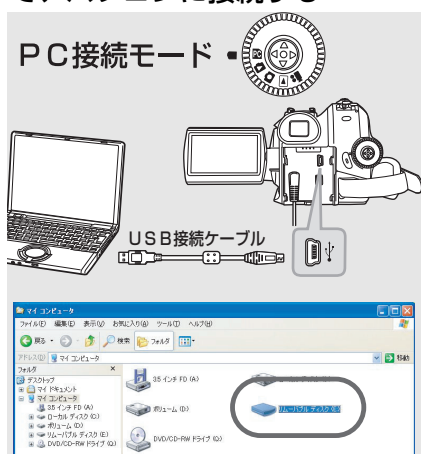
Ⓒ 指定した範囲の映像
- 範囲は複数指定できます。
- 2秒以下の映像は編集できません。

4 [次の項目へ] をクリックする

5 [取り込むだけで編集しない] → [保存開始] を選ぶ

保存された映像を確認する

- [再生]ボタンをクリックすると映像を確認できます。
- 新たに編集を始める場合は Ⓐ をクリックします。
- SweetMovieLife を終了する場合は Ⓑ をクリックします。
- より高度な編集には、MotionDV STUDIO との連携機能が便利です。

7. カードに記録した静止画をパソコンにコピーする

カードリーダー機能（マスストレージ）
USB 接続ケーブルでパソコンに接続すると、カードが入っている本機をパソコンに外付けしたドライブとして使え、［エクスプローラ］などでカードに記録した静止画をパソコンにコピーできます。

● パソコンのOS標準ドライバーで動作するため、ドライバーのインストールは必要ありません。

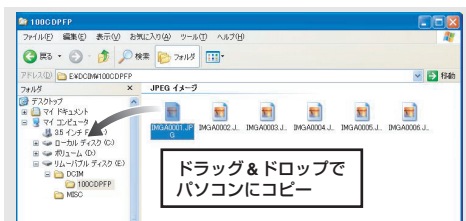
1 本機をPC接続モードにして、パソコンに接続する

● パソコンの［マイコンピュータ］に［リムーバブルディスク］として表示されます。

2 ［リムーバブルディスク］内のファイルが保存されているフォルダをダブルクリックする

[100CDPFP]
静止画が JPEG 形式で記録されています。
（ファイル名：IMGA0001.JPG など）

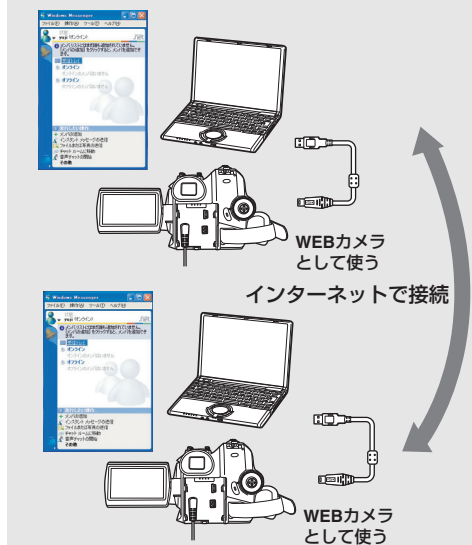
[MISC]
静止画に設定したDPOFデータのファイルが保存されています。

● カード内にあるその他のフォルダは、フォルダ構成上必要なものです。ここでの操作には関係ありません。

3 コピー先のフォルダ（パソコンのハードディスク）にファイルをドラッグ＆ドロップする

8. 本機をWEBカメラとして使う

本機とパソコンを接続すると、インターネット回線を通して、本機から映像と音声を通信相手に送ることができます。パソコン用のスピーカーを使って、インターネットテレビ電話のように使用することができます。

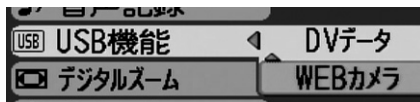
- Windows XP を SP2/SP3 に、Windows 2000 を SP4 にアップグレードするには、[スタート］（→［すべてのプログラム］）→［Windows Update］からアップグレードしてください。
（インターネットに接続できる環境が必要です）
- MSN Messenger/Windows Live Messenger のダウンロードなどの詳細に関しては、本機のカスタマーサポートの URL（下記）を参照してください。

http://panasonic.jp/support/video/faq/dvc/gs55.html

- 各機器の電源には、必ず AC アダプターをお使いください。
- 異なるMessengerソフトとの組み合わせではご使用になれない場合がありますので、お気をつけください。
- 本機のマイクの代わりに、パソコンのマイクを使用することもできます。
（MSN Messenger/Windows Live Messenger で設定してください）
- 通信している環境やパソコンの性能により、通信の途中で映像や音声が途切れることがあります。
- パソコンのセキュリティーの設定によっては、正常に通信できない場合があります。
- MSN Messenger/Windows Live Messenger の使いかたについては、各ソフトウェアのヘルプファイルをお読みください。

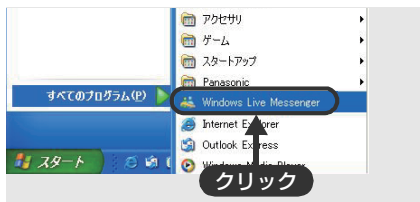
接続のしかた

本機とパソコンを接続する前に、必ず［USB ドライバー］をインストールしてください。

- テープ撮影モードにしておく

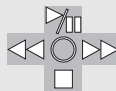
1 本機のメニューで、［お好み設定］→［USB 機能］→［WEB カメラ］を選ぶ

2 USB 接続ケーブルでパソコンに接続する（P68）

デジカムの画面

3 ［スタート］→［すべてのプログラム（プログラム）］→［MSN Messenger］または［Windows Live Messenger］を選ぶ

テープ再生モードで、［基本設定］メニューの［USB 機能］を［WEB カメラ］にしてパソコンと接続すると、テープに撮影した映像と音声を MSN Messenger または Windows Live Messenger を使って相手に送ることができます。

テープ再生モードで WEB カメラとしてお使いの場合は、操作アイコンの表示が異なります。

- ジョイスティックを上下左右に動かして操作アイコン（▶/❚❚、■、◀◀、▶▶）を選んでも黄色で点灯しません。
- 操作アイコンはスライド動作せずに表示 / 非表示されます。

通常時	WEB カメラ時（テープ再生モード時）

9. Macintosh をお使いの場合

使用する目的	使用するソフトウェア	インストールが必要なドライバー Mac OS X 10.3/10.4/10.5
カードの静止画をパソコンにコピーする - PC 接続モード -	なし USB 接続ケーブル（付属）で接続	不要
テープの映像をパソコンに取り込む - テープ撮影モード - - テープ再生モード -	iMovie 4/iMovie HD/iMovie '08 FireWire（DV）ケーブル（市販品）で接続	※不要
パソコンの映像をテープに記録する - テープ再生モード -	iMovie 4/iMovie HD/iMovie '08 FireWire（DV）ケーブル（市販品）で接続	※不要

- WEB カメラとしてご使用いただけません。

※ USB 接続ケーブルではご使用いただけません。

iMovie 4/iMovie HD/iMovie '08 使用時の動作環境

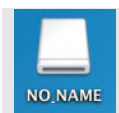
CPU	Power PC G5（1.8 GHz 以上） Intel® Core™ Duo Intel® Core™ Solo
対象 OS	Mac OS X 10.3 ～ 10.5 ● iMovie '08 をお使いの場合は、Mac OS X 10.4.11 以降が必要です。
インターフェース	DV（FireWire）端子
ソフトウェア	iMovie 4/iMovie HD/iMovie '08

- 付属の CD-ROM は Windows 専用です。
- iMovie/iMovie HD/iMovie '08 はアップルの iLife アプリケーションに含まれています。
- iMovie/iMovie HD/iMovie '08 については Apple へお問い合わせください。
  http://www.apple.com/jp
  （2006 年 11 月 1 日現在）

静止画をパソコンにコピーする

1 本機とパソコンをUSB接続ケーブルで接続する

- パソコンの OS 標準ドライバーで動作するため、ドライバーのインストールは必要ありません。

2 デスクトップに表示される［NO_NAME］または［名称未設定］をダブルクリックする

- ［DCIM］フォルダ内の［100CDPFP］フォルダにファイルが保存されています。

3 取り込みたい画像の入っているフォルダやファイルをパソコン上の別のフォルダにドラッグ & ドロップする

10.ソフトウェアをアンインストールする

ソフトウェアが不要になったときは、以下の方法でアンインストールしてください。

1 [スタート] →([設定] →) [コントロールパネル] を選ぶ

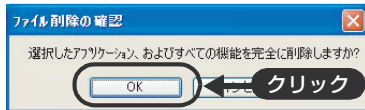
● [コントロールパネル] が表示されます。

2 [プログラム(アプリケーション)の追加と削除]([プログラムのアンインストールまたは変更])を開く

3 アンインストールするソフトウェア([MotionDV STUDIO 6.0J LE for DV] など)を選び、[変更と削除]([変更 / 削除]、[追加と削除] または [アンインストール])をクリックする

● Windows Vista の場合、ユーザーアカウント制御の画面が表示されたときは、[続行] をクリックしてください。

● USB ドライバーをアンインストールするときは、[Panasonic DVC USB Driver] を選んでください。

4 削除の確認メッセージが表示されたら、[OK] をクリックする

● アンインストールが開始されますので、アンインストール操作を進めてください。

5 [メンテナンスの完了] 画面が表示された場合は、[完了] ボタンをクリックする

● アンインストールを完了するには再起動が必要です。[完了] をクリックすると、パソコンが再起動します。

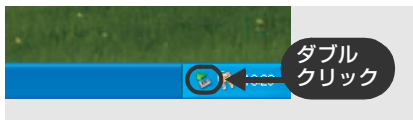
● USB ドライバーをパソコンのデバイスマネージャから削除したい場合は、「正常に認識しないときは(ドライバーの確認)」(P70)でドライバーを確認し、手動で削除してください。

● 作成したファイル(ビデオクリップなど)は削除されません。

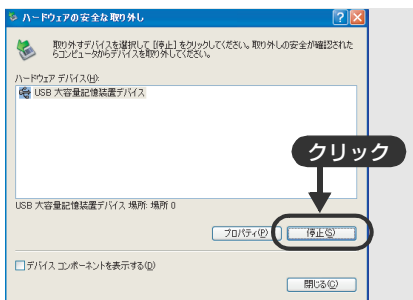
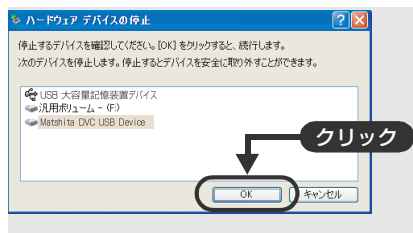
11.USB接続ケーブルを安全に外すには

PC 接続モードでは、以下の方法で USB 接続ケーブルを外します。

● USB接続ケーブルを安全に外さないと、ファイルが正しくコピーされない場合があります。

1 タスクトレイの（ ）アイコンをダブルクリックする

● ［ハードウェアの安全な取り外し］画面が表示されます。

● お使いのパソコンの設定によっては、このアイコンが表示されない場合があります。

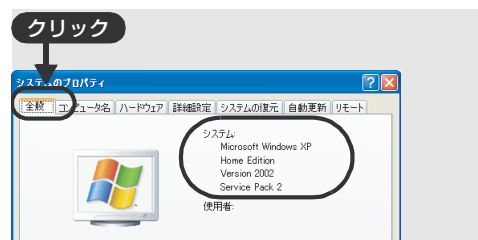
2 ［USB 大容量記憶装置デバイス］を選び、［停止］をクリックする

3 ［Matshita DVC USB Device］が選ばれていることを確認し、［OK］をクリックする

● ［OK］をクリックすると、安全に USB 接続ケーブルを外すことができます。

Macintosh をお使いの場合、PC 接続モードでは、以下の方法で USB 接続ケーブルを外します。

● デスクトップに表示されている [NO_NAME] または [名称未設定] を [ゴミ箱] に捨ててから、USB 接続ケーブルを外してください。

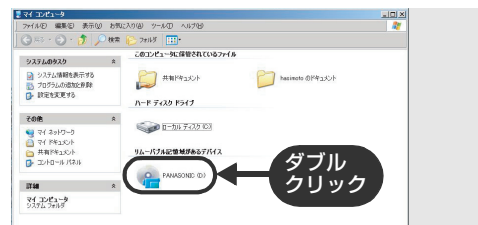
12. 困ったときは

お使いのパソコンの OS を確認するには

[スタート]→[マイコンピュータ]([コンピュータ] またはデスクトップの [マイコンピュータ])を右クリックし、[プロパティ] をクリックしてください。
[システムのプロパティ] 画面が表示されますので、[全般] タブをクリックすると(Windows XP/2000 のみ)、パソコンの OS を確認できます。

例:Windows XP

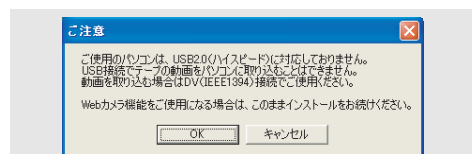
Macintosh をお使いの場合は、アップルメニューの [このコンピュータについて] をクリックしてパソコンの OS を確認できます。

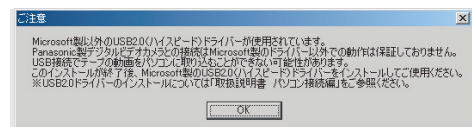
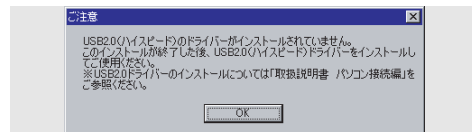
CD-ROM をパソコンに入れても [Setup Menu] の画面が表示されない場合

[スタート] → [マイコンピュータ]([コンピュータ])を選び(またはデスクトップの [マイコンピュータ] をダブルクリックして)、[PANASONIC] をダブルクリックしてください。
([PANASONIC] を開いて [setup(.exe)] をダブルクリックしても起動できます)

ソフトウェアの操作でお困りのときは

スタートメニューより取扱説明書が選べますのでご覧ください。[スタート] → [すべてのプログラム(プログラム)] → [Panasonic] → [SweetMovieLife 1.1J] または [MotionDV STUDIO 6.0J LE for DV] → [基本操作説明書] または [取扱説明書]

USB ドライバーのインストール中に下記の表示が出たときは

お使いのパソコンが USB 端子(ハイスピード USB(USB2.0))に対応していないときは、下記の警告画面が表示されます。

- お使いのパソコンが USB 端子(ハイスピード USB(USB2.0))に対応していないため、USB 接続ケーブルで接続してテープの動画を取り込むことはできません。
- 動画を取り込む場合は、DV ケーブル(別売)をお使いください。

USB ホストコントローラのドライバーが正しく認識されていないときは、下記の警告画面が表示されます。

- Microsoft社製以外のUSB端子(ハイスピード USB(USB2.0))ドライバーが認識されています。
- 正しく動作させるためにはドライバーの更新をしてください。(P67)

- USB 端子(ハイスピード USB(USB2.0))ドライバーが正しく認識されていない可能性があります。
- 正しく動作させるためには、ドライバーの更新をしてください。(P67)

カードへの記録枚数

記録枚数

静止画の画質と記録枚数［カード使用時］

記録画素数	3.1M (2048 × 1512)		2M (1600 × 1200)	
写真画質				
8 MB	約 3 枚	約 5 枚	約 5 枚	約 9 枚
16 MB	約 8 枚	約 13 枚	約 13 枚	約 21 枚
32 MB	約 18 枚	約 29 枚	約 30 枚	約 47 枚
64 MB	約 39 枚	約 62 枚	約 63 枚	約 98 枚
128 MB	約 75 枚	約 120 枚	約 120 枚	約 185 枚
256 MB	約 160 枚	約 250 枚	約 250 枚	約 390 枚
512 MB	約 320 枚	約 490 枚	約 500 枚	約 780 枚
1 GB	約 630 枚	約 990 枚	約 1010 枚	約 1550 枚
2 GB	約 1290 枚	約 2010 枚	約 2050 枚	約 3160 枚
4 GB	約 2530 枚	約 3950 枚	約 4020 枚	約 6210 枚

記録画素数	1M (1280 × 960)		0.3M (640 × 480)	
写真画質				
8 MB	約 9 枚	約 15 枚	約 45 枚	約 95 枚
16 MB	約 21 枚	約 35 枚	約 100 枚	約 200 枚
32 MB	約 47 枚	約 75 枚	約 220 枚	約 440 枚
64 MB	約 98 枚	約 155 枚	約 440 枚	約 880 枚
128 MB	約 185 枚	約 300 枚	約 880 枚	約 1760 枚
256 MB	約 390 枚	約 620 枚	約 1760 枚	約 3520 枚
512 MB	約 780 枚	約 1230 枚	約 3520 枚	約 7040 枚
1 GB	約 1550 枚	約 2470 枚	約 7040 枚	約 14080 枚
2 GB	約 3160 枚	約 5030 枚	約 14080 枚	約 28160 枚
4 GB	約 6210 枚	約 9870 枚	約 28160 枚	約 56320 枚

記録画素数	2.4M (2048 × 1152)		0.2M (640 × 360)	
写真画質	▲(ファイン)	▲(ノーマル)	▲(ファイン)	▲(ノーマル)
8 MB	約 4 枚	約 7 枚	約 45 枚	約 95 枚
16 MB	約 11 枚	約 18 枚	約 100 枚	約 200 枚
32 MB	約 24 枚	約 39 枚	約 220 枚	約 440 枚
64 MB	約 51 枚	約 81 枚	約 440 枚	約 880 枚
128 MB	約 99 枚	約 155 枚	約 880 枚	約 1760 枚
256 MB	約 210 枚	約 330 枚	約 1760 枚	約 3520 枚
512 MB	約 410 枚	約 650 枚	約 3520 枚	約 7040 枚
1 GB	約 820 枚	約 1290 枚	約 7040 枚	約 14080 枚
2 GB	約 1680 枚	約 2630 枚	約 14080 枚	約 28160 枚
4 GB	約 3290 枚	約 5170 枚	約 28160 枚	約 56320 枚

記録画素数	※ 1M (1280 × 720)	
写真画質	▲(ファイン)	▲(ノーマル)
8 MB	約 12 枚	約 19 枚
16 MB	約 29 枚	約 46 枚
32 MB	約 64 枚	約 98 枚
64 MB	約 130 枚	約 200 枚
128 MB	約 250 枚	約 390 枚
256 MB	約 530 枚	約 810 枚
512 MB	約 1040 枚	約 1600 枚
1 GB	約 2090 枚	約 3200 枚
2 GB	約 4250 枚	約 6510 枚
4 GB	約 8350 枚	約 12780 枚

※テープ撮影モード時のみ表示されます。

- 「▲」、「▲」が混在している場合や撮影される被写体によっては、静止画の記録枚数は変動します。

1. メニュー一覧

テープ撮影メニュー

よく使う設定

SCN シーンモード	(P42)
記録モード	(P29)
風音低減	(P39)
ワイド設定	(P40)
時計設定	(P14)

お好み設定

写真画質	(P33)
記録画素数	(P33)
手ぶれ補正	(P41)
撮影ガイドライン	(P41)
フェード色	(P38)
音声記録	(P88)
USB USB 機能	※
デジタルズーム	(P34)
ZOOM ズームマイク	(P34)

セットアップ

セットアップ 1/3
画面表示 入
DATE 日時表示 日付
パワーセーブ 5分
クイックスタート 切
AGS うっかり撮り防止 切
選択 決定 終了 MENU

画面表示	(P88)
DATE 日時表示	(P88)
パワーセーブ	(P88)
クイックスタート	(P16)
AGS うっかり撮り防止	(P39)
リモコン設定	(P27)
お知らせブザー	(P88)
パワー LCD	(P25)
液晶調整	(P25)
EVF 明るさ	(P25)
初期設定	(P89)
DEMO デモモード	(P89)

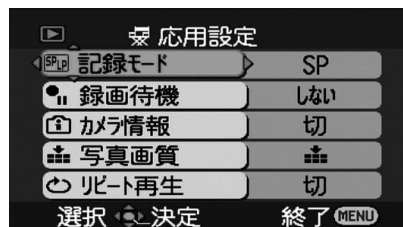
LANGUAGE（ランゲージ）

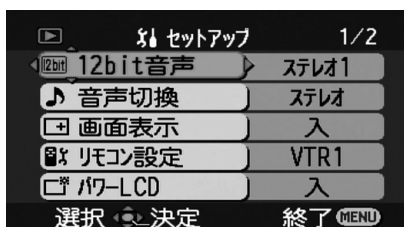
日本語	(P24)
English	(P24)

※「お好み設定」の「USB 機能」については（P69）をご覧ください。

テープ再生メニュー

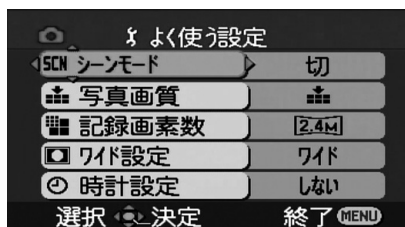
下記に記載のないメニューは、テープ撮影メニューの同名の項目を参照してください。

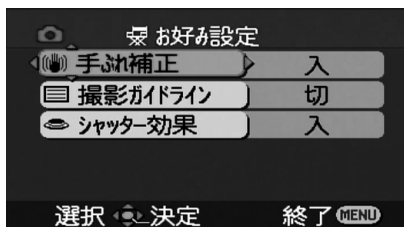
応用設定

録画待機	(P55)
カメラ情報	(P89)
リピート再生	(P46)

セットアップ

12bit 音声	(P56)
音声切換	(P89)
接続するテレビ	(P48)

カード記録メニュー

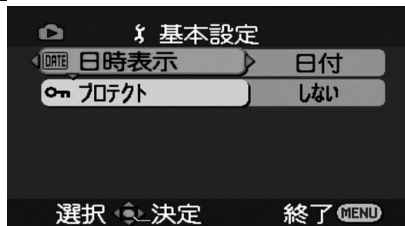
下記に記載のないメニューは、テープ撮影メニューの同名の項目を参照してください。

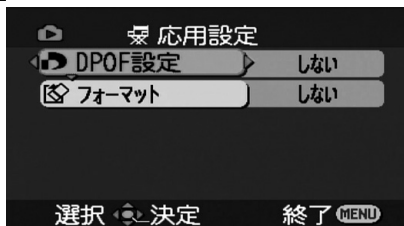
よく使う設定

記録画素数	(P33)

お好み設定

シャッター効果	(P33)

カード再生モード

下記に記載のないメニューは、テープ撮影/テープ再生メニューの同名の項目を参照してください。

基本設定

プロテクト	(P51)

応用設定

DPOF 設定	(P52)
フォーマット	(P51)

2. 撮影関連のメニュー

DATE 日時表示

・切　・日時　・日付

年月日 / 時刻の表示を切り換えます。

- 本機は撮影した年月日 / 時刻をテープとカードに自動的に記録しています。
- 画面の表示を図のように切り換えられます。
- ワイヤレスリモコンの年月日 / 時刻ボタンを押しても表示を切り換えられます。

日時	日付
12:30:45 2007. 4. 1	2007. 4. 1

♪ 音声記録

・12bit　・16bit

音声（PCM（ピーシーエム）音声）の記録方法を切り換えます。

12bit

12 bit 32 kHz 4 トラックで記録します。
（あとでアフレコしたときに元の音声を残せます）

16bit

16 bit 48 kHz 2 トラックで記録します。
より高音質で記録できます。
（アフレコすると元の音声は消去されます）

画面表示

・切　・入

画面の表示を切り換えます。

- 画面の表示を図のように切り換えられます。

お知らせブザー

・切　・入

記録の開始や終了などを音で確認できます。
「切」にすると、撮影の開始 / 終了時などにブザーが鳴りません。

「ピッ」

撮影開始時、電源を入れたとき、本機がパソコンやプリンターを認識したときなどに鳴ります。また、クイックスタートの待機状態から撮影の一時停止状態にすると鳴ります。

「ピピッ」

撮影停止時や電源を切ったときに鳴ります。また、クイックスタートの待機状態にすると鳴ります。

「ピピッ、ピピッ…（連続 4 回）」

誤消去防止つまみが[SAVE]側になっているカセットを入れたとき、つゆつき（P96）が起こったときなどに鳴ります。画面に出る文章表示（P92）の内容を確認してください。

パワーセーブ

・切　・5分

切

約 5 分間操作しなかった場合、テープ保護のためスタンバイモードになります。スタンバイモードになると「▮▮」が点滅し、撮影開始／一時停止ボタンを押してから撮影が始まるまでに、通常より時間がかかります。

5 分

約 5 分間操作しなかった場合、テープ保護やバッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。再度お使いになるときは、電源スイッチを入れ直してください。

- 以下の場合は「パワーセーブ」を「5分」にしていても自動的に電源が切れません。
  - 電源コンセントにつないで使っているとき（AC アダプターでお使いの場合）
  - USB 接続ケーブルまたは DV ケーブルで、パソコンや他機と接続中
  - PC 接続モード時

3. 再生関連のメニュー

■ カメラ情報

・切　・入

撮影時の設定情報（シャッター速度、絞り / ゲイン値、白バランス設定など）を表示します。

- [AUTO] の場合、カメラ情報は「AUTO」と表示されます。
- 設定情報がない場合、「ーーー」と表示されます。
- 本機で撮影したテープを他機で（他機で撮影したテープを本機で）再生すると、正常に設定情報が表示されないことがあります。

■ ♪ 音声切換

再生する音声を切り換えます。

・ステレオ　・L　・R

ステレオ
ステレオ音声（主音声と副音声）

L
左チャンネルの音声（主音声）

R
右チャンネルの音声（副音声）

4. その他のメニュー

■ 初期設定

・しない　・する

機能の組み合わせによって選択できないメニューがあるときなどに、メニューをお買い上げ時の設定に戻します。
（「LANGUAGE」（P24）はお買い上げ時の設定に戻りません）

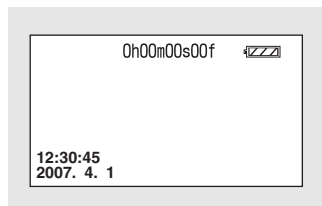
■ DEMO デモモード

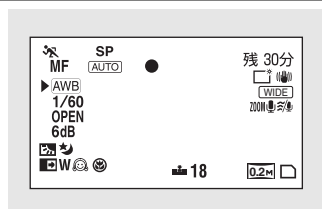
・切　・入

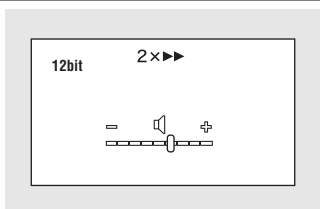
本機の紹介（デモ）を始めます。

- カセットおよびカードが入っていない状態で「デモモード」を「入」に設定すると、デモが始まります。何か操作をするとデモは中断しますが、約 10 分以上操作がないと、再び自動的に始まります。カセットまたはカードを入れるか、「デモモード」を「切」にすると停止します。通常は「切」にしてお使いください。

5. 画面の表示

基本表示

	バッテリー残量表示
0h00m00s00f	タイムコード
12：30：45 2007．4．1	時刻 年月日

撮影表示

残 30 分	テープ残量表示
SP LP	標準モード 長時間モード
●	撮影中
❚❚（緑点灯） ❚❚（緑点滅） ❚❚（赤点灯）	撮影の一時停止中 スタンバイモード中 フェードアウト中
	パワー LCD 中
	撮影の確認中
	ブランクサーチ中
WIDE	ワイドモード
AUTO	フルオートモード
MNL	マニュアルモード
MF	マニュアルフォーカス
2×	ズーム倍率表示
	逆光補正
	手ぶれ補正
1/60	シャッター速度
OPEN	絞り値
6dB	ゲイン値
WEB	WEB カメラモード
	美肌モード
	テレマクロ機能
W B	フェード（白） フェード（黒）
	カラーナイトビュー
ZOOM	ズームマイク
	風音低減
	スポーツモード ポートレートモード ローライトモード スポットライトモード サーフ＆スノーモード
AWB	オートモード 屋内（白熱電球）モード 屋外モード 蛍光灯モード セットモード

再生表示

●	録画中
▶	再生中
▮▮	再生の一時停止中
▶▶	早送り / 早送り再生中
◀◀	巻き戻し / 巻き戻し再生中
▮▶/◀▮	スロー / 逆スロー再生中
▮▮▶ / ◀▮▮	正 / 逆方向コマ送り中
2×▶▶	可変速サーチ中
⟳▶	リピート再生
WEB	WEB カメラモード
アフレコ ●	アフレコ中
アフレコ ▮▮	アフレコ一時停止中
12bit、16bit	音声記録モード
🔈	音量表示

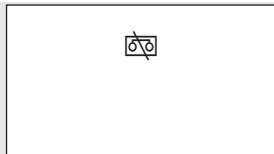
カード表示

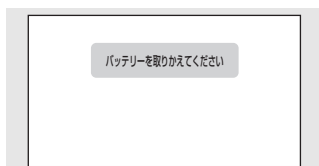
○（白） ●（緑）	シャッターチャンスマーク
セルフタイマー表示	セルフタイマー
MEGA	MEGA OIS
（白） （緑） （赤） （赤） （赤点滅）	フォトショットモード アクセス中（記録操作不可） フォトショット中 PC 接続モードでアクセス中 認識できないカードを使用
画質表示 、 画質表示	静止画の画質
18	静止画の残り記録可能枚数 （残り0枚で赤色点滅となります）
スライドショー表示	スライドショー実行中
PictBridge	PictBridge 対応プリンター接続時
100-0001	フォルダ / ファイル名表示
No. 10	データ番号
000 枚	DPOF 設定枚数
DPOF表示 1	DPOF 設定済み （1 枚以上に設定）
O┳	プロテクト設定済み
 3.1M 2M 1M 0.3M 2.4M 1M 0.2M	静止画の記録画素数 2048 × 1512 1600 × 1200 1280 × 960 640 × 480 2048 × 1152 1280 × 720 640 × 360

本機で記録していない画像は、水平または垂直方向画素数が異なった場合、サイズ表示されません。

メニュー画面／表示画面

5. 画面の表示（つづき）

確認表示

	誤消去防止つまみが [SAVE] 側になっているカセットを入れたとき（P17）
または ——	内蔵日付用電池が消耗したとき（P14）
!	● 対面撮影時に警告が出ています。液晶モニターを戻して警告表示を確認してください。（P35） ● WEB カメラ動作中に警告が出ています。警告の内容については Q&A を参照してください。（P103）
カセットなし	カセットが入っていないとき
カードなし	カードが入っていないとき
リモコン	リモコンの設定が合っていないとき（P27）
テープおわり	撮影中にテープが終端になったとき
ヘッドよごれ	ヘッドが汚れているとき（P95）

文章表示

バッテリーを取りかえてください

つゆつき・この表示が消えるまでおまちください **つゆつき・カセットを取りだしてください**	つゆつきが起こっています。カセットを取り出してしばらくお待ちください。カセットホルダーが開くまでしばらく時間がかかりますが、故障ではありません。（P96）
バッテリーを取りかえてください	バッテリー容量がなくなりました。十分に充電したバッテリーと交換してください。（P10 ～ 11）
カセットを入れてください	カセットが入っていません。（P17）
カセットを取りかえてください	テープ撮影中にテープの終端になりました。または、テープに異常を検出しました。
カセットを取り出して確認してください	テープにダメージやカセットに異常があった場合に表示される場合があります。
このカセットでは撮影できません	誤消去防止つまみが [SAVE] 側になっているカセットを入れて、撮影操作をしています。（P17）
このカセットでは録画できません	誤消去防止つまみが [SAVE] 側になっているカセットを入れて、アフレコや録画（デジタルダビング）操作をしています。（P17）
リモコンの設定を確認してください	リモコンの設定が合っていません。電源を入れて、最初のリモコン操作時のみ表示されます。（P27）
再生できません	再生不能のテープかカードです。またはヘッドが汚れています。（P95）

カセット扉を閉じてください	カセットカバーが開いたままになっています。(P17) カセットカバーを閉じてください。
このカセットは使えません	未対応のカセットです。
うっかり撮り防止機能により撮影を一時停止します	うっかり撮り防止機能が働いています。(P39)
LP 記録部のため録音できません	LP モードで記録したテープにアフレコ操作をしています。(P29)
コピーガードがありただしく録画できません	著作権保護の信号(コピーガード)が入っている映像を録画しています。(P55)
ビデオカメラでフォーマットしてください	他機でフォーマットしたカードに静止画を記録しようとしています。または未対応のカードあるいは本機で認識できないカードです。フォーマットしてください。(P51)
カードを入れてください	カードが入っていません。(P18)
カード残量がありません	カードがいっぱいで記録できません。画像ファイルなどを削除するか、新しいカードを入れてください。(P18、50)
カードを確認してください	未対応のカードあるいは本機で認識できないカードです。
データがありません	カードに静止画が記録されていません。データが記録されているのにこの表示が出る場合は、カードの状態が不安定になっていることが考えられます。一度電源を入れ直してください。
削除できません	プロテクト設定されているファイルに削除操作をしています。(P51)
カードがロックされています	カードの書き込み禁止スイッチが [LOCK] 側になっています。(P18)
ヘッドクリーナーをお使いください	ヘッドが汚れています。デジタルビデオ用ヘッドクリーナーをかけてください。(P95)
RESET ボタンを押してください	本機が自動的に異常を検出しました。カセットとカードを取り出してから、RESET ボタンを押して本機を再起動させてください。(P103)
USB は使えません モードをかえてください	カード記録モードで USB 接続ケーブルをつないでいます。
USB ケーブル接続中のため操作はできません	USB 接続ケーブルをつないだ状態で、テープ / カードに記録しようとしています。
モード切換時は USB ケーブルを抜いてください	USB接続ケーブルをつないだ状態で、PC接続モードから他のモードに切り換えています。
プリンタを確認してください インクがありません 用紙がありません	接続しているプリンターを確認してください。
フォーマットできません	故障したカードをフォーマットしようとしています。 または未対応のカードをフォーマットしようとしています。
パソコンが USB2.0 に対応していません	USB2.0 に対応していないパソコンに接続しています。(P83)
DV ケーブル接続中のため USB は使えません	DV ケーブルを接続中に USB 接続ケーブルを接続しています。

1. 同時に使えない機能一覧

本機では仕様上、お使いの機能によって使えなくなったり、選べなくなる機能があります。
下の表は機能が制限される例です。

使えない機能	使えなくなる条件
デジタルズーム フェード	● カード記録モード
逆光補正	● カラーナイトビュー使用時 ● 絞り・ゲイン設定時
美肌モード テレマクロ機能 撮影チェック ブランクサーチ ヘルプモード	● テープ撮影中
カラーナイトビュー	● テープ撮影中 ● カード記録モード
シーンモード	● フルオート時 ● カラーナイトビュー使用時

使えない機能	使えなくなる条件
白バランスモードの変更	● デジタルズーム（約 10 倍以上）使用時 ● カラーナイトビュー使用時
シャッター速度 絞り・ゲインの調整	● カラーナイトビュー使用時 ● シーンモード使用時
可変速サーチ	● リピート再生中
ファイル削除	● カードの書き込み禁止スイッチが[LOCK]側になっているとき ● プロテクト設定時
フォーマット	● カードの書き込み禁止スイッチが[LOCK]側になっているとき
アフレコ	● LP モードで記録された部分 ● 無記録部分 ● DV 端子からの入力音声

2. ヘッド汚れについて(ヘッドクリーニング)

■ ヘッド（テープが密着する精密部品）が汚れると、正常な記録や再生ができなくなります。

- 本機にはヘッド汚れを除去するために、デジタルビデオ用ヘッドクリーナーが付属されています。
- 新しいデジタルビデオ用ヘッドクリーナーをお求めの場合は、市販品番 AY-DVMCL/ サービスルート品番 VFK1449S を別売しています。

撮影にお出かけの際は、デジタルビデオ用ヘッドクリーナーをお持ちください。万が一ヘッド汚れが発生したときはご使用ください。

■ ヘッドが汚れると、撮影時に「ヘッドクリーナーをお使いください」と表示されます。また、再生時には以下のような症状が出ます。

- 部分的にモザイク状のノイズが出たり、音声が途切れる

- 黒または青のモザイク状の横しまが出る

- 青の横しまが出る

- 画面全体が青一色になり、映像や音声が出ない

■ デジタルビデオ用ヘッドクリーナーの使いかた

1）デジタルビデオ用ヘッドクリーナーを本機に入れ、テープ再生モードにする
2）約 10 秒程再生する(再生を停止しなかった場合は、約 15 秒後に自動的に停止します)

■ ヘッドをクリーニングしても正常に再生できないときは

撮影時にヘッドが汚れていたために正常に記録できなかったと考えられます。

- ヘッドをクリーニングしても再びヘッド汚れが発生した場合は、お使いのテープに起因している可能性がありますので、別のミニ DV カセットテープをおためしください。
- 再生時に一瞬映像や音声が途切れる場合がありますが、本機の故障ではありません。（撮影や再生中、ヘッドに一瞬付いた小さなごみやほこりなどによるものと考えられます）
- 定期的にヘッドをクリーニングされることをおすすめします。
- ほこりを避けるため、使用後はカセットケースに入れて保管してください。

※ パナソニック製ミニ DV カセットテープのご使用をおすすめします。

故障かな？と思う前に

3. 湿気やつゆつきは大敵です

夏に冷蔵庫から出したビンなどに、しばらくすると水滴が付きます。この現象が「つゆつき」です。

つゆつきが本機のヘッド（テープが密着する部分）やカセット（テープ）に起こると、テープがはり付いてヘッドやテープを傷めたり、正常に記録できないことがあります。

つゆつき表示が出た場合の処置

ヘッドやテープにつゆつきが起こっているときに電源を入れると、黄色または赤色で警告が表示されます。（下図）

ファインダーや液晶モニターに下図の
警告文章が黄色または赤色で表示されます。

カセットが入っている場合	カセットが入っていない場合
つゆつき・カセットを取りだしてください	つゆつき・この表示が消えるまでおまちください

以下の処置を行ってください。

1）**カセットが入っている場合は、カセットを取り出す**
- カセットカバーを開けてから、カセットホルダーが開くまで約 20 秒かかりますが、故障ではありません。

2）**必ずカセットカバーを閉じ、バッテリーを付けた状態で放置して、その場所の環境になじませる**
動作表示ランプが約 1 分間点滅し、自動的に電源が切れます。つゆつき表示が消えるまでの目安は約 1.5 ～ 2 時間です。

3）**テープ撮影またはテープ再生モードにして電源スイッチを入れ直し、つゆつき表示が消えていれば、テープへの撮影や再生が可能になります**

- 特に温度が低い寒冷地では、つゆが凍結し、霜になることがあります。このような場合、表示が消えるまでにさらに時間がかかることがあります。

つゆつきが起こる原因は

下記のように温度差、湿度差があると起こります。
- 寒い屋外（スキー場のゲレンデなど）から暖かい屋内に持ち込んだとき
- 冷房の効いた車などから車外へ出したとき
- 寒い部屋を急に暖房したとき
- エアコンなどの冷風が本機に直接当たっていたとき
- 夏の夕立のあと
- 湯気がたち込めるなど湿度の高いところ（温水プールなど）

つゆつきのトラブルを防ぐには

環境条件によっては、つゆつき表示が出ない場合があります。レンズや本体につゆが付いているときは、ヘッドやテープにもつゆが付く場合がありますので、カセットカバーを開けないでください。

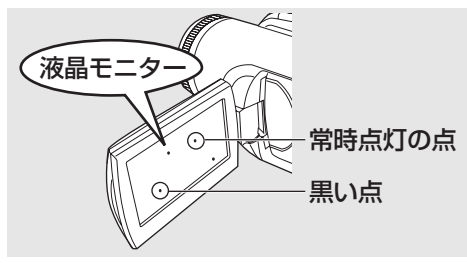
寒いところから暖かいところなどの温度差の激しい場所へ持ち込むときは

例えばスキー場で撮影後、暖房の効いた部屋に入るときは、カセットカバーを閉じた状態でビニール袋などに本機を入れ、空気を抜き、密封してください。約 1 時間その状態で、移動先の室温になじませてからご使用ください。

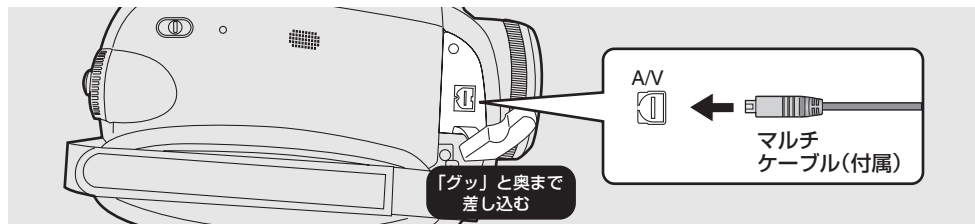
レンズがくもっているときの処置

電源スイッチを [OFF] にし、約 1 時間ほどそのままにしておいてください。周囲の温度になじむとくもりが自然に取れます。

4. 液晶モニター / ファインダーについて

液晶モニター / ファインダーは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニター/ ファインダーの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。
【液晶モニター / ファインダーの画素については 99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けや常時点灯するものがあります。】
また、これらの点はテープやカードの映像には記録されませんのでご安心ください。

- 液晶面が汚れたときは、柔らかい乾いた布でふいてください。
- 温度差が激しいところでは、液晶モニターにつゆが付くことがあります。柔らかい乾いた布でふいてください。
- 寒冷地などで本体が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

5. 映像や音声が正しく出力できない

マルチケーブルのプラグは、本機の [A/V] 端子にしっかりと奥まで差し込んでください。

- 奥まできちんと差し込まれていないと、映像や音声が正しく出ない場合があります。
- マルチケーブルを使う前に、もう一度プラグが奥まで差し込まれていることを確認してください。

6. Q&A

電源／本体関係

こんなときは	ご確認ください
電源が入らない	● **バッテリーは十分に充電されていますか？** →十分に充電されたバッテリーをお使いください。（P10） ● **バッテリーの保護回路が動作している可能性があります。バッテリーを AC アダプターに 5 ～ 10 秒取り付けてみてください。（P10）それでも使用できない場合は、バッテリーの故障です。** ● **液晶モニターを開くまたはファインダーを引き出していますか？（P15）**
電源が勝手に切れる	● **本機を約 5 分間記録操作しないと、テープ保護とバッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れる場合があります。（P88）再び撮るときは、電源スイッチを [OFF] にしてから、再度 [ON] にしてください。また、パワーセーブ（P88）を「切」に設定すると、自動的に電源は切れません。**
電源が入ってもすぐに切れる	● **バッテリーが消耗していませんか？** →バッテリー残量表示が点滅していたり、「バッテリーを取りかえてください」のメッセージが出ている場合は、バッテリーが消耗しています。バッテリーを充電するか、十分に充電されたバッテリーを付けてください。（P10 ～ 11） ● **つゆつきになっていませんか？** →寒いところから暖かいところにビデオカメラを持ち込んだときなどは、内部につゆつきが発生することがあります。この場合は自動的に電源が切れ、カセット取り出し以外の操作はできなくなります。つゆつき表示が消えるまでお待ちください。（P96）
バッテリーの消耗が早い	● **十分に充電されていますか？** → AC アダプターで充電してください。（P10） ● **低い温度のところで使っていませんか？** →バッテリーは、周囲の温度の影響を受けます。低い温度のところでは、使用できる時間が短くなります。 ● **バッテリーが寿命になっていませんか？** →バッテリーには寿命があります。寿命は使いかたによって変わりますが、十分に充電しても使用できる時間が短いときは、バッテリーの寿命です。
電源が入っているのに何も操作できない 正常に動作しない	● **液晶モニターを開くまたはファインダーを引き出していないと操作できません。** ● **カセット/カードを取り出してから、RESETボタンを押してください。（P103）それでも直らない場合は、電源を切って 1 分程度たってから再度電源を入れ直してください。（カード動作中ランプが点灯中に上記の操作を行うと、カードのデータが破壊されることがあります）**
カセットの取り出しができない	● **カセットカバーを開いたとき、動作表示ランプは点灯しますか？** →バッテリーや AC アダプターが正しく接続されていることを確認してください。（P11） ● **放電したバッテリーを使用していませんか？** →バッテリーを充電してから取り出してください。（P10） ● **カセットカバーを一度完全に閉じてから、再度最後まで開いてください。（P17）**
カセットの取り出し操作以外何も操作できない	● **つゆつきになっていませんか？** →つゆつき表示が消えるまでお待ちください。（P96）
ワイヤレスリモコンが働かない	● **リモコンのコイン電池が消耗していませんか？** →新しいコイン電池と交換してください。（P26） ● **リモコンの設定は合っていますか？** →リモコンと本機のリモコン設定が合っていないと、操作しても動作しません。（P27）

故障かな？と思う前に

	こんなときは？	ご確認ください
撮影関係	電源、カセットを正しく入れているのに撮影できない	● カセットの誤消去防止つまみが開いていませんか？ →誤消去防止つまみが開いている（[SAVE] 側になっている）と撮影できません。（P17） ● カセットがテープ終端（テープの一番最後）になっていませんか？ →新しいカセットに交換してください。（P17） ● テープ撮影モードにしていますか？ →テープ再生モードになっているときは撮影できません。（P19） ● つゆつきになっていませんか？ →つゆつき時は、カセット取り出し以外の操作はできなくなります。つゆつき表示が消えるまでお待ちください。（P96） ● カセットカバーが開いていませんか？ →カセットカバーが開いていると、本機が正しく動作しないことがあります。カセットカバーを閉じてお使いください。（P17）
	画面が急に変わった	● デモ（デモンストレーション）が始まったのではないですか？ →テープ撮影モードで、カセットもカードも入れずに「デモモード」を「入」に設定すると、デモが始まります。通常は「切」にしてお使いください。（P89）
	カセットが入らない	● つゆつきになっていませんか？ →つゆつき表示が消えるまでお待ちください。（P96）
	自動でピントが合わない	● マニュアルフォーカスになっていませんか？ →オートフォーカスにすると自動でピントが合います。（P29） ● オートフォーカスでピントが合いにくい場面を撮影していませんか？ →オートフォーカスでは、ピントの合いにくい場面があります。（P105）この場合はマニュアルフォーカスで手動でピントを合わすことができます。（P44）
	録画が勝手に止まってしまう	● うっかり撮り防止機能が働いていませんか？ →正しく真正面に向けて撮影するか、うっかり撮り防止を「切」にしてください。（P39）

表示関係	画面中央に赤色の文字で文章表示が出る	● 内容を確認し、対応してください。（P92 ～ 93）
	タイムコード表示がおかしくなる	● 逆スロー再生をすると、タイムコード表示のカウントが一定にならないことがありますが、故障ではありません。
	テープ残量表示が消える	● コマ送りなどをすると、一時的にテープ残量表示が消える場合があります。通常の撮影や再生を続けると元に戻ります。
	テープ残量表示が実際のテープ残量と合わない	● 約 15 秒以下の連続撮影では、残量表示が正確に出ません。 ● 実際のテープ残量より約２～３分少ない表示が出る場合があります。
	機能表示（モード表示、残量表示、カウンター表示など）が出ない	●「セットアップ」メニューの「画面表示」が「切」になっていると、テープ走行状態、警告、日付表示など以外は消えます。

6. Q&A（つづき）

	こんなときは？	ご確認ください
再生関係／音声	**本機のスピーカーから再生音声が出ない**	● **音量調整が小さくなりすぎていませんか？** →再生時にズームレバーを動かして音量表示を出し、音量を調整することができます。（P46）
	音声が重なって聞こえる	● **「セットアップ」メニューの「12bit 音声」を「ミックス」に設定していませんか？** →「音声記録」を「12bit」にして撮影したテープにアフレコ編集すると、撮影時の音声とあとから録音した音声を同時に重ねて聞くことができます。それぞれを別々に聞く場合は「ステレオ 1」か「ステレオ 2」にしてください。（P56） ● **「セットアップ」メニューの「音声切換」を「ステレオ」に設定して、主音声、副音声の入った映像を再生していませんか？** →主音声を聞くときは「L」、副音声を聞くときは「R」に設定してください。（P89）
	アフレコができない	● **カセットの誤消去防止つまみが開いていませんか？** →誤消去防止つまみが開いている（[SAVE] 側になっている）とアフレコできません。（P17） ● **LP モードで撮影した部分にアフレコしようとしていませんか？** → LP モードでは、テープ上のトラック幅がヘッド幅より狭いため、アフレコはできません。（P29）
	アフレコすると元の音声が消えてしまった	● **「16bit」モードで撮影した部分にアフレコすると、元の音声が消えてしまいます。元の音声も残したい場合は、撮影時に「12bit」モードで撮影してください。（P88）**
	テレビ、本機のスピーカーとも再生音が出ない	● **アフレコしていないのに「ステレオ 2」にしていませんか？** →アフレコしていない場合、「ステレオ 1」に切り換えてください。（P56） ● **可変速サーチになっていませんか？** →可変速サーチ中は音声は出ません。ワイヤレスリモコンの再生ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。（P47）

再生関係／映像・音声

こんなときは？	ご確認ください
テレビと正しく接続しているのに再生映像が出ない 再生映像が縦長になる	● テレビの入力切換がビデオ入力になっていますか？ →テレビの説明書をよくお読みになり、接続したビデオ入力端子を選んでください。 ●「接続するテレビ」の設定は合っていますか？ →お使いのテレビに合わせて設定してください。 「セットアップ」→「接続するテレビ」→「4：3」または「ワイド」
早送り再生、巻き戻し再生をすると、モザイク状のノイズが出る	● デジタル特有の現象です。異常ではありません。
早送り再生、巻き戻し再生をすると、横線が出る	● シーンによっては横線が出る場合がありますが、異常ではありません。
再生映像がきれいに映らない 音声が途切れたり、ノイズが入る	● 本機のヘッドが汚れていませんか？ →ヘッドが汚れていると、再生画像がきれいに映らなかったり、音声が途切れたりする場合があります。デジタルビデオ用ヘッドクリーナーを使ってヘッドをクリーニングしてください。（P95） ● マルチケーブルの端子部が汚れていると、画面や音声にノイズが入ることがあります。柔らかい布で汚れをふき取ってから、A/V 端子に接続してください。 ● 著作権保護の信号（コピーガード）が入っている映像を録画していませんか？ →このようなカセットを本機で再生すると、映像がモザイクになります。

6. Q&A（つづき）

	こんなときは？	ご確認ください
カード関係	静止画がきれいに記録されない	● メニューの「写真画質」で設定を「▄▲▄」にして、細かいものを記録していませんか？ →「▄▲▄」で細かいものを記録すると、画像がモザイク状になることがあります。「▆▲▆」にして記録してください。（P33）
	カードに記録されたファイルが削除できない	● ファイルがプロテクトされていませんか？ →プロテクト設定をしていると削除できません。（P51） ● カードの書き込み禁止スイッチが [LOCK] 側になっていると削除できません。（P18）
	カードの画像がおかしい	● データが壊れている可能性があります。データは静電気や電磁波で壊れることがあります。大切なデータは、パソコンなどにも記録するようにしてください。
	カードをフォーマットしても使えるようにならない	● 本機またはカードの故障と思われます。お買い上げの販売店にご相談ください。本機では 8 MB ～4 GB までのカードを使用してください。
	カード再生中に「再生できません」と表示される	● 形式の異なるデータや壊れたデータを再生しています。
	他の機器にカードを入れても認識しない	● カードを挿入されている機器が、ご使用のカードの容量、または種類（SD メモリーカード /SDHC メモリーカード）に対応しているかご確認ください。（P18） → 詳しくは、お使いの機器の説明書をお読みください。

その他	表示が消える 画面が動かなくなる 操作できなくなる	● 電源を切ってください。電源が切れないときは、RESET ボタンを押すか、バッテリー、AC アダプターを外して付け直してください。そのあと電源を入れ直してください。それでも正常に動作しない場合は、接続している電源を外し、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」（P124 ～ 125）にお問い合わせください。

その他 こんなときは？	ご確認ください
「RESET（リセット） ボタンを押してください」と表示される	● 本機が自動的に異常を検出しました。データ保護のためにカセットとカードを取り出してから、Ⓐ の突起部で RESET ボタンを押してください。本機が再起動します。 Ⓐ RESET ● RESET ボタンを押さなかったときは、約 1 分後に自動的に電源が切れます。 ● RESET ボタンを押しても、何度も繰り返し表示されるときは修理が必要です。接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。お客様での修理はご遠慮ください。
USB 接続ケーブルをつないでもパソコンが認識しない	● USB ドライバーはインストールされていますか？ →詳しくは、（P65）をお読みください。
USB 接続ケーブルを外したらパソコンにエラーメッセージが出る	● USB 接続ケーブルを安全に外すために、タスクトレイの アイコンをダブルクリックしてから、画面の指示に従ってください。
編集、デジタルビデオ機器からのダビング、「MotionDV STUDIO 6.0J LE for DV または SweetMovieLife 1.1J」の使用時に誤動作する	● 同じテープ上に SP と LP（記録モード）、12bit と 16bit（音声記録モード）、4：3とワイド、記録部分と無記録部分などモードが混在して記録されていると、モードが切り換わるところで誤動作することがあります。編集などをする場合、モードが混在しないように記録してください。
WEB カメラモードで動作中に警告表示「!」が出る	● メニューボタンや撮影開始 / 一時停止ボタンなどを押していませんか？ → WEB カメラモード中は、メニュー操作やテープ / カードへの記録ができません。 ● リモコンの設定は合っていますか？（P27） ● カセットが入っていない状態で、テープの再生操作をしていませんか？ →カセットを入れてください。 ● コピーガードがかかっているテープを再生していませんか？ →コピーガードがかかっているテープの映像は、パソコンで表示できません。（音声は再生されます） ● USB ドライバーがインストールされていますか？ →詳しくは（P65）をお読みください。
MotionDV STUDIO 6.0J LE for DV または SweetMovieLife 1.1J の取扱説明書（PDF 説明書）が見られない	● Adobe Acrobat Reader 5.0以降またはAdobe Reader 7.0以降がお使いのパソコンにインストールされていますか？ → MotionDV STUDIO 6.0J LE for DV / SweetMovieLife 1.1J の取扱説明書（PDF 説明書）を読むためには、Adobe Acrobat Reader 5.0 以降または Adobe Reader 7.0 以降が必要です。

海外で使う

撮ったものを海外で見るには

テレビに接続して見る場合、日本と同じテレビ方式（NTSC）の映像 / 音声入力端子付テレビと接続コードなどが必要です。

■日本と同じ NTSC 方式を採用している国、地域

- ●アメリカ合衆国
- ●アンチグア・バーブーダ
- ●イエメン（一部地域）
- ●英領バーミューダ諸島
- ●エクアドル
- ●エルサルバドル
- ●ガイアナ
- ●カナダ
- ●キューバ
- ●グァテマラ
- ●グァム島
- ●グレナダ
- ●コスタリカ
- ●コロンビア
- ●ジャマイカ
- ●スリナム
- ●セントクリストファー・ネイビス
- ●セントビンセント・グレナディーン諸島
- ●セントルシア
- ●大韓民国
- ●台湾
- ●チリ
- ●ドミニカ共和国
- ●ドミニカ国
- ●トリニダード・トバゴ
- ●ニカラグア
- ●ハイチ
- ●パナマ
- ●バハマ
- ●バルバドス
- ●フィジー
- ●フィリピン
- ●プエルトリコ
- ●米領サモア
- ●ベトナム（一部地域）
- ●ベネズエラ
- ●ベリーズ
- ●ペルー
- ●ボリビア
- ●ホンジュラス
- ●マーシャル諸島
- ●マリアナ諸島
- ●ミクロネシア連邦
- ●ミャンマー
- ●メキシコ

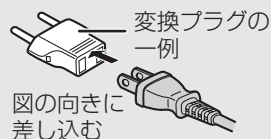
本機の保証書は、日本国内のみ有効です。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスについてはご容赦ください。

AC アダプターを海外で使用するには

AC アダプターは、電源電圧（100 V ～ 240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。
市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。充電のしかたは、国内と同じです。

AC アダプターは日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

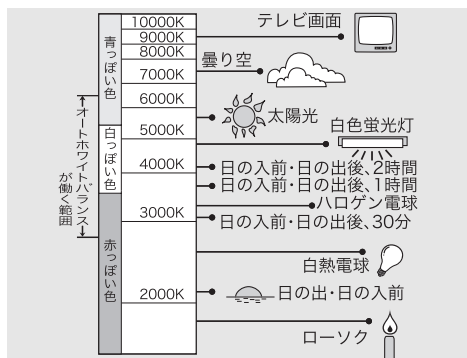
ご使用にならないときは変換プラグを AC コンセントから外してください。

主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

国・地域	タイプ	国・地域	タイプ	国・地域	タイプ	国・地域	タイプ
北米							
アメリカ合衆国	A	カナダ	A,BF				
ヨーロッパ・旧ソ連地域							
アイスランド	C	アイルランド	C	イギリス	B,BF,B3,C,O	イタリア	C
ウクライナ	A,C	オーストリア	B,C,SE	オランダ	C,SE	カザフスタン	A,C
ギリシャ	B,C	スイス	B,BF,C,SE	スウェーデン	C	スペイン	A,C,SE
デンマーク	C	ドイツ	C,SE	ノルウェー	C	ハンガリー	C
フィンランド	C	フランス	C,O,SE	ベラルーシ	A,C	ベルギー	C
ポーランド	B,C	ポルトガル	B,C	ルーマニア	C	ロシア	A,C
アジア							
インド	B,BF,C	インドネシア	A,B,BF,B3,C,SE	シンガポール	B,BF,B3	スリランカ	B,C
タイ	A,BF,C	大韓民国	A,BF,C,O,SE	台湾	A,O	中華人民共和国	A,B,BF,B3,C,O,SE
ネパール	B,BF,C	パキスタン	A,B,C	バングラデシュ	B,C	フィリピン	A,B,BF,C,O
ベトナム	A,C	香港特別行政区	B,BF,B3,C	マカオ特別行政区	A,B,C	マレーシア	B,BF,B3,C
モンゴル	B,BF,C						
オセアニア							
オーストラリア	O	グァム島	A	タヒチ	A,C	トンガ	O
ニュージーランド	O	フィジー	A,C,O				
中南米							
アルゼンチン	A,BF,C,O	コロンビア	A	ジャマイカ	A	チリ	B,C
ハイチ	A	パナマ	A,BF	バハマ	A	プエルトリコ	A
ブラジル	A,C,SE	ベネズエラ	A	ペルー	A,C	メキシコ	A,SE
中東							
イスラエル	BF,C,O	イラン	BF,C	クウェート	B,BF,C	ヨルダン	B,BF
アフリカ							
アルジェリア	A,BF,C	エジプト	B,BF,B3,C,SE	カナリア諸島	C	ギニア	C
ケニア	B,BF,C	ザンビア	B,BF	タンザニア	B,BF	南アフリカ共和国	B,BF,B3,C
モザンビーク	C	モロッコ	C,SE				

タイプ		形状	変換プラグ
A	アメリカンタイプ		不要
B	U.K.タイプ		
BF	U.K.タイプ		
B3	U.K.タイプ		
C	ヨーロピアンタイプ		
SE	ヨーロピアンタイプ		
O	オーストラリアンタイプ		

用語解説

オートホワイトバランス

本機は数種類の光源の下での白色情報をあらかじめ記憶しています。撮影時の光源がどのようなものか、白バランスセンサーとレンズからの情報によって判断し、記憶している白バランスの中から最も近いものを選びます。
この機能のことをオートホワイトバランスといいます。
しかし、数種類の光源での白色情報しか記憶していないので、それ以外の光源の下での撮影では、白バランスが正常に働きません。

オートホワイトバランスが働く範囲は、図のとおりです。範囲外での撮影では、映像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、図の範囲内にあっても、光源が複数の場合は、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合、手動で白バランスを調整してください。

白バランス（ホワイトバランス）

ビデオカメラで撮影すると、光源の影響を受け赤っぽく撮れたり、青っぽく撮れたりすることがあります。このような現象が起こらないように、白バランスという調整をします。
白バランスとは、様々な光源の下での白い色を決めることです。太陽の光の下での白い色とはどれなのか、蛍光灯の光の下での白い色とはどれなのかを認識させることによって、その他の色のバランスを調整します。
白色はすべての色（光）の基本になるので、基準となる白色を認識することができれば、自然な色合いで撮ることが可能になります。

オートフォーカス

レンズを自動的に前後に移動させ、ピントを合わせます。

以下のような特性があります。

- 被写体の縦の線がもっともはっきり見えるように調整する
- よりコントラストの強いものに焦点を合わそうとする
- 画面の中央部にしか焦点が合わない

このような特性のため、次のようなシーンでは、オートフォーカスは正しく働きません。
マニュアルフォーカスで撮影してください。

● 遠くと近くのものを同時に撮る
画面の中央に焦点が合うため、近くのものを撮ると、背景にピントが合いにくくなります。遠くの山を背景に人物を撮る場合、両方に焦点を合わせることはできません。

● 汚れたガラスの向こうのものを撮る
汚れたガラスにピントが合ってしまうので、ガラスの向こう側のものに焦点が合いにくくなります。また、車の往来が激しい道路の向こう側を撮る場合も、横切った車にピントが合ってしまうことがあります。

● キラキラと光るものが周りにある
キラキラ光るものに焦点が合ってしまうので、撮りたいものにピントが合いにくくなります。海辺、夜景、花火、特殊なライトが輝いているところなどではピントがぼけることがあります。

● 暗い場所を撮る
レンズに入ってくる光の情報が少なくなるため、ピントが合いにくくなります。

● 動きの速いものを撮る
機械的にレンズを動かしているため、速い動きには追いつけなくなります。
例えば、激しく動き回る子どもを撮るときは、ピントがぼけることがあります。

● コントラストの少ないものを撮る
コントラストの強いものや縦の線に焦点が合いやすいので、白い壁などコントラストや縦の線がないものには、焦点が合いにくくなります。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 危険

バッテリーパックは、本機専用の AC アダプターで充電する

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

AC アダプターは、本機専用のバッテリーパック以外の充電には使わない

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

⚠危険

指定以外のバッテリーパックを使わない

バッテリーパックの端子部（⊕・⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

バッテリーパックを分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない

バッテリーパックを炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
- 不要（寿命）になったバッテリーについては、113ページをご参照ください。
- 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
  液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
  液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

⚠警告

雷が鳴り出したら、本機の金属部や AC アダプターなどの電源プラグに触れない

落雷すると、感電の原因になります。

⚠警告

電源コード・プラグを破損するようなことはしない（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

● コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V ～ 240 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

● 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
● 特にお子様にはご注意ください。

コイン電池やメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

● 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠警告

乗り物を運転しながら使わない

事故の誘発につながります。

● 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

● 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

異常があったときは、電源プラグを抜く

- ・内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- ・落下などで外装ケースが破損したとき
- ・煙や異臭、異音が出たとき

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

● バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。
● 販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

⚠注意

カセット挿入口に指をはさまれないように注意する

けがの原因になることがあります。

● 特にお子様にはご注意ください。

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼす原因になることがあります。

● 病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

● カセットやカードは、保護のため取り出しておいてください。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

⚠注意

コイン電池は誤った使いかたをしない

- ⊕と⊖は逆に入れない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中に入れたりしない
- ネックレスなどの金属物といっしょにしない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周辺汚損の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60℃以上）になります。本機やカセット、バッテリー、AC アダプターなどを絶対に放置しないでください。
外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。
たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

使用上のお願い

ビデオカメラについて

- 使用中は本体が温かくなりますが、異常ではありません。

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（携帯電話、電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で映像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、映像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、映像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーや AC アダプターを一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影映像や音声が悪くなることがあります。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

浜辺など砂やほこりの多いところで使うときは、内部や端子部に砂やほこりが入らないようにする
また海水などでぬらさないようにする

- 砂やほこりは、本機やテープの故障につながります。（カセット、カードの出し入れ時はお気をつけください）
- 万一海水がかかったときは、よく絞った布でふき、そのあと、乾いた布でふいてください。

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしない

- 強い衝撃が加わると、外装ケースがこわれ、故障する恐れがあります。

お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤を使わない

- お手入れの際は、バッテリーを外しておく、または電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 溶剤を使うと外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- 本機は、柔らかい乾いた布でほこりや指紋をふいてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を水でうすめ、その液にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取ってください。そのあと、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

監視用など、業務用として使わない

- 長時間使うと、内部に熱がこもり故障する恐れがあります。
- 本機は業務用ではありません。

長期間使用しない場合について

- 押入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に入れることをおすすめします。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または低くなるほど影響が大きくなります。温度の低いところでは、満充電表示にならない場合や、使用開始後5分くらいでバッテリー警告表示が出る場合があります。また高温になると保護機能が働き、使用できない場合もあります。

使用後は､必ずバッテリーを外して保管する

- 付けたままにしておくと、本機の電源が[OFF]であっても、絶えず微少電流が流れています。そのままにしておくと、過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなる恐れがあります。
- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。(推奨温度:15 ℃～ 25 ℃、推奨湿度:40%～60%です)
- 極端に低温、高温になるところで保管すると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。
- 高温･多湿、油煙の多いところでは、端子がさびたりして故障の原因になります。
- 長期間保管する場合､1年に1回は充電し､本機で充電容量を使いきってから再保管することをおすすめします。
- バッテリーの端子部に付いたほこりなどは取ってください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- 撮影したい時間の3～4倍のバッテリーを準備してください。スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなります。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにACアダプターも忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグも必要です。(P104)

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本体やACアダプターに付けると、本体やACアダプターをいためます。

不要(寿命になったなど)バッテリーは火中などに投入しない

- 加熱したり火中などに投入すると、破裂する恐れがあります。

充電直後でもバッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い求めください。

不要になった電池(バッテリー)は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は､有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。

- ホームページ : http://www.jbrc.net/hp

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

充電式
リチウムイオン
電池使用

AC アダプターについて

- 熱くなっているバッテリーは、通常より充電時間が長くかかります。
- バッテリーの温度が非常に高い、または非常に低い場合、[CHARGE] ランプが点滅し続け、充電できないことがあります。バッテリーの温度が適温になったあと、自動的に充電が始まりますので、しばらくお待ちください。それでも [CHARGE] ランプが点滅し続ける場合は、バッテリーまたはACアダプターが故障している可能性がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ラジオ(特に AM 受信中)の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は1 m以上離してください。
- 使用中、ACアダプターの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。(接続したままにしていると､ACアダプター単体で約0.1 Wの電力を消費しています)
- ACアダプター、バッテリーの端子部を汚さないでください。

機器を電源コンセントの近くに設置し、遮断装置(電源プラグ)へ容易に手が届くようにしてください。

使用上のお願い
（つづき）

カセットについて

カセットは絶対に高温の場所に置かない

● テープがいたんで、再生時にモザイク状のノイズが出ることがあります。

使用後は、必ずテープを始端まで巻き戻し、取り出して保管する

● カセットを本機に入れたままにしたり、テープを途中で止めた状態で半年以上（保管状態により異なります）置いておくとテープがたるみ、いたみます。

● 半年に一度、テープを巻き直ししてください。テープを 1 年以上巻いたままにしておくと、温度や湿度による膨張、収縮などでゆがみが起きることがあります。またテープどうしがはりついてしまうことがあります。

● ほこりや直射日光（紫外線）、湿気などでテープをいためます。このようなテープを使用すると、本機やヘッドをいためる恐れがあります。

● 使用後は、必ずテープを始端まで巻き戻してから、ほこりなどから守るため、カセットをケースに入れ、立てて保管してください。

カセットに強い磁気を近づけない

● 磁石を使った器具（磁気ネックレスやおもちゃなど）は、思ったより磁気が強く、大切な撮影内容を消したり、ノイズを増やす原因となります。

カードについて

● カードのラベルに記載されているメモリー容量は、著作権の保護･管理のための容量と、ビデオカメラやパソコンなどで通常のメモリーとして利用可能な容量の合計です。

カードの出し入れは必ず電源スイッチが [OFF] の状態で行う

カード動作中ランプが点灯中（カードにアクセス中）は、カードを抜いたり、モードダイヤルを操作したり、電源を切らない、また振動や衝撃を与えない

カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

● カードが破壊される恐れがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失する恐れがあります。
● カード裏の接続端子部分に触れないでください。

● 電気ノイズや静電気、本機やカードの故障などによりカードのデータが壊れたり、消失することがありますので､大切なデータはUSB接続ケーブル､PC カードアダプターや USB リーダーライターなどを使って、パソコンなどにも保存してください。

使用後は、必ずカードを取り出して、保管する

● 使用後や保管時、持ち運びのときは、収納ケースなどに入れてください。

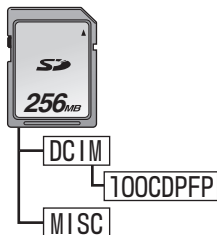
● カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また、手などで触れないでください。

メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

● 本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。

● 廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

■ カードのフォルダ構造

本機でフォーマットされたカードは、パソコンで見ると下図のようなフォルダで構成されています。

- 100CDPFP フォルダなどには最大で 999 枚の画像を記録できます。
- MISCフォルダにはDPOF設定されたファイルが記録されます。

miniSD カード (別売) について

- miniSDカードは、必ず専用のminiSDアダプターを装着してご使用ください。miniSDカードのみを入れると、本機やカードが故障する場合があります。
- miniSD アダプターのみを本機に入れないでください。また、miniSD アダプターを本機に入れた状態でminiSD カードのみを抜き差ししないでください。正常に動作しない場合があります。

液晶モニター / ファインダーについて

- 液晶面が汚れたときは、柔らかい乾いた布でふいてください。
- 温度差が激しいところでは、液晶モニターにつゆが付くことがあります。柔らかい乾いた布でふいてください。
- 寒冷地などで本体が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニター / ファインダーは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニター / ファインダーの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。
液晶モニター / ファインダーの画素については 99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けや常時点灯するものがあります。また、これらの点はテープやカードの映像には記録されませんのでご安心ください。

定期点検のお願い

美しい映像をご覧いただくために、使用環境（温度、湿度、ほこり）などによって異なりますが、およそ使用 1000 時間を目安に清掃、ヘッドなどの摩耗部品を交換されることをおすすめします。

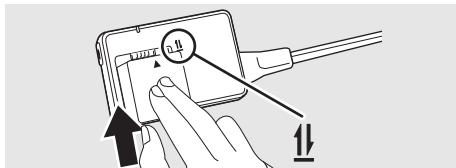
Quick guide (English)

Power supply

Charging the battery

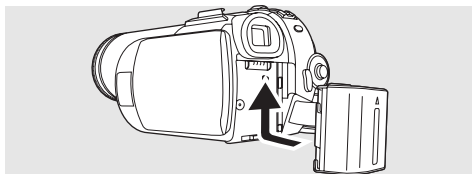
When this product is purchased, the battery is not charged. Charge the battery before using this product.

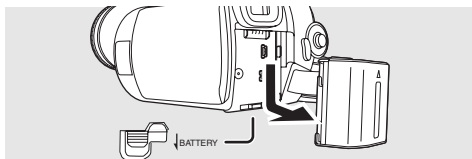
- If the DC input lead is connected to the AC adaptor, then the battery will not get charged. Remove the DC input lead from the AC adaptor.

1. **Connect the AC mains lead to the AC adaptor and the AC mains socket.**
2. **Put the battery on the battery mount by aligning the mark, and then securely plug it in.**

Charging lamp

Lights up: Charging
Goes off: Charging completed
Flashing: The battery is over discharged (discharged excessively). In a while, the lamp will light up and normal charging will start. When the battery temperature is excessively high or low, the [CHARGE] lamp flashes and the charging time will be longer than normal.

Fitting the battery

Push the battery against the battery holder and slide it until it clicks.

Removing the battery

While sliding the [BATTERY] lever, slide the battery to remove it.

- Hold the battery with your hand so it does not fall.
- Before removing the battery, be sure to set the [OFF/ON] switch to [OFF].

Turning the camera on

How to turn on the power

While pressing the button ❶, set the [OFF/ON] switch to [ON].

- The Status indicator lights red and the power turns on.
- In Tape Recording Mode or Card Recording Mode, if the [OFF/ON] switch to [ON] while the LCD monitor and viewfinder are closed, the power turns off.

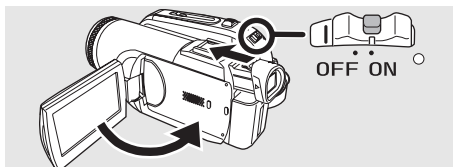
How to turn off the power

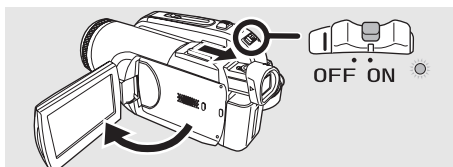
While pressing the button ❶, set the [OFF/ON] switch to [OFF].

- The Status indicator goes off when the power turns off.

How to turn the power on and off with the LCD monitor/viewfinder.

When the [OFF/ON] switch is set to [ON], the power can be turned on and off with the LCD monitor and the viewfinder when the unit is in Tape Recording Mode or Card Recording Mode.

1. **Close the LCD monitor and retract the viewfinder.**

- The Status indicator automatically goes off and the power turns off.
- However the power does not turn off if the LCD monitor is closed and the viewfinder is retracted while recording on a tape.

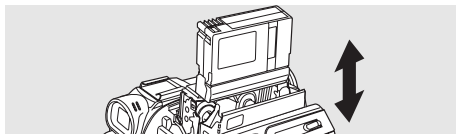
2. **Open the LCD monitor or extend the viewfinder to turn the power on and use the movie camera again.**

- The Status indicator lights red and the power turns on.

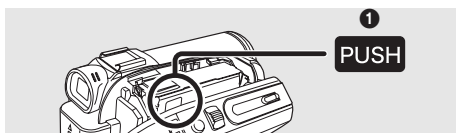
Inserting/removing a cassette

1 Fit the AC adaptor or the battery and turn on the power.

2 Slide the [OPEN/EJECT] lever and open the cassette cover.

- When the cover is fully opened, the cassette holder will come out.

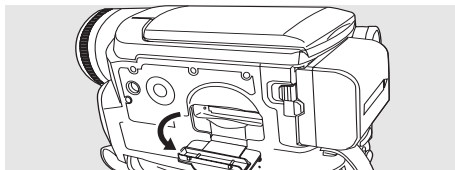
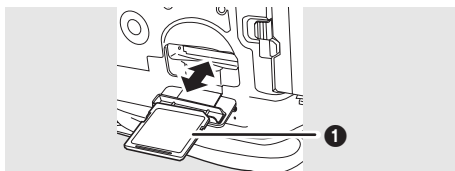
3 After the cassette holder is opened, insert/ remove the cassette.

- When inserting a cassette, orient it as shown in the figure, and then securely insert it as far as it goes.
- When removing, pull it straight out.

4 Push the [PUSH] mark ❶ in order to close the cassette holder.

5 Only after the cassette holder is completely housed, close the cassette cover tightly.

Inserting/removing a card

Before inserting/removing a card, be sure to set the [OFF/ON] switch to [OFF].

- If the card is inserted or removed with the power turned on, this movie camera may malfunction or the data recorded on the card may be lost.
- Check that the Status indicator has gone off.

1 Open the card slot cover.

2 Insert/remove the card into/from the card slot.

- When inserting a card, face the label side ❶ towards you and push it straight in with one stroke as far as it goes.
- When removing the card, open the card slot cover and press the center of the card and then pull it straight out.

3 Securely close the card slot cover.

Selecting a mode

Rotate the mode dial to select your favourite mode.

Rotate the mode dial.

- Set your desired mode to ❶.

[Tape recording icon]: Tape recording mode

Use this when you record the image on a tape. (Also, you can simultaneously record still pictures on a card while recording images on a tape.)

[Tape playback icon]: Tape playback mode

Use this to play back a tape.

[Card recording icon]: Card recording mode

Use this to record still pictures on a card.

[Card playback icon]: Card playback mode

Use this to play back the still pictures recorded on a card.

PC: PC connection mode

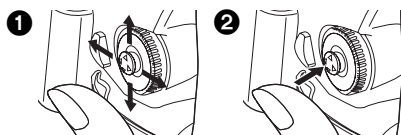
You can view or edit the images recorded on a card on your personal computer.

Quick guide (English) (Continued)

How to use the joystick

■ Basic joystick operations

Operations on the menu screen and selection of files to be played back on the multi-image display

Move the joystick up, down, left, or right to select an item or file, and then push in the center to set it.

❶Select by moving up, down, left, or right.
❷Determine by pushing the center.

■ Joystick and screen display

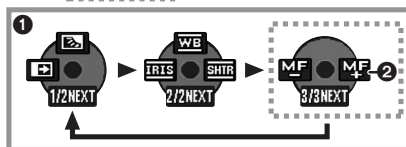
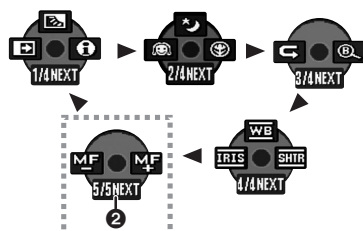
Push the centre of the joystick, and icons will be displayed on the screen. Each time the joystick is moved down, the indication changes.
(In the Tape playback mode or the Card Playback Mode, the icons will be automatically displayed on the screen.)

- To switch the language, refer to page 119.

1) Tape recording mode ([AUTO/MANUAL/FOCUS] switch is set to [AUTO])

1/3	◀		Fade
	▲		Backlight compensation
	▶		Help mode
2/3	◀		Soft skin mode
	▲		Colour night view
	▶		Tele macro
3/3	◀		Recording check
	▶		Blank search

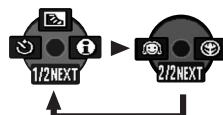
- ❶ is displayed while recording on a tape.

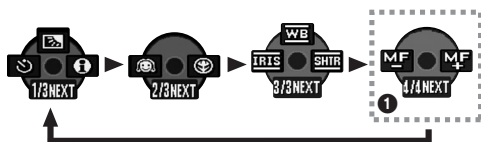
2) Tape recording mode ([AUTO/MANUAL/FOCUS] switch is set to [MANUAL])

4/4	◀	IRIS	Iris or gain value
	▲	WB	White balance
	▶	SHTR	Shutter speed
5/5	◀	MF −	Manual focus adjustment
	▶	MF +	

- ❶ is displayed while recording on a tape.
- ❷ is displayed only when the ([AUTO/MANUAL/FOCUS] switch is set to [FOCUS]).

3) Tape playback mode

	◀	◀◀	Rewind (review playback)
	▲	▶/II	Playback/pause
	▶	▶▶	Fast forward (cue playback)
	▼	■	Stop

4) Card recording mode ([AUTO/MANUAL/FOCUS] switch is set to [AUTO])

1/2	◀		Self-timer recording
	▲		Backlight compensation
	▶		Help mode
2/2	◀		Soft skin mode
	▶		Tele macro

5) **Card recording mode ([AUTO/MANUAL/FOCUS] switch is set to [MANUAL])**

3/3	◀	IRIS	Iris or gain value
	▲	WB	White balance
	▶	SHTR	Shutter speed
4/4	◀	MF −	Manual focus adjustment
	▶	MF +	

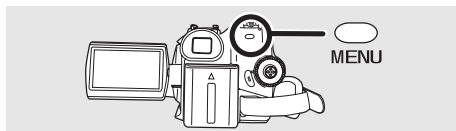
- ❶ is displayed only when the ([AUTO/MANUAL/ FOCUS] switch is set to [FOCUS]).

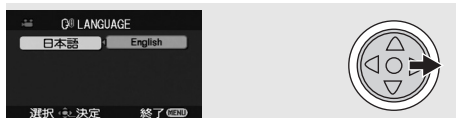
6) **Card Playback Mode**

	▲	▶/■	Playback/stop
	▼	🗑	Delete
	◀	◀‖	Playback previous picture
	▶	‖▶	Playback next picture

Switching the language

You can switch the language on the screen display or the menu screen.

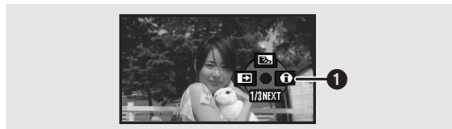
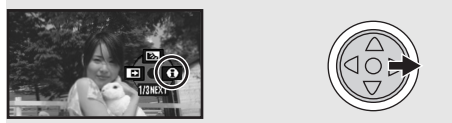
1 Press the [MENU] button.

2 Move the joystick up or down in order to select [LANGUAGE] and then move the joystick right or press it to set the selection.

3 Move the joystick right to select [English].

4 Press the joystick to determine the setting.

Help mode

Select an icon for an explanation of the function.

- Set to Tape/Card Recording Mode.

1 Press the joystick to display the icon during the recording pause. Move the joystick down until icon ❶ appears.

2 Move the joystick right to select the Help mode icon [ ].

- The help mode explains the operation icons displayed when the ([AUTO/MANUAL/ FOCUS] switch is set to [AUTO]) in Tape/Card Recording Mode.

3 Move the joystick up, left, or right to select the desired icon.

- An explanation of the selected icon is displayed on the screen.
- Each time the joystick is moved down, the indication changes.

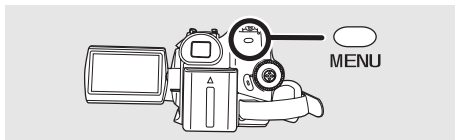
■ To exit the Help mode

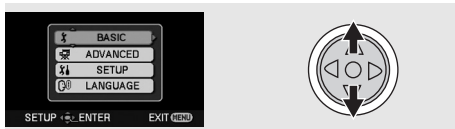
Select [EXIT] or press the [MENU] button.

- When the Help mode is used, functions cannot be set.

Quick guide (English) (Continued)

Using the menu screen

1 Press the [MENU] button.

- The menu corresponding to the mode selected by the mode dial is displayed.
- Do not switch the mode dial when the menu is displayed.

2 Move the joystick up or down in order to select the top menu.

3 Move the joystick right or press it to set the selection.

4 Move the joystick up or down in order to select the sub-menu.

5 Move the joystick right or press it to set the selection.

6 Move the joystick up or down in order to select the item to be set.

7 Press the joystick to determine the setting.

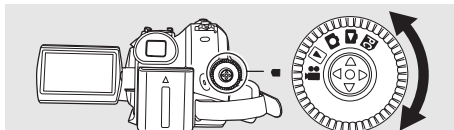
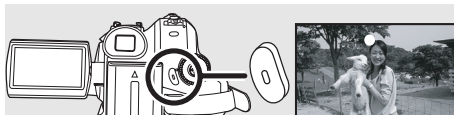
■ To get back to the previous screen

Move the joystick left.

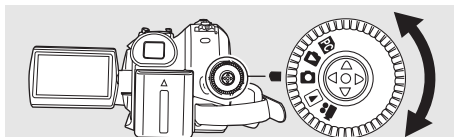
■ To exit the menu screen

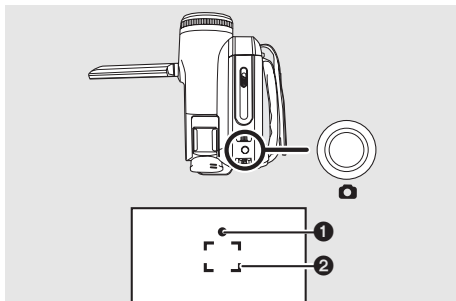
Press the [MENU] button.

Recording on a tape

- Set to Tape Recording Mode.

1 Press the recording start/stop button to start recording.

2 Press the recording start/stop button again to pause recording.

Recording still pictures onto a card (Photoshot)

- Set to Card Recording Mode.

1 Press the [📷] button halfway in order to adjust focusing. (For auto focusing only)
- If you set [O.I.S.] to [ON], then the image stabilizer function will be more effective. ([MEGA (MEGA OIS)] will be indicated.)

- The iris/gain value is fixed and this movie camera focuses on the subject automatically.

❶Shutter chance mark
○ (The white lamp flashes.): Focusing
● (The green lamp lights up.): When in focus
No mark: When focusing is unsuccessful

- The shutter chance mark is indicated as follows when the [ ] button is not pressed halfway. Please use it as a guide for recording.

● (The green lamp lights up.):When in focus and a good picture can be recorded
○ (The White lamp lights up.):Almost in focus

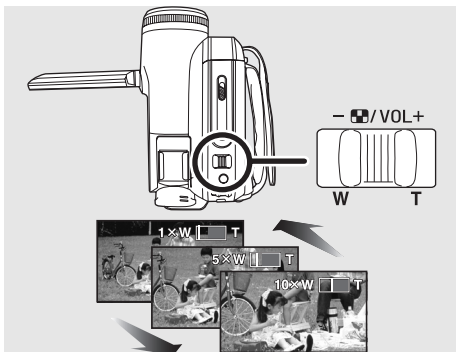
❷Focus area

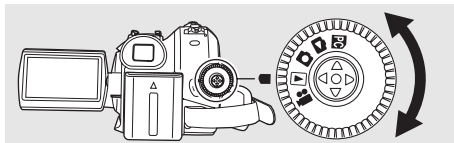
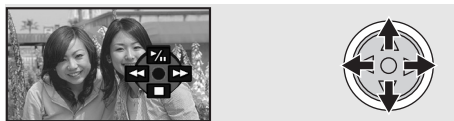
2 Press the [ ] button fully.

Zoom in/out function

You can zoom in up to 10× optically.

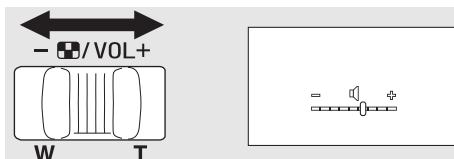
- Set to Tape/Card Recording Mode.

1 Wide-angle recording (zoom out): Push the [W/T] lever towards [W]. Close-up recording (zoom in): Push the [W/T] lever towards [T].

Playing back tape

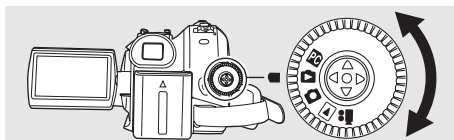
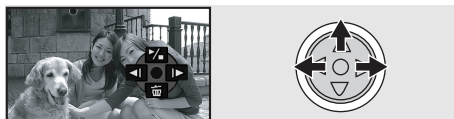
- Set to Tape Playback Mode.

Operate with joystick.

▶/❚❚: Playback/Pause
◀◀: Rewind/Review playback (Reverts to playback with the ▶/❚❚ icon.)
▶▶: Fast forward/Cue playback (Reverts to playback with the ▶/❚❚ icon.)
■: Stop

■ To adjust volume

Adjust the speaker volume for playback.

Move the [– /VOL +] lever to adjust the volume.

Towards [+]: increases the volume
Towards [–]: decreases the volume
(Nearer the bar to [+], larger the volume.)

Playing back card

- Set to Card Playback Mode.

Operate with joystick.

▶/■: Slide show (Plays back the still pictures on the card in order) start/stop.
◀❚ : Plays back the previous picture.
❚▶ : Plays back the next picture.

仕様

デジタルビデオカメラ

電源	DC 7.9/7.2 V
消費電力	録画時 3.6 W(ファインダー使用時) 3.9 W(液晶使用時 明るさ : 標準)

信号方式	NTSC 日米標準信号方式
録画方式	Mini DV 方式（民生用デジタル VCR SD 仕様）
使用テープ	6.35 ミリ幅ミニ DV カセットテープ
録画時間	最大 80 分（SP）120 分（LP）（DVM80 使用時）
テープ速度	SP 時 :18.812 mm/ 秒　LP 時 :12.555 mm/ 秒
映像記録方式	デジタルコンポーネント記録
音声記録方式	PCM デジタル記録 ：16 bit (48 kHz/2ch)　12 bit (32 kHz/4ch)
撮像素子	CCD 固体撮像素子× 3（総画素約 80 万× 3、 有効画素　静止画約 71 万× 3(4:3)/ 約 54 万× 3(16:9)、 動画約 64 万× 3(4:3)/ 約 54 万× 3(16:9)）
レンズ	自動絞り 10 倍電動ズーム F1.8 ～ F2.8（f = 3.0 ～ 30.0 mm、 35 mm 換算：テープ 45.6 ～ 456 mm(4:3)/46.7 ～ 467 mm(16:9)、カード 43.4 ～ 434 mm(4:3)/47.0 ～ 470 mm(16:9)） テレマクロ付き（フルレンジ AF）
早送り･巻き戻し	約 2 分 20 秒（DVM60 使用時）
フィルター径	37 mm
ズーム	光学 10 倍･デジタル 25 倍･スーパーデジタル 100 倍
モニター	2.7 インチワイド液晶モニター（約 12.3 万画素）
ファインダー	電子カラービューファインダー
マイク	ステレオマイクロホン（ズーム機能付）
スピーカー	20 mm 丸形 1 個
白バランス調整	自動追尾ホワイトバランス方式
標準被写体照度	1400 lx
最低照度	8 lx（ローライトモード　1/60 時)、 カラーナイトビュー時　約 1 lx
映像出力	1 Vp-p 75 Ω
S 映像出力	Y 出力：1 Vp-p 75 Ω C 出力：0.286 Vp-p 75 Ω
音声出力	316 mV　インピーダンス 600 Ω

USB	カードリーダーライター機能（著作権保護対応無し） USB 端子（ハイスピード USB（USB2.0））（TYPE miniB） PictBridge 対応
デジタルインターフェース	DV 入出力端子（IEEE1394、4pin）
外形寸法 （突起部含む）	幅 84 mm × 高さ 77 mm × 奥行き 140 mm 付属バッテリー装着時：幅 84 mm × 高さ 77 mm × 奥行き 146 mm
本体質量	約 450 g（バッテリー、テープ含まず）
使用時質量	約 515 g（付属のバッテリー、テープ：AY-DVM60 使用時）
推奨使用温度	0 ℃～ 40 ℃
許容相対湿度	10%～ 80%
バッテリー持続時間	12 ページを参照してください。

メモリー機能

記憶メディア	SD メモリーカード：8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB まで （FAT12、FAT16 形式に対応） SDHC メモリーカード：4 GB のみ（FAT32 形式に対応）
静止画記録方式	JPEG（DCF/Exif2.2 準拠）、DPOF 対応
記録画素数	2048 × 1512/1600 × 1200/1280 × 960/ 640 × 480 画素（4:3） 2048 × 1152/1280 × 720（テープ撮影モード時のみ）/ 640 × 360 画素（ワイド）

WEB カメラ

圧縮方式	Motion JPEG 準拠
記録画素数	320 × 240（QVGA）
フレームレート	約 6 fps

■ AC アダプター

電源	AC 100 – 240 V 50/60 Hz
入力容量	24 VA(AC 100 V 時)/32 VA(AC 240 V 時)
DC 出力	7.9 V 1.4 A(ビデオカメラ)
充電出力	8.4 V 0.65 A(充電)

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理･お取り扱い･お手入れなどのご相談は･･･
まず､お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は･･･

●修理は､サービス会社･販売会社の「修理ご相談窓口」へ！

●使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日･販売店名などの記入を必ず確かめ､お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと､保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間 （「本体」にはソフトウェアの内容は含みません）

■補修用性能部品の保有期間 8 年

当社は､このデジタルビデオカメラの補修用性能部品を､製造打ち切り後 8 年保有しています。
注）補修用性能部品とは､その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

この説明書をよくお読みのうえ､直らないときは､まず接続している電源を外して､お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	デジタルビデオカメラ
品　番	NV-GS320
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので､恐れ入りますが､製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については､ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ､ご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は､技術料･部品代･出張料などで構成されています。

技術料 は、診断･故障個所の修理および部品交換･調整･修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。
なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

パナソニック 修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号）

0570-087-087

• 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
• 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
• 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187

FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30
(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック 修理ご相談窓口

● 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241(函館流通卸センター内)	☎(0138)48-6631

東北地区

	住所	電話
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1	☎(018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首都圏地区

	住所	電話
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5822
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東区東明1丁目8-14	☎(025)286-0180

中部地区

	住所	電話
石川	金沢市横川3丁目20	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)21-0622
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)254-5520

近畿地区

	住所	電話
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)646-2123
大阪	大阪市城東区関目2丁目15-5	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4	☎(078)796-3140

中国地区

	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音1丁目13-5	☎(082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1919-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	天草市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	奄美市名瀬朝仁町11-2	☎(0997)53-5101

沖縄地区

	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0608

さくいん（アイウエオ順）

英・数字順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

わ行

<table>
<tr><th>愛情点検</th><th>長年ご使用のデジタルビデオカメラの点検を！</th></tr>
<tr><td></td><td>

こんな症状はありませんか	・電源コードやプラグが異常に熱い ・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・水などの液体や異物が入った ・映像が乱れたり、きれいに映らない ・その他の異常や故障がある

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

</td></tr>
</table>

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	NV-GS320
販売店名	☎（　　）　-		
お客様ご相談窓口	☎（　　）　-		

パナソニック株式会社
AVC ネットワークス社　ネットワーク事業グループ

〒571-8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

F1106Ke4049 (　50 Ⓜ)